

Iwami Art Museum

平成28
[2016]
年度

年報

島根県立石見美術館

Annual Report April 2016- March 2017

目次 Contents

活動方針・活動内容	1
展覧会一覧	2
企画展	3
特別展	11
コレクション展	12
その他の展覧会	26
教育普及活動	27
ボランティア	31
連携事業	32
所蔵作品一覧	33
新収蔵作品一覧	48
所蔵作品貸出実績	49
入館者数一覧・ミュージアムパスポート会員数一覧	51
収支概要	52
鳥根県芸術文化センター条例	53
鳥根県立石見美術館管理規則	58
施設概要	61
運営組織体制	64
利用案内	65

島根県立石見美術館と島根県芸術文化センター

島根県芸術文化センターは、「島根県立石見美術館」と「島根県立いわみ芸術劇場」の複合施設です。この施設は、石見地域の芸術文化拠点として、美術や音楽、演劇などの分野が相互に協調し、誘発し合いながら、多様で質の高い芸術文化の鑑賞機会を提供します。また、石見地域に育まれてきた文化を大切にしながら、新しい芸術文化の創造をめざします。

活動方針

- 1：芸術を身近に感じる仕組みづくり
- 2：芸術文化を通じたネットワークの支援・育成
- 3：非日常空間の提供
- 4：世界に目を向けた情報発信

島根県立石見美術館

- 1：幅広い視野で多彩な企画展を開催します。また、テーマ性をもった質の高い常設展示を行います。
- 2：地域や分野、年代にとらわれず、優れた国内外の作品を収集します。
- 3：美術作品の収集、および展示、保存、また教育普及に関する調査研究を行います。
- 4：美術に関する理解を深めるための講演会やワークショップなどの教育普及活動を行います。

島根県立いわみ芸術劇場

- 1：芸術文化を鑑賞する場として、また創造する場としての活動を行います。
- 2：優れた芸術文化に接することができるよう充実した自主事業を行います。
- 3：舞台芸術に関する研修機会を提供します。

展覧会一覧

	展示室	展覧会名	会期	
企画展	展示室D	マリメッコ展 デザイン、ファブリック、ライフスタイル	平成28年 4月23日～7月11日	
		原田直次郎 西洋画は益々奨励すべし	平成28年 7月23日～9月5日	
		誕生60周年記念 ミッフィー展	平成28年 9月17日～10月31日	
		芳年 激動の時代を生きた鬼才浮世絵師	平成28年12月23日～ 平成29年2月13日	
特別展	展示室C	COSMIC WONDERと工藝ぱんくす舎 「お水え いわみのかみとみず」	平成28年 8月24日～9月19日	
コレクション展	展示室A	花とともに	平成28年 4月27日～6月13日	
		女性像 むすめたちの肖像	平成28年 6月15日～8月1日	
		おしゃべりな絵	平成28年 8月3日～9月19日	
		歌と詩の美術	平成28年 9月21日～11月7日	
		雲谷派	平成28年 11月9日～12月26日	
		あなたはどう見る?—よく見て話そう美術について	平成29年 1月2日～2月27日	
	展示室B	明治の日本をうつす・大下藤次郎の水彩画	平成28年 4月20日～6月6日	
		石見根付	平成28年 6月8日～8月1日	
		ドレスの楽しみ	平成28年 8月3日～9月26日	
		あなたの暮らしにつながる「大正」	平成28年 9月28日～11月14日	
		美しき天然・大下藤次郎の水彩画	平成28年11月16日～ 平成29年1月9日	
		森鷗外先生、語る	平成29年 1月11日～2月26日	
		ファッションを伝える・拡げる	平成29年 3月1日～4月10日	
	展示室C	ラウル・デュフィ テキスタイルの仕事	平成28年 5月11日～6月27日	
		風景に遊ぶ	平成28年 6月29日～8月20日	
		つるつる・ざらざら	平成28年 9月22日～10月31日	
		想像力(イマジネーション) 木でつくる	平成28年 11月2日～12月26日	
		おしゃれを描く—ファッションプレートにみる女性の装い	平成29年 1月2日～2月27日	
	その他の展覧会	展示室D	第15回益田書道展	平成28年 11月11日～11月13日
			第35回益田市美術展	平成28年 11月17日～11月20日
第49回島根県総合美術展(県展)移動展			平成28年 11月24日～11月27日	
島根県高校美術展			平成28年 12月9日～12月12日	
全島根小中学校図画作品展 益田展			平成29年 2月25日～2月27日	

企画展 マリメッコ展 デザイン、ファブリック、ライフスタイル



ポスター



会場



会場



会場

展覧会名: 企画展 マリメッコ展 デザイン、ファブリック、ライフスタイル
会 期: 平成28年4月23日(土)~7月11日(月)
休 館 日: 毎週火曜日(ただし5月3日は開館)
観 覧 料: 当日券 一般/1,000(800)円、企画・コレクション展セット1,150(920)円
 大学生/600(450)円、企画・コレクション展セット700(530)円
前売券[企画・コレクション展セット]
 一般/900円、大学生/500円、小中高生/200円
 *()内は20名以上の団体料金
 *小中高生の学校利用は入場無料。
 *障害者手帳保持者および介助者は入場無料
主 催: 島根県立石見美術館、しまね文化振興財団、日本海テレビ、
 フィンランド・デザイン・ミュージアム、朝日新聞社
後 援: フィンランド大使館、芸術文化とふれあう協議会
協 賛: こだま印刷
協 力: Visit Finland(フィンランド政府観光局)、フィンエアー、
 フィンエアー・カーゴ、NPO法人出雲フィンランド協会

内 容

フィンランドを代表するデザインハウス、マリメッコを日本で大きく紹介する初めての展覧会。1951年にヘルシンキで創業され、優れたデザインと巧みなPR戦略で60年代には世界的なブランドへと成長したマリメッコは、今日では日本を含む世界中で絶大な人気を誇る。鮮やかで大胆な色や柄を特徴とするファブリック(布)製品を得意とし、柄の映えるシンプルなカッティングの服や、カーテンなどのインテリア用品を展開している。展覧会ではヘルシンキのデザイン・ミュージアムの所蔵作品から、ファブリック約50点、貴重なヴィンテージドレス約60点、デザイナー達の直筆スケッチや各時代の資料などを展覧し、マリメッコの60年にわたる歴史をたどり個性的な作品の数々を紹介した。

新聞、雑誌掲載

- 朝日新聞1月24日 展覧会紹介記事
- 織研新聞4月6日 展覧会記事
- 朝日新聞4月19日 展覧会紹介記事
- 朝日新聞4月21日 展覧会紹介記事
- 朝日新聞4月23日 開幕記事
- 読売新聞4月23日 開幕記事
- 山陰中央新報4月23日 開幕記事
- 中国新聞4月24日 開幕記事
- 朝日新聞4月25日 開幕記事
- 毎日新聞4月27日 開幕記事
- 朝日新聞5月2日 いつでもどこでも音楽祭取材記事
- 山陰中央新報5月7日 グラントワ・マルシェ取材記事
- 朝日新聞5月9日 展覧会関連記事
- 『ハルメク』6月号5月10日 展覧会紹介記事
- 朝日新聞5月12日 展覧会関連記事
- 朝日新聞5月4日 作品紹介 ファブリック「ユニッコ」
- 朝日新聞5月15日 作品紹介 シャツ「ヨカボイカ」
- 中国新聞5月13日 展覧会紹介記事
- 朝日新聞5月20日 作品紹介 ドレス「ヘイルヘルマ」
- 朝日新聞5月23日 ワークショップ紹介記事
- 朝日新聞5月27日 作品紹介 ドレス「オラーケリ」
- 朝日新聞5月30日 作品紹介 ジャージ素材の服「タサライタ」
- 朝日新聞5月31日 映画上映告知
- 朝日新聞6月2日 作品紹介 ファブリック「ブ ブー」
- 朝日新聞6月4日 1万人達成記事
- 山陰中央新報6月5日 1万人達成記事
- 朝日新聞6月9日 作品紹介 ファブリック「オストヤッキ」
- 朝日新聞6月15日 出張授業取材記事
- 朝日新聞6月7日 ギャラリートーク告知記事
- 朝日新聞6月18日 作品紹介 ファブリック「マンシッカヴオレト」
- 朝日新聞6月25日 作品紹介 ファブリック「カイク」



いつでもどこでも音楽祭



トークショー



ワークショップ

朝日新聞7月5日 作品紹介 食器「オイヴァ」
朝日新聞7月13日 2万人達成記事

印刷物

展覧会ポスター：B2
展覧会チラシ：A4
子どものための鑑賞ガイド
先行告知ツール：しおり
(デザイン：すべて田辺智子デザイン室)

関連事業

いつでもどこでも音楽祭「Nordic Garden ～北欧の調べ～」

出演：山根 浩志(ピアニスト)
日時：5月1日(日)11:00～(約40分)
会場：美術館ロビー
来場者：200名

グラントワ・マルシェ

「北欧」をテーマに、料理や雑貨の販売、トークイベントなどを行った。
日時：5月3日(火・祝)10:30～15:00
会場：グラントワ全館
参加者：約1,100名

トークショー「フィンランドにおいて！」

フィンランド出身の国際交流員を招きフィンランドの文化や自然を紹介いただいた。
出演：アンナ・カイサハヴェリネン(出雲市国際交流員)
日時：5月3日(火・祝)14:00～(約40分)
会場：美術館ロビー
聴講者：120名

ワークショップ「シルクスクリーンでオリジナルバッグを作ろう！」

マリメッコ製品の多くがシルクスクリーンで制作されていることにちなんだワークショップ。
講師：高田 美穂(島根県立益田高校美術科教諭)
日時：5月22日(日)、6月12日(日)13:00～16:30
会場：講義室
参加者計：40名

グラントワシアター×マリメッコ展 特別上映会「ファブリックの女王」

マリメッコの創業者、アルミ・ラティアの波瀾万丈な人生を彩り豊かに描いた映画。劇中に沢山のマリメッコのファブリック(布)が登場するところも見所だった。
日時：6月11日(土)10:00～/14:00～/18:30～
会場：いわみ芸術劇場小ホール
鑑賞者計：203名

グラントワ tea ガーデン「北欧茶」

日時：5月7日(土)、7月2日(土)各日11:00～
会場：美術館ロビー
参加者計：200人

ギャラリートーク

講師：当館学芸員
日時：4月24日(日)、5月8日(日)、21日(土)、6月5日(日)、25日(土)、7月9日(土)
いずれも14:00～
会場：展示室D

こどもWEEK!

下記期間小中学生の観覧を無料とした。
4月29日(金)～5月11日(水)

企画展 原田直次郎 西洋画は益々奨励すべし



ポスター



会場



会場



会場

展覧会名：企画展 原田直次郎 西洋画は益々奨励すべし

会 期：平成28年7月23日(土)～平成28年9月5日(月)

休 館 日：毎週火曜日

観 覧 料：当日券 一般／1,000(800)円、企画・コレクション展セット1,150(920)円

大学生／600(450)円、企画・コレクション展セット700(530)円

前売券[企画・コレクション展セット]

一般／900円、大学生／500円、小中学生／200円

* ()内は20名以上の団体料金

*小中高生の学校利用は入場無料

*障害者手帳保持者および介助者は入場無料

主 催：島根県立石見美術館、しまね文化振興財団、読売新聞社、美術館連絡協議会、日本海テレビ

補 助：文化庁

後 援：大阪ドイツ文化センター、芸術文化とふれあう協議会

協 賛：ライオン、大日本印刷、損保ジャパン日本興亜

助 成：公益財団ポーラ美術振興財団

協 力：日本航空、日本通運

内 容

島根県津和野町出身の文豪・森鷗外の親友であり、小説「うたかたの記」の主人公のモデルにもなった明治の洋画家・原田直次郎(1863-99)の画業を紹介。ドイツで西洋絵画を学んで帰国し、洋画排斥運動の憂き目に遭いながらも、日本近代洋画史の傑作を次々と生み出し、西洋絵画の振興と普及に努めた原田。その36年の生涯を振り返った。埼玉県立近代美術館が読売新聞社美術館連絡協議会に企画を提案し、神奈川県立近代美術館(葉山館)、岡山県立美術館、当館の4館で共同研究と内容構成を進め、巡回した。

新聞、雑誌掲載

美しよん新報6月20日 澄川喜一インタビューと展覧会告知

『美術の窓』2月号2月20日 吉岡 知子「100年ぶりの原田直次郎の回顧展」

『美術の窓』4月号4月20日 編集部「西洋画の普及をめざして孤軍奮闘した早世の洋画家 原田直次郎 1863～1899(享年36歳)」

広報ますだ4月号 展覧会情報

広報つわの「2016年度 グラントワ 主な展覧会・イベントラインアップ」

読売新聞2月25日 「1世紀ぶり 原田直次郎展 鷗外の友 命かけた洋画振興」

山陰ざり春号2016 展覧会情報

しまね観光ナビ 展覧会情報

毎日新聞6月14日 高階 秀爾「目は語る」

『SANINに生きる』NO.12 6月25日 展覧会情報

中国新聞6月29日・8月4日・11日・8月19日・26日・9月1日・2日 展覧会情報

繊維新聞6月29日 展覧会情報

山陰中央新報7月22日・25日・29日・8月5日・11日・15日 展覧会情報

毎日新聞7月22日 展覧会情報

山陰中央新報7月22日 左近充 直美「うたかたの洋画家 原田直次郎の生涯」

読売新聞7月23日 「立体感と繊細さ 原田直次郎展 きょうから益田」

中国新聞7月23日 「原田直次郎の画業たどる 森鷗外と親交 益田 きょう開幕」

山陰中央新報7月23日 「原田直次郎と鷗外のつながり 企画展きょう開幕」

読売新聞7月27日・8月6日・10日・20日・24日 左近充 直美 作品紹介

山陰中央新報7月27日・28日・29日・30日 朗読会情報

山陰中央新報8月6日・7日 ワークショップ情報

読売新聞8月18日 「原田直次郎展 スケッチや書簡 後期展示始まる」

中国新聞8月25日 森田 裕美「益田の石見美術館 原田直次郎展 鷗外と親交 正当派の画業」

印 刷 物

展覧会ポスター：B2

展覧会チラシ：A4



茶話会



朗読会



ワークショップ



ギャラリートーク

展覧会先行告知：はがきサイズカード
 こどもガイド
 (デザイン：すべて野村デザイン制作室)
 展覧会図録
 (発行：青幻舎)

関連事業

茶話会「原田直次郎様 一筆啓上仕候」

原田直次郎の研究者を講師に迎え、担当学芸員とのトークを交えて原田の魅力について紹介した。展覧会にちなんだお茶とお菓子も用意した。
 講師：宮本 久宣(和歌山県立近代美術館学芸員)
 日時：7月22日(金) 14:00～15:30
 会場：講義室
 参加者：29名

声優・銀河万丈氏による朗読会

声優として活躍中の銀河万丈氏による朗読会。原田直次郎をモデルにした森鷗外の小説「うたかたの記」などを展示室のなかで朗読した。
 朗読：銀河 万丈(声優)
 日時：7月30日(土)14:00～15:30
 会場：展示室D
 参加者：48名

夏休み向けワークショップ「人物画を描いてみよう」

木炭で線を描き、食パンで消す。肖像画家であった原田にならい、担当学芸員を講師に、木炭画による人物デッサン教室を行った。原田の名作「ドイツの少女」にちなんで、益田市在住の外国人女性にモデルを依頼した。
 講師：左近充 直美(当館専門学芸員)
 日時：8月7日(日)13:00～16:00
 会場：講義室
 参加者：21名

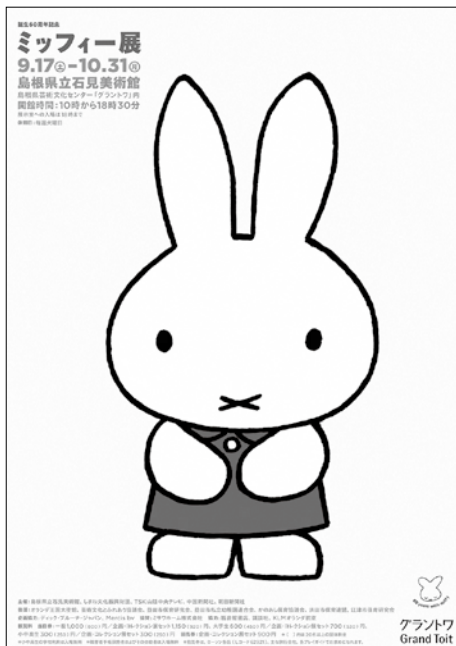
ギャラリートーク

講師：当館学芸員
 日時：7月31日(日)、8月6日(土)、21日(日)、9月4日(日)いずれも14:00～
 会場：展示室D
 参加者：47名

グラントワ tea ガーデン「独逸茶」

原田と鷗外が青春時代を過ごしたドイツをイメージしたお茶を提供した。
 日時：8月20日(土)11:00～
 会場：美術館ロビー
 参加者：100名

企画展 誕生60周年記念 ミッフィー展



ポスター



会場



会場



会場

展覧会名：企画展 誕生60周年記念 ミッフィー展

会 期：平成28年9月17日(土)～10月31日(月)

休 館 日：毎週火曜日

観 覧 料：当日券 一般／1,000(800)円、企画・コレクション展セット1,150(920)円

大学生／600(450)円、企画・コレクション展セット700(530)円

小中高生／300(250)円、企画・コレクション展セット300(250)円

前売券[企画・コレクション展セット]

一般／900円、大学生／500円、小中高生／200円

* ()内は20名以上の団体料金

*小中高生の学校利用は入場無料

*障害者手帳保持者および介助者は入場無料

主 催：島根県立石見美術館、しまね文化振興財団、TSK山陰中央テレビ、中国新聞社、朝日新聞社

後 援：オランダ王国大使館、芸術とふれあう協議会、益田市保育研究会、益田市私立幼稚園連合会、かのあし保育協議会、浜田市保育連盟、江津市保育研究会

企画協力：ディック・ブルーナ・ジャパン、Mercis bv

協 賛：ミサワホーム株式会社

協 力：福音館書店、講談社、KLMオランダ航空

内 容

ディック・ブルーナの絵本原画を中心に、あわせてオランダや日本のクリエイターが制作した「ミッフィー・アートパレード」と名付けた立体作品を展示した。展示空間は、ブルーナカラーと呼ばれる6色の壁を設置し、とすれば単調にもなる多数の絵本原画を飽きずに楽しく観てもらえるよう工夫した。展示室内に撮影可能なコーナーをもうけ、SNSを含む口コミの効果をねらった。また、多くの子どもの来館を見込み、子どもたちがよりよく展示を観るためのツールとして、「ぬりえ」やミッフィーのシールをはるなど手を動かして展示を観て回れるような「こどもガイド」を作成した。積極的な広報展開もあり、県内外からの家族連れを中心に賑わった。

新聞、雑誌掲載

- 朝日新聞9月15日 展覧会告知記事
- 中国新聞9月15日 展覧会告知記事
- 朝日新聞9月15日 森本 俊司 展覧会紹介
- 朝日新聞9月17日 開幕記事
- 中国新聞9月17日 開幕記事
- 山陰中央新報9月17日 開幕記事
- 朝日新聞9月24日 森本 俊司 作品紹介「ちいさなうさこちゃん」(第1版)
- 中国新聞9月27日～10月1日 南目 美輝 作品紹介
- 読売新聞9月28日 展覧会紹介記事
- 朝日新聞10月2日 森本 俊司 作品紹介「ちいさなうさこちゃん」(第2版)
- 朝日新聞10月3日 「絵本と音遊び」取材記事
- 中国新聞10月3日 「絵本と音遊び」取材記事
- 朝日新聞10月6日 森本 俊司 作品紹介「りんごぼうや」
- 中国新聞10月7日 展覧会紹介記事
- 朝日新聞10月13日 展覧会紹介記事「ミッフィー展 1万人を突破」
- 中国新聞10月13日 展覧会紹介記事「ミッフィー展1万人」
- 朝日新聞10月14日 森本 俊司 作品紹介「きいろいことり」
- 朝日新聞10月16日 スペシャルギャラリートーク紹介記事「原画を前に制作秘話」
- 産経新聞10月19日 展覧会紹介
- 朝日新聞10月26日 森本 俊司 作品紹介「うさこちゃんとあかちゃん」

印 刷 物

- 展覧会ポスター：B2
- 展覧会チラシ：A4
- こどもガイド
- 先行告知ツール：2つ折りカード



絵本と音遊び



さんさいデー



スペシャルギャラリートーク

展覧会図録

(「こどもガイド」をのぞくデザイン：祖父江 慎+コズフィッシュ、「こどもガイド」デザイン：野村デザイン制作室)

関連事業

「絵本と音遊び」

出演：山根 浩志(ピアニスト)、モチェオ久美(声楽家)

日時：10月2日(日)11:00～12:00

会場：スタジオ1

参加者：120名

ミッフィーこどもミュージカル「ミッフィーのおたんじょうび」

日時：10月9日(日)1回目10:30～2回目14:00～

会場：グラントワ 大ホール

入場者数：673名

スペシャルギャラリートーク

ディック・ブルーナに関する著作のある森本俊司氏をゲストに迎え、ブルーナ本人に取材した際のエピソードや作品制作の背景を紹介した。

ゲスト：森本 俊司(朝日新聞社企画事業本部大阪企画事業部次長)

日時：10月15日(土) 1回目11:00～2回目14:00～

参加者：80名

グラントワ tea ガーデン「おらんだ茶」

ブルーナの絵本『りんごぼうや』にちなんで、りんごフレーバーのお茶を提供した。

日時：10月22日(土)11:00～

会場：美術館ロビー

参加者：170名

企画展 芳年 激動の時代を生きた鬼才浮世絵師



ポスター



会場



会場



会場

展覧会名：企画展 芳年 激動の時代を生きた鬼才浮世絵師

会 期：平成28年12月23日(金・祝)～29年2月13日(月)

休 館 日：毎週火曜日(ただし1月3日、31日は開館)、12月28日～1月1日

観 覧 料：当日券 一般／1,000(800)円、企画・コレクション展セット1,150(920)円

大学生／600(450)円、企画・コレクション展セット700(530)円

前売券[企画・コレクション展セット]

一般／900円、大学生／500円、小中学生／200円

* ()内は20名以上の団体料金

* 小中高生の学校利用は入場無料

* 障害者手帳保持者および介助者は入場無料

主 催：島根県立石見美術館、山陰中央新報社、中国新聞社、BSS山陰放送

後 援：芸術文化とふれあう協議会

助 成：芸術文化振興基金

企画協力：神戸新聞社、株式会社アートワン

内 容

幕末から明治への激動の時代を生きた浮世絵師、月岡芳年の初期から晩年までの画業を、国内屈指の芳年コレクション、西井コレクションにより回顧した。浮世絵236点(うち1点のみ島根県立古代出雲歴史博物館蔵)のほか肉筆画、下絵、資料など265点により、歴史画、役者絵、美人画など幅広い作風を紹介した。《英名二十八衆句》など「血みどろ絵」として知られる作品はカーテンで区切った空間で展示するなどの配慮を行った。芸術文化振興基金の助成により、子供たちの関心を高めるための「芳年ヒーローストレーディングカード」の制作や、伝統芸能とのコラボレーションも実施した。

新聞、雑誌掲載

『美術の窓』2月号2月20日 川西 由里「月岡芳年の天才的な画力を総覧」

『美術の窓』12月号12月20日 特集「最後の浮世絵師 月岡芳年」

中国新聞12月21日 記事「芳年の浮世絵 展示準備」

山陰中央新報12月21日 記事「鬼才・芳年の作品網羅」

中国新聞12月23日 内覧会取材記事

山陰中央新報12月23日 内覧会取材記事

山陰中央新報12月23日 川西 由里「揺れ動く「浮き世」を写した絵師・芳年」

山陰中央新報12月24日 開幕記事

中国新聞12月25日 記念講演会取材記事

山陰中央新報12月25日 記念講演会取材記事

中国新聞1月10日 トレーディングカード取材記事

中国新聞1月10日 作品紹介 川西 由里《文治元年平家の一門亡海中落入図》

中国新聞1月11日 作品紹介 川西 由里《魁題百撰相 薄田隼人》

中国新聞1月12日 作品紹介 川西 由里《大日本史略図会 天照皇大神》

中国新聞1月13日 作品紹介 川西 由里《芳流閣両雄動》

中国新聞1月14日 作品紹介 川西 由里《風俗三十二相 けむさう》

読売新聞1月14日 展覧会紹介記事

朝日新聞1月14日 展覧会紹介記事

山陰中央新報1月17日 作品紹介 川西 由里《和漢百物語 頓欲ノ婆々》

山陰中央新報1月18日 作品紹介 川西 由里《大日本名将鑑 源三位頼政猪早太》

山陰中央新報1月19日 作品紹介 川西 由里《藤原保昌月下弄笛図》

山陰中央新報1月20日 作品紹介 川西 由里《風俗三十二相 うるささう》

山陰中央新報1月20日 川西 由里「浮世絵を踊る! 神楽とダンスのコラボレーション」

中国新聞1月20日 イベントナビ 川西 由里「色彩鮮やか構図斬新」

中国新聞1月20日 浮世絵×ダンス×石見神楽 準備取材記事

山陰中央新報1月17日 作品紹介 川西 由里《新形三十六怪撰 内裏に猪早太鶴を刺図》

山陰中央新報1月23日 浮世絵×ダンス×石見神楽 取材記事

中国新聞1月23日 浮世絵×ダンス×石見神楽 取材記事

中国新聞2月4日 森田 由美「益田で月岡芳年展」

中国新聞2月5日 浮世絵×ダンス×石見神楽 取材記事



記念講演会



益田糸操り人形公演



平家の語りと琵琶の調べ

印刷物

展覧会ポスター：B2
 展覧会チラシ：A 3二つ折り
 子どものための鑑賞ガイド
 芳年ヒーローストレーディングカード
 (デザイン：すべて野村デザイン制作室)

関連事業

記念講演会「芳年と芳のつく絵師たちの時代」

芳年を中心に周辺の絵師たちも含め、幕末から明治にかけて「絵」がどのように受容されていたか、彼らがどのような場で活躍したのかをお話いただいた。

講師：木下 直之(東京大学教授、文化資源学)

日時：12月24日(土)14:00～15:30

会場：講義室

参加者：34名

芳年×芸能まつり

芳年の浮世絵には、神楽、浄瑠璃、平曲といった芸能によって人々に親しまれてきた神話や物語が数多く描かれている。当館が劇場との複合施設であるという性格をいかし、浮世絵とあわせて伝統芸能を鑑賞する機会を設けた。

1. 浮世絵×ダンス×石見神楽「ウキウキ浮世絵、ヨシヨシ芳年」

日時：1月22日(日)14:00～16:00

会場：小ホール ※詳細は「教育普及活動(27ページ)」に記載

2. 益田糸操り人形公演「伊達娘恋の緋廉子 八百屋お七の段」

出演：益田糸操り人形保持者会

日時：1月28日(土)14:00～15:00

会場：美術館ロビー

参加者：62名

3. 平家の語りと琵琶の調べ

出演：荒尾 努(平曲弾き語り奏者)

日時：2月5日(日)11:00～12:00、14:00～13:00

会場：美術館ロビー

参加者：計157名

グラントワ tea ガーデン^{かぐわ}「芳し茶」

日時：2月4日(土)11:00～

会場：美術館ロビー

参加者：100人

ギャラリートーク

講師：当館学芸員

日時：12月25日(日)、1月3日(火)、1月7日(土)、2月12日(日) いずれも14:00～

会場：展示室D

入場特典

入場1回につき1枚ひくことができる、芳年作品の主人公たちを題材にした「芳年ヒーローストレーディングカード」を20種類制作した(得点は1～8点)。カードの点数を8点以上集めた方に、特製「かがやく20種類コンプリートカードセット」をプレゼントした。

特別展

展示室C 特別展 COSMIC WONDERと工藝ぱんくす舎「お水え いわみのかみとみず」

会 期：平成28年8月24日(水)～9月19日(月・祝)

内 容：島根県西部に伝わる石州和紙を題材に、「地域資源の活用」および「地方とファッション」について考えるワークショップ(P.29教育普及活動を参照)の関連企画。同ワークショップに講師として招聘した前田征紀(コスミックワンダー主宰、現代美術作家)と、石井すみ子(工芸デザイナー)による美術ユニット「工藝ぱんくす舎」による展覧会。石見や島根の風土や素材から着想し、制作された新作、およびそれを用いたパフォーマンス「お水え」の様子を、インスタレーションで紹介した。展示作品の中にはコスミックワンダーによる石州和紙を用いた新作衣装も含まれた。

出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	おとかみ/やまみかわかみ	工藝ぱんくす舎	2016年	草木、海藻、水草を漉き込んだ楮和紙(紙漉き佐々木誠)、墨	
2	お水えのあゆみ	撮影：前田征紀、編集：加藤文崇	2016年	映像17分(撮影は8mmフィルム)	
	お水え	撮影編集：加藤文崇	2016年	映像14分(撮影は8mmフィルム)	
3	解放された原始(封印はとかれた)	工藝ぱんくす舎	2016年		
	ノン		年代不明	杉の木の箆笥、韓国製	
	縄文石斧		縄文時代	匹見ヨシ遺跡・石ヶ坪遺跡出土の磨製石斧	益田市教育委員会
	縄文土器破片		縄文時代	匹見石ヶ坪遺跡出土の並木式土器	益田市教育委員会
	縄文土器破片		縄文時代	匹見中ノ坪遺跡出土の貝殻押圧土器	益田市教育委員会
4	やまかみ紙衣(上衣)	コスミックワンダー	2016年	匹見の山の草木を漉き込んだ楮和紙(紙漉き：西田誠吉)でできた男性用上着	
	うみかみ紙衣(上衣、下衣)	コスミックワンダー	2016年	小浜海岸の海藻を漉き込んだ楮和紙(紙漉き：佐々木誠)、大麻布でできた女性用ツーピース	
6	かわかみ紙衣(上衣)	コスミックワンダー	2016年	高津川と益田川、およびその支流の水草を漉き込んだ楮和紙(紙漉き：佐々木誠)でできた男性用上着	
7	かわかみ紙衣	コスミックワンダー	2016年	高津川と益田川、およびその支流の水草を漉き込んだ楮和紙(紙漉き：佐々木誠)でできた女性用着物風衣装。同じ和紙の長帯付き。	
8	お水え	長島友里枝	2016年	デジタル写真	
9	お水え堂	工藝ぱんくす舎	2016年		
	お水え堂		2016年	檜、杉で制作したステージ。海岸の岩にかかるよう設置。(施工：デザイン・オフィス・スキモノ、田村建築)	
	蛇胴紙の敷物	コスミックワンダー	2016年	楮和紙(紙漉き：西田誠吉)	
	水碗	石井直人	2016年	石見の白土、野焼き焼成	
	水瓶	石井直人	2016年	石見の白土、野焼き焼成	
	柄杓、受け	川合優	2016年	柄杓：松の木のこぶ、受け：霊芝	
	玉ノ箱	川合優	2016年	隠岐の杉、隠岐の黒曜石(提供：八幡浩二)で成形	
	石菓子皿		2016年	そめん岩、クロモジ	
10	こよみ唄巻物	工藝ぱんくす舎	2016年	楮和紙(蛇胴紙、紙漉き：西田誠吉)、湧き水で擦った墨	
	藁籠	西山隼人	2016年	高津川源流付近の藁(提供：高田直幸)	
11	お水え台	工藝ぱんくす舎	2016年		
	弥生台	川合優	2016年	檜(古材)、弥生期の出土品を参考に成形	
	割りもの漆杯	川合優	2016年	栗、漆	
	潮珠笹あんざん紋り	石井すみ子	2016年	小浜海岸の海水から採取した塩を用いた葛餅、匹見の熊笹を編んで紋り包んだもの(菓子制作：岡崎里美)	
	紙盆			紙、柿渋	
12	ガラス水瓶			ガラス	
	縄文祭祀台	工藝ぱんくす舎	2016年		
	縄文台	川合優	2016年	榎	
	黒曜石斧	川合優	2016年	隠岐の黒曜石(提供：八幡浩二)、栗、蔓	
	白曜石			アルカリ流紋岩	
	浄浜香草			ハマゴウ	
	木偶	川合優	2016年	屋久杉	
	雨乞い壺	石井直人	2016年	石見の白土	
	呪術具	石井直人	2016年	石見の白土	
	黒曜石			隠岐の黒曜石(提供：八幡浩二)	
呪術具	石井直人	2016年	石見の白土		
呪術具	石井直人	2016年	石見の白土		

印刷物

展覧会チラシ：B5変形(デザイン：吉村麻紀)

関連事業

パフォーマンス「お水え」

日 時：平成28年8月19日(金) 8:00～

会 場：小浜海岸(益田市)

内 容：「お水え」とは、茶会の形式を借り、茶の代わりに湧水をふるまうパフォーマンスのこと。益田市内の海岸に「お水え堂」と名付けたステージを建て、そこを茶室に見立てて発表された。石州和紙を用いた衣装や、石見や島根の風土や歴史を取材し、制作された道具が用られ、この地に息づく自然の豊かさや可能性が示されるとともに、「自然と人との調和」という工藝ぱんくす舎が目指す価値観が提示される機会となった。



チラシ

展示室A 花とともに

会 期：平成28年4月27日(木)～6月13日(月)

内 容：古来より、日本人は野の草花に親しく関わり、その魅力的なあり様は、美術作品のモチーフとしても、時代を超えて好まれた。本展では、当館のコレクションから、草花を描いた作品を紹介。企画展「キャプテン・クック探検航海と『バンクス花譜集』展」に併せて開催した。

出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	今尾 景年	花鳥図屏風	明治～大正時代	絹本着色、六曲一双	島根県立石見美術館
2	西 晴雲	四季花木図	大正時代末期	紙本着色、四幅対	島根県立石見美術館
3	竹内 栖鳳	藤花薔花群犬図	明治31年(1898)	紙本着色、六曲一双	島根県立石見美術館
4	中林 竹洞	秋卉鴛鴦図	天保2年(1831)	絹本着色、軸	島根県立石見美術館
5	中林 竹溪	秋草群雀図	江戸時代後期	絹本着色、軸	島根県立石見美術館
6	松本 楓湖	和装西洋婦人像	明治時代前期	絹本着色、額	島根県立石見美術館
7	岡田 三郎助	黒き帯	大正4年(1915)	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
8	山崎 修二	初冬	昭和11年(1936)	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
9	森村 泰昌	セルフポートレート(女優) ピビアン・リーとしての私・1	平成8年(1996)	イルフォクローム、 アクリル加工	島根県立石見美術館

展示室A 女性像 むすめたちの肖像

会 期：平成28年6月15日(水)～8月1日(月)

内 容：洋画・日本画のなかから、理想的な美人像から家族である娘の自然体の姿まで、描かれる女性像の形象と背景について紹介した。

出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	橋本 明治	蓮を聴く	昭和11年(1936)	絹本著色	島根県立石見美術館
2	東郷 青児	婦人像	昭和5～10年(1930～35)頃	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
3	永瀬 義郎	祭壇の処女	昭和50年(1975)	リトグラフ、紙	島根県立石見美術館
4	児島 善三郎	椅子による	大正14～ 昭和3年(1925～28)頃	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
5	安井 曾太郎	水浴図	大正時代	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
6	山崎 修二	少女像	昭和6年(1931)	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
7	山崎 修二	二人の少女	昭和6年(1931)	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
8	広田 多津	ふたり	昭和13年(1938)	紙本著色	島根県立石見美術館
9	山田 喜作	真夏の港	昭和7年(1932)	絹本著色	島根県立石見美術館
10	榎本 千花俊	揚揚戯	昭和8年(1933)	絹本著色	島根県立石見美術館
11	橋本 明治	荘園	昭和9年(1934)	絹本著色	島根県立石見美術館
12	鎗木 清方	花見幕	昭和10年代	絹本著色	島根県立石見美術館
13	伊藤 小坡	舟中納涼之図	昭和前期	絹本著色	島根県立石見美術館
14	池田 蕉円	小松引	大正前期	絹本著色	島根県立石見美術館
15	柿内 青葉	池	昭和8年(1933)	絹本著色	島根県立石見美術館
16	不二木 阿古	爽朝	昭和16年(1941)	絹本著色	島根県立石見美術館
17	榎本 千花俊	春雪	昭和前期	絹本著色	島根県立石見美術館
18	榎本 千花俊	口紅を描く	昭和10年(1935)	絹本著色	島根県立石見美術館
19	竹久 夢二、 亀井 実ほか	『婦人グラフ』	大正13年(1924)～ 昭和3年(1928)刊行	雑誌、表紙に オフセット版貼付	島根県立石見美術館

展示室A おしゃべりな絵

会 期：平成28年8月3日(水)～9月19日(月)

内 容：出品作品から会話が想像できる絵画をピックアップして紹介。描かれた人物や動物から出たふきだしに書き込みができる「おしゃべりカード」を会場内に設置し、観客が考えたセリフを書き込んで掲示できるコーナーも設けた。

出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	榎本 千花俊	池畔春興	昭和7年(1932)	絹本着色、額	島根県立石見美術館
2	岡野 洞山	竹林七賢・商山四皓図	嘉永元年(1848)	紙本墨画淡彩、六曲一双	島根県立石見美術館
3	山本 栞谷	年中行事図屏風	江戸時代末頃	紙本着色、六曲一双	島根県立石見美術館
4	筆者不詳	柳橋扇面流遊女図屏風	江戸時代前期	紙本着色、六曲一隻	島根県立石見美術館
5	武藤 嘉門	ショーウインドウ	昭和12年(1937)	紙本着色、額	島根県立石見美術館
6	ウィーン工房	女性の生活	1916年	手彩色木版、紙(20枚組のうち6点)	島根県立石見美術館

展示室A 歌と詩の美術

会 期：平成28年9月21日(水)～11月7日(月)

内 容：館蔵品、寄託品から、和歌や漢詩が書かれた作品、和歌や謡曲にちなんだ作品を展示した。

出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	松本 楓湖	八岐大蛇	明治42年(1909)	絹本着色、軸	島根県立石見美術館
2	円山 応挙	柿本人麻呂像	明和2年(1765)頃	紙本墨画、軸	島根県立石見美術館
3	筆者不詳	人麻呂図屏風	江戸時代中期	紙本金地著色、六曲一隻	島根県立石見美術館
4	長谷川派	武蔵野図屏風	桃山～江戸時代初期	紙本金地著色、六曲一双	島根県立石見美術館
5	狩野 栄信(画)、松平 不昧(書)	富士三保清見寺図	江戸時代後期	絹本墨画、軸	島根県立石見美術館
6	狩野 松栄	重要文化財 益田元祥像	桃山時代	絹本着色、軸	島根県立石見美術館
7	松本 楓湖	後醍醐帝観桜樹図	明治時代末～大正時代	絹本着色、軸	島根県立石見美術館
8	田中 頼璋	林和靖愛鶴図	昭和10年(1935)頃	絹本着色、軸	島根県立石見美術館
9	松浦 舞雪	長夜のすさび	大正～昭和時代初期	絹本着色、軸	個人蔵
10	筆者不詳	舞踊図屏風	江戸時代初期	紙本金地著色、二曲一隻	島根県立石見美術館
11	巖水	石見根付 扇面に忍草	江戸時代後期	象牙	島根県立石見美術館
12	富永	石見根付 南天に和歌	江戸時代後期	象牙	江津市(七田真コレクション)
13	貫満	石見根付 和歌に蜘蛛	文政4年(1821)	象牙	江津市(七田真コレクション)
14	山本 芳翠(画)	『蜻蛉集』	1885年	冊子	島根県立石見美術館

関連事業

絵画と能楽の競演「人麻呂を舞い、謡う」

日 時：10月22日(月)

会 場：展示室A ※詳細は「教育普及」(27ページ)に掲載

展示室A 雲谷派

会 期：平成28年11月9日(水)～12月26日(月)

内 容：桃山時代から江戸時代にかけて菘藩を中心に雪舟風の画を描いた流派、「雲谷派」の作品を紹介した。

出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	雲谷 等益	四季山水図屏風	江戸時代初期 (元和年間頃)	紙本墨画淡彩、八曲屏風一双	島根県立石見美術館
2	雲谷 等益	山水図屏風	江戸時代初期 (寛永年間頃)	紙本墨画淡彩、六曲屏風一双	島根県立石見美術館
3	雲谷 等的	観音山水図	江戸時代初期	紙本墨画淡彩、掛幅装三福対	島根県立石見美術館
4	雲谷派	耕作図屏風	桃山時代～江戸時代初期	紙本墨画淡彩、六曲屏風一隻	島根県立石見美術館
5	雲谷 等顔	山水人物花鳥図押絵貼屏風	桃山時代～江戸時代初期	紙本墨画淡彩、六曲屏風一双	島根県立石見美術館
6	雲谷 等的	山水図	江戸時代初期	紙本墨画、掛幅装	島根県立石見美術館
7	斎藤 等室	山水図	江戸時代初期	紙本墨画、掛幅装	島根県立石見美術館

雑誌掲載

広報ますだ11号 展覧会情報

展示室A あなたはどう見る?—よく見て話そう美術について

会 期：平成29年1月2日(月)～2月27日(月)

内 容：キャプションや、解説をつけずに作品を展示し、鑑賞者に作品そのものをじっくり見てもらおうという試み。会期中には県内の美術教育関係者による鑑賞教育の研究グループ「みるみるの会」のナビゲートで意見交換をしながら作品を鑑賞する「みるみると見てみる?」を開催した。

出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	堂本 尚郎	宇宙 I	1978年	アクリル、カンヴァス	島根県立石見美術館
2	ジナイダ・ベレビッチ	ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画	不詳	グアッシュ、紙	島根県立石見美術館
3	ラウル・デュフィ	ピアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル・デザイン 「真珠とロゼット」	1912～1928年	グアッシュ、紙	島根県立石見美術館
4	ラウル・デュフィ	ピアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル・デザイン 「モザイク・デザイン」	1923年頃	レリーフ・プリント、紙	島根県立石見美術館
5	ラウル・デュフィ	ピアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル・デザイン 「花とアラベスク模様」	1912～1928年	レリーフ・プリント、紙	島根県立石見美術館
6	ラウル・デュフィ	ピアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル・デザイン 「きんれんか」	1912～1928年	レリーフ・プリント、紙	島根県立石見美術館
7	不詳	ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画	1928年	グアッシュ、紙	島根県立石見美術館
8	山崎 修二	緑の静物	1955年	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
9	山崎 修二	山懐の早春	1953年	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
10	ソニア・ドローネー	『絵画・オブジェ・同時的テキスタイル・モード』 5. 帽子とマフラーのデザイン	1922～1923年	ポシヨワール、紙	島根県立石見美術館
11	アンドレ・マルティ	《アンナン人(ヴェトナム中部地方の)女中 ドウイエの夜会服とりボン》『ガゼット・デュ・ボン・トン』より	1920年	ポシヨワール、紙	島根県立石見美術館
	エルネスト・タヤート	《マドレーヌ・ヴィオネのための織りのドレス》 『ガゼット・デュ・ボン・トン』より	1924～1925年	ポシヨワール、紙	島根県立石見美術館
12	ロベルト・ボンフィス	《花で囲まれた美しい場所 午後のドレスとマントー》『ガゼット・デュ・ボン・トン』より	1920年	ポシヨワール、紙	島根県立石見美術館
13	マーティン・ムンカッチ	ニューヨーク万国博覧会 『ハーパース・バザー』1938年9月号	1938年	セラチン・シルバー・プリント	島根県立石見美術館
14	山崎 修二	少女像	1931年	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
15	山崎 修二	髪	1939年	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
16	アンリ・ド・トゥルーズ＝ロートレック	ディヴァン・ジャポネ	1892～93年	リトグラフ、紙	島根県立石見美術館
17	ビエール・ボナール	雑誌『ルヴュ・ブランシュ』のためのポスター	1894年	リトグラフ、紙	島根県立石見美術館
18	アーウィン・ブルーメンフェルド	「エイジ・オブ・エレガンス」よりキュビズムで表現された紫のヌード	1949年発表、 1984年プリント	タイプCプリント	島根県立石見美術館
19	アーウィン・ブルーメンフェルド	「エイジ・オブ・エレガンス」より3回繰り返し返すペーターゼン、ファッションページのための習作、ニューヨーク	1940年代後半発表、 1984年プリント	タイプCプリント	島根県立石見美術館
20	アーウィン・ブルーメンフェルド	「エイジ・オブ・エレガンス」より顔の上の線	1947～1949年発表、 1984年プリント	タイプCプリント	島根県立石見美術館

新聞掲載

読売新聞1月7日 展覧会紹介記事

みるみると見てみる?

日 時：1月8日(日)、14日(土)、29日(日)、2月11日(土)、26日(日) 各日14:00～

会 場：展示室A

展示室B 明治の日本をうつす・大下藤次郎の水彩画

会 期：平成28年4月20日(水)～6月6日(月)

内 容：大下藤次郎の作品から、明治時代の人々の暮らしぶりや街並みが分かる作品を紹介した。

出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	大下 藤次郎	船のある風景	制作年不詳	水彩、紙	島根県立石見美術館
2	大下 藤次郎	貸家の裏口	明治25年(1892)	水彩、紙	島根県立石見美術館
3	大下 藤次郎	下駄屋の店先	明治25年(1892)	水彩、紙	島根県立石見美術館
4	大下 藤次郎	富士を望む	明治30年(1897)	水彩、紙	島根県立石見美術館
5	大下 藤次郎	橋のある風景	明治25～31年(1892～98)頃	水彩、紙	島根県立石見美術館
6	大下 藤次郎	越前堀	明治26年(1893)	鉛筆、紙	島根県立石見美術館
7	大下 藤次郎	小石川白山御殿側	明治26年(1893)	鉛筆、紙	島根県立石見美術館
8	大下 藤次郎	四ッ谷谷町	明治26年(1893)	鉛筆、紙	島根県立石見美術館
9	大下 藤次郎	高田千歳町	明治25年(1892)	鉛筆、紙	島根県立石見美術館
10	大下 藤次郎	十二社裏	明治26年(1893)	鉛筆、紙	島根県立石見美術館
11	大下 藤次郎	仁和寺五重塔	明治29年(1896)	水彩、紙	島根県立石見美術館
12	大下 藤次郎	天真院	明治29年(1896)	水彩、紙	島根県立石見美術館
13	大下 藤次郎	賀茂	明治30年(1897)	水彩、紙	島根県立石見美術館
14	大下 藤次郎	清水寺	明治29年(1896)	水彩、紙	島根県立石見美術館
15	大下 藤次郎	粟田	明治29年(1896)	水彩、紙	島根県立石見美術館
16	大下 藤次郎	日暮里	明治29年(1896)	水彩、紙	島根県立石見美術館
17	大下 藤次郎	巢鴨	明治30年(1897)	水彩、紙	島根県立石見美術館
18	大下 藤次郎	巢鴨の牛小屋	明治30年(1897)	水彩、紙	島根県立石見美術館
19	大下 藤次郎	修善寺	明治29年(1896)	水彩、紙	島根県立石見美術館
20	大下 藤次郎	修善寺	明治29年(1896)	水彩、紙	島根県立石見美術館
21	大下 藤次郎	宿場	明治37年(1904)頃	水彩、紙	島根県立石見美術館
22	大下 藤次郎	寄居	明治37年(1904)	水彩、紙	島根県立石見美術館
23	大下 藤次郎	青梅	明治37年(1904)	水彩、紙	島根県立石見美術館
24	大下 藤次郎	青梅	明治37年(1904)	水彩、紙	島根県立石見美術館
25	大下 藤次郎	村の寺	明治37年(1904)	水彩、紙	島根県立石見美術館
26	大下 藤次郎	宮の下	明治31年(1898)	水彩、紙	島根県立石見美術館
27	大下 藤次郎	坂本	明治31年(1898)	水彩、紙	島根県立石見美術館
28	大下 藤次郎	秋谷の漁村	明治38年(1905)	水彩、紙	島根県立石見美術館
29	大下 藤次郎	つつじ	明治31年(1898)	水彩、紙	島根県立石見美術館
30	大下 藤次郎	スケッチブック	明治44年(1911)	鉛筆、紙	島根県立石見美術館
31	大下 藤次郎	スケッチブック	制作年不詳	鉛筆、紙	島根県立石見美術館
32	大下 藤次郎	スケッチブック	制作年不詳	鉛筆、紙	島根県立石見美術館
33	大下 藤次郎	絵日記	明治40～41年(1907～08)	鉛筆、紙	島根県立石見美術館

展示室B 石見根付

会 期：平成28年6月8日(水)～8月1日(月)

内 容：「根付」は江戸時代に流行した男性用装身具。精緻の粋を極めた「石見根付」の優品を江津市所蔵七田眞コレクションを中心に紹介した。

出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	伝富春	猪牙に蜘蛛	19世紀	猪牙	江津市(七田眞コレクション)
2	伝富春	葡萄に栗鼠	18～19世紀	猪牙	江津市(七田眞コレクション)
3	作者不詳	猪牙に山水図	19世紀	猪牙	江津市(七田眞コレクション)
4	文章	鮑に蟹	18～19世紀	黒檀	江津市(七田眞コレクション)
5	文章	流木に蜘蛛	18～19世紀	黒柿	江津市(七田眞コレクション)
6	伝文章	猪牙に鼠	18～19世紀	猪牙	江津市(七田眞コレクション)
7	伝文章	唐辛子	18世紀	鯨歯	江津市(七田眞コレクション)
8	伝巖水	雪松に鹿	19世紀	猪牙	江津市(七田眞コレクション)
9	貫満	和歌に蜘蛛	文政4年(1821)	象牙	江津市(七田眞コレクション)

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
10	貫満	稲穂に鼠	19世紀	海松	江津市(七田真コレクション)
11	貫満	筍切株茄子鞘豆	19世紀	黒柿	江津市(七田真コレクション)
12	富永	和歌に南天	19世紀	象牙	江津市(七田真コレクション)
13	富明	猪牙に蜘蛛	18世紀	猪牙	江津市(七田真コレクション)
14	素龍	猪牙に忍草と蜘蛛	19世紀	猪牙	江津市(七田真コレクション)
15	我補	猪牙に蟹	文化13年(1816)	猪牙	江津市(七田真コレクション)
16	廣花堂	猪牙に忍草と蜘蛛	19世紀	猪牙	江津市(七田真コレクション)
17	作者不詳	猪牙に忍草と蟹	19世紀	猪牙	江津市(七田真コレクション)
18	作者不詳	堅田落雁	19世紀	猪牙	江津市(七田真コレクション)
19	直人	蟬	18世紀	水牛の角	江津市(七田真コレクション)
20	作者不詳	枝に蟬	18~19世紀	黒檀	江津市(七田真コレクション)
21	可専	亀	18~19世紀	黒檀	江津市(七田真コレクション)
22	利治	竹に蝸牛	19世紀	黄楊	江津市(七田真コレクション)
23	作者不詳	流木に蟹	18世紀	黒柿	江津市(七田真コレクション)
24	白龍	蓮葉に蛙	19世紀	黄楊	江津市(七田真コレクション)
25	作者不詳	蓮葉に蛙	19世紀	黄楊	江津市(七田真コレクション)
26	葛刈	蛙	19世紀	黄楊	江津市(七田真コレクション)
27	正吉	八景図	文化5年(1808)	象牙	江津市(七田真コレクション)
28	巖水	トンコツ(煙草入れ)	19世紀	竹	江津市(七田真コレクション)
29	臥農	香入提物	18~19世紀	黒檀	江津市(七田真コレクション)
30	富春	蓮葉に蓑亀	寛政4年(1792)	鯨齒	島根県立石見美術館
31	富春	鮑に蟹	寛政7年(1795)	象牙	島根県立石見美術館
32	富春	亀	18~19世紀	黒檀	島根県立石見美術館
33	巖水	扇面に忍草	19世紀	象牙	島根県立石見美術館
34	富永	猪牙に蜘蛛	19世紀	猪牙	島根県立石見美術館
35	龍水	牛	18~19世紀	黒檀	島根県立石見美術館
36	作者不詳	猪牙に蜘蛛	18~19世紀	猪牙	島根県立石見美術館
37	中村 松間斎	猛禽図印籠	19世紀	高蒔絵	島根県立石見美術館

展示室B ドレスの楽しみ

会 期：平成28年8月3日(水)~9月26日(月)

内 容：様々な時代に制作された選りすぐりのドレス8点を特集展示した。

出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	ジャン=フィリップ・ウォルト	ウェディング・ドレス	1916年	さまざまな種類のブリュッセルレースを組み合わせたドレス	島根県立石見美術館
2	マドレーヌ・ヴィオネ	イブニング・ドレス	1938年	ドレスとアンダードレスの2ピース。ピンクのシルク・シフォン地のオーバードレス、シフォンと絹地のアンダードレス。	島根県立石見美術館
3	ニナ・リッチ	ドレス	1948年	紺と白の絹。開襟カラー。両肩下にポケットのある短いマント風ジャケット。前面にくるみ釦。クリノリン型のスカート。チュールネットの下着付き。	島根県立石見美術館
4	クリスチャン・ディオール	ボールガウン、ストール、靴	1954年	淡い青地に濃い水玉模様のプリント、絹シフォンのストラップレスドレス。襟元にポー飾り。背面にバスル風形状の飾り。共布のストールと靴。	島根県立石見美術館
5	クリストバル・パレンシアガ	カクテル・ドレス	1957年	黒いバラのモチーフのある白いレース地のワンピース・ドレス「ベビー・ドール・ドレス」。絹シフォンのアンダードレス付。	島根県立石見美術館
6	森 英恵	カフタン、ドレス	1976年春夏	蝶をプリントした絹シフォンと綾絹。同柄の絹シフォンのストール付。	島根県立石見美術館
7	ヴィヴィアン・ウエストウッド	イブニング・ドレス「サロン」	1992年	透けた黒のストレッチ素材。共布のショール付き。	島根県立石見美術館
8	森 英恵	イブニング・ドレス	1999年春夏	明るいグレーの絹シフォンに、白、黒、チャコールグレーの変わり水玉を刺繍したロングドレス。	島根県立石見美術館

新聞掲載

山陰中央新報8月26日 展覧会紹介記事

展示室B あなたの暮らしにつながる「大正」

会 期：平成28年9月28日(水)～11月14日(月)

内 容：現在の暮らしにつながるモダンなライフスタイルが成立した大正時代。当時の雑誌や楽譜などを展示し、その「モダンさ」を紹介した。

出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	岡田 三郎助	黒き帯	大正4年(1915)	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
2	川端 龍子	家庭教育双六(『婦人世界』新年附録)	大正4年(1915)	オフセット、石版、紙	島根県立石見美術館
3	杉浦 非水	競争双六(『少年世界』附録)	大正8年(1919)	オフセット、紙	島根県立石見美術館
4	津田 しげる	青い鳥双六(『2年生のひらがな童話』新年号附録)	昭和6年(1931)	オフセット、紙	島根県立石見美術館
5		ポスター『こども博覧会』	大正15年(1926)	石版、紙	島根県立石見美術館
6	竹久 夢二(画)	『婦人グラフ』第2巻第2号 表紙	大正14年(1925)	冊子	島根県立石見美術館
7		『婦人グラフ』第2巻第3号 「少女の髪型」	大正14年(1925)	冊子	島根県立石見美術館
8	竹久 夢二(画)	『婦人グラフ』第3巻第4号 表紙「エイプリル・フール」	大正15年(1926)	冊子	島根県立石見美術館
9	多々谷 信乃(画)	『婦人グラフ』第4巻第1号 表紙	昭和2年(1927)	冊子	島根県立石見美術館
10	竹久 夢二(画)	セノオ楽譜『歌の翼』	大正6年(1917) (大正13年再版)	石版、紙	島根県立石見美術館
11	竹久 夢二(画)	セノオ楽譜『搖籃(ゆりかご)』	大正6年(1917) (大正13年再版)	石版、紙	島根県立石見美術館
12	竹久 夢二(画)	セノオ楽譜『春潮(はるしお)』	大正7年(1918) (大正14年3版)	石版、紙	島根県立石見美術館
13	小林 かいち	絵封筒	大正～昭和初期 (1920～30年代)	木版、紙	島根県立石見美術館
14	武井 武雄	雲 挿図『コドモノクニ』(1925年1月号)より	大正14年(1925)	冊子	島根県立石見美術館
15	恩地 孝四郎	あけび 挿図『コドモノクニ』(1928年9月号)より	昭和3年(1928)	冊子	島根県立石見美術館
16		『アール・グー・ポーテ』1927年8月号	昭和2年(1927)	冊子	島根県立石見美術館

展示室B 美しき天然・大下藤次郎の水彩画

会 期：平成28年11月16日(水)～平成29年1月9日(月)

内 容：大下藤次郎作品から、山岳風景を中心に自然の美しさが表現された作品を紹介した。

出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	大下 藤次郎	水芭蕉	明治41年(1908)	水彩、紙	島根県立石見美術館
2	大下 藤次郎	尾瀬沼の雨	明治41年(1908)頃	水彩、紙	島根県立石見美術館
3	大下 藤次郎	朝	制作年不詳	水彩、紙	島根県立石見美術館
4	大下 藤次郎	山上の眺め	明治41年(1908)	水彩、紙	島根県立石見美術館
5	大下 藤次郎	夏	明治32年(1899)	水彩、紙	島根県立石見美術館
6	大下 藤次郎	多摩川畔	明治40年(1907)	水彩、紙	島根県立石見美術館
7	大下 藤次郎	秋の夕	明治40～44年(1917～1911)頃	水彩、紙	島根県立石見美術館
8	大下 藤次郎	甲州駒ヶ岳	明治40年(1907)	水彩、紙	島根県立石見美術館
9	大下 藤次郎	雪の山 3	制作年不詳	水彩、紙	島根県立石見美術館
10	大下 藤次郎	雪の山 4	制作年不詳	水彩、紙	島根県立石見美術館
11	大下 藤次郎	雲の観察 明治32年9月13日正午・南	明治32年(1899)	水彩、紙	島根県立石見美術館
12	大下 藤次郎	雲の観察 9月下旬西方午後五時	明治32年(1899)	水彩、紙	島根県立石見美術館
13	大下 藤次郎	秋の雲	明治37年(1904)	水彩、紙	島根県立石見美術館
14	大下 藤次郎	雲の観察 明治33年11月21日朝・東	明治33年(1900)	水彩、紙	島根県立石見美術館
15	大下 藤次郎	雲の観察 明治33年12月5日・西南方	明治33年(1900)	水彩、紙	島根県立石見美術館
16	大下 藤次郎	猪苗代	明治40年(1907)頃	水彩、紙	島根県立石見美術館
17	大下 藤次郎	猪苗代	明治39年(1906)	水彩、紙	島根県立石見美術館
18	大下 藤次郎	猪苗代	明治40年(1907)頃	水彩、紙	島根県立石見美術館
19	大下 藤次郎	猪苗代	明治40年(1907)	水彩、紙	島根県立石見美術館

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
20	大下 藤次郎	湖水を望む	明治40年(1907)頃	水彩、紙	島根県立石見美術館
21	大下 藤次郎	湖上の雲	明治40年(1907)頃	水彩、紙	島根県立石見美術館
22	大下 藤次郎	猪苗代	明治40年(1907)	水彩、紙	島根県立石見美術館
23	大下 藤次郎	波	明治40年(1907)	水彩、紙	島根県立石見美術館
24	大下 藤次郎	波の音	明治41年(1908)	水彩、紙	島根県立石見美術館
25	大下 藤次郎	興津	明治41年(1908)頃	水彩、紙	島根県立石見美術館
26	大下 藤次郎	浪	明治38年(1905)	水彩、紙	島根県立石見美術館
27	大下 藤次郎	武州七国峠	明治28年(1895)	水彩、紙	島根県立石見美術館
28	大下 藤次郎	相州塩川瀑	明治28年(1895)	水彩、紙	島根県立石見美術館
29	大下 藤次郎	絵はがきアルバム 1	明治30~40年代		島根県立石見美術館
30	大下 藤次郎	絵はがきアルバム 2	明治30~40年代		島根県立石見美術館
31	大下 藤次郎	尾瀬沼絵はがき	明治41年(1908)	印刷絵葉書 4枚組	島根県立石見美術館

新聞掲載

朝日新聞12月23日 展覧会情報

展示室B 森鷗外先生、語る

会 期：平成29年1月11日(水)~2月26日(日)

内 容：森鷗外の著述のなかから、鷗外とゆかりのあった画家たちについて触れた文章を作品とともに紹介。彼らの作品評など鷗外の言葉をひき、その思想や深いかかわりを紹介した。

出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	和田 英作	海神	大正7年(1918)	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
2	原田 直次郎	男児肖像	明治20年代(1887~98)頃	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
3	木下 奎太郎	助六	制作年不詳	油彩、カンヴァス	個人蔵(寄託作品)
4	小林 萬吾	スペイン・グラナダ・アルハンブラ	大正時代初期	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
5	五百城 文哉	富士図	明治26~39年(1863~1906)頃	水彩、紙	島根県立石見美術館
6	大下 藤次郎	野の道	明治25~30年(1894~97)頃	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
7	川村 清雄	緑蔭牧牛図	大正~昭和初期	油彩、絹	島根県立石見美術館
8	黒田 清輝	裸体	明治22年(1889)	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
9	藤島 武二	西洋婦人像	明治41~42年(1908~09)頃	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
10	中村 不折	裸婦	明治末~大正初期(1900~20)頃	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
11	岡田 三郎助	黒き帯	大正4年(1915)	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
12	宮 芳平	自画像	大正9年(1920)	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
13	小堀 四郎	ブルターニュの男	昭和5年(1930)	油彩、紙	島根県立石見美術館
14	長原 孝太郎	風景	大正10年(1921)	油彩、板	島根県立石見美術館
15	満谷 国四郎	雑木林	大正11年(1922)	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
16	満谷 国四郎	風景	大正時代中期	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館

新聞掲載

山陰中央新報2月15日 展覧会紹介記事

展示室B ファッションを伝える・広げる

会 期：平成29年3月1日(水)～4月10日(月)

内 容：様々な流行が生まれては消えていった20世紀のファッション。最新の衣服やスタイルを取り上げ、人々に流布させるファッション雑誌や写真を特集展示し、その歴史を紹介した。

出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	ジョルジュ・バルビエ	《秘密のねむるお墓 ウォルトの室内着》『ガゼット・デュ・ボン・トン』より	1922年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
2		『レ・モード』1909年1月号「モードとモード」よりツイマーマンの午後のドレス写真：アンリ・マニュエル	1909年発行	印刷、紙	島根県立石見美術館
3		『レ・モード』1905年7月号 パキャンの夜のドレス写真：ルトランジェ	1905年発行	印刷、紙	島根県立石見美術館
4	ルトランジェ	題不詳	1900年頃	ゼラチン・シルバー・プリント	島根県立石見美術館
5	ルトランジェ	題不詳	1900年頃	ゼラチン・シルバー・プリント	島根県立石見美術館
6	ルトランジェ	題不詳	1900年頃	ゼラチン・シルバー・プリント	島根県立石見美術館
7		『フェミナ』1904年5月号	1904年発行	印刷、紙	島根県立石見美術館
8		『フェミナ』1921年クリスマス号《ラ・メゾン》イラスト：シャルル・マルタン	1921年発行	印刷、紙	島根県立石見美術館
9		『フェミナ』1935年6月号	1935年発行	印刷、紙	島根県立石見美術館
10		『アール・グー・ボーテ』1927年5月号	1927年発行	印刷、紙	島根県立石見美術館
11		『婦人グラフ』昭和3年9月号	昭和3年(1928)発行	印刷、紙	島根県立石見美術館
12	ウンベルト・ブルネレスキ	《ヴェネチア風の装い》『ジュルナル・デ・ダーム・エ・デ・モード』より	1913年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
13	ウンベルト・ブルネレスキ	《刺繍入りサテンのひだ飾り付きローブ》『ジュルナル・デ・ダーム・エ・デ・モード』より	1914年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
14	アルマンド・ヴァレ	《花嫁》『ジュルナル・デ・ダーム・エ・デ・モード』より	1913年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
15	アルマンド・ヴァレ	《若い娘のローブ》『ジュルナル・デ・ダーム・エ・デ・モード』より	1913年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
16	mfn	《緑のサージとチェックの狩猟服》『ジュルナル・デ・ダーム・エ・デ・モード』より	1913年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
17	mfn	《小妖精》『ジュルナル・デ・ダーム・エ・デ・モード』より	1914年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
18	ルイ＝モーリス・ブテ・ド・モンヴェル	《お揃いの服》『ジュルナル・デ・ダーム・エ・デ・モード』より	1913年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
19	ルイ＝モーリス・ブテ・ド・モンヴェル	《アンクローワイヤールとカーティニエール》『ジュルナル・デ・ダーム・エ・デ・モード』より	1914年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
20		『ジュルナル・デ・ダーム・エ・デ・モード』No.52	1913年発行	印刷、紙	島根県立石見美術館
21		クロッキー『ガゼット・デュ・ボン・トン』No.2より	1922年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
22		クロッキー『ガゼット・デュ・ボン・トン』No.3より	1922年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
23		クロッキー『ガゼット・デュ・ボン・トン』No.9より	1922年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
24		クロッキー『ガゼット・デュ・ボン・トン』No.5より	1922年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
25		クロッキー『ガゼット・デュ・ボン・トン』No.1より	1922年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
26		クロッキー『ガゼット・デュ・ボン・トン』No.10より	1922年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
27	ジョルジュ・ルパーブ	《早すぎたかしら？ ボールボワレの劇場用マントー》『ガゼット・デュ・ボン・トン』より	1912年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
28	シャルル・マルタン	《りんごの唇 レドファンの異性装》『ガゼット・デュ・ボン・トン』より	1913年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
29	フランシスコ・ジャヴィエール＝ゴゼ	《バラの中のバラ レドファンによるガーデン・パーティー用ドレス》『ガゼット・デュ・ボン・トン』より	1913年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
30	H.ロベルト・ダミー	《まあ！なんて美しい鳥でしょう！ ドゥーセによる部屋着》『ガゼット・ デュ・ボン・トン』より	1913年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
31		『ガゼット・デュ・ボン・トン』 No.2	1923年発行	印刷、紙	島根県立石見美術館
32	アンドレ・マルティ	《風の中の翼》『モード・エ・マニエル・ ドージュルデュイ』より	1919年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
33	アンドレ・マルティ	《復員》『モード・エ・マニエル・ド- ージュルデュイ』より	1919年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
34	アンドレ・マルティ	《リトミック》『モード・エ・マニエル・ ドージュルデュイ』より	1919年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
35		『モード・エ・マニエル・ド- ージュルデュイ』	1913年発行	印刷、紙	島根県立石見美術館
36		『モード・エ・マニエル・ド- ージュルデュイ』	1919年発行	印刷、紙	島根県立石見美術館
37	アドルフ・ド・メイヤー	《ミスタンゲット》	1920年	ゼラチン・シルバー・ プリント	島根県立石見美術館
38	セシル・ビートン	《エドワード朝様式の室内にいるメ アリー・テイラー、『ヴォーグ』より》	1935年	ゼラチン・シルバー・ プリント	島根県立石見美術館
39	ウィリアム・クライン	《煙+ペール》	1958年	ゼラチン・シルバー・ プリント	島根県立石見美術館
40	リチャード・アヴェドン	《ドヴィマと象》	1955年	ゼラチン・シルバー・ プリント	島根県立石見美術館
41	エドワード・スタイケン	《無題》	不詳	ゼラチン・シルバー・ プリント	島根県立石見美術館
42	マーティン・ムンカッチ	ルシール・プロコウ『ハーパース・ バザー』1933年12月号	1933年	ゼラチン・シルバー・ プリント	島根県立石見美術館
43	森 英恵	ホステス・ガウン「菊のバジャマ・ ドレス」	1966年	綾絹と絹シフオンの ジャンプスーツとカ プタン	島根県立石見美術館
44	アンドレ・クレージュ	デイ・アンサンブル	1965～67年	チェック地の白い ウールのツーピース・ ドレス	島根県立石見美術館
45		『ヴォーグ』アメリカ版1965年3月 15日号「バリの驚くべきプロポー ション」より 写真：ウィリアム・クライン	1965年	印刷、紙	島根県立石見美術館
46		『ヴォーグ』アメリカ版1966年11月 1日号「バジャマ・ドレスを着たベ ネデッタ・バルジニとジーン・シュ リンプトン」より 写真：リチャード・アヴェドン	1966年	印刷、紙	島根県立石見美術館
47		『ヴィジョネア』No.20 "COMME DES GARCONS"	1997年	ミクストメディア	島根県立石見美術館
48		『ヴィジョネア』No.30 "The Game"	2000年	ミクストメディア	島根県立石見美術館
49		『ヴィジョネア』No.36 "POWER"	2001年	ミクストメディア	島根県立石見美術館
50		『ヴィジョネア』No.41 "WORLD"	2003年	ミクストメディア	島根県立石見美術館
51		『ヴィジョネア』No.44 "TOYS" 赤・ 黒 SET	2004年	ミクストメディア	島根県立石見美術館

展示室C ラウル・デュフィ テキスタイルの仕事

会 期：平成28年5月11日(水)～6月27日(月)

内 容：ラウル・デュフィのテキスタイルデザインの仕事について、テキスタイルやデザイン画などの充実した作品群により紹介した。

出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	ラウル・デュフィ	ピアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル・デザイン「鳥、異国の果物と花」	1912～28年	プリント、紙	島根県立石見美術館
2	ラウル・デュフィ	ピアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル・デザイン「ダンス」	1914年	プリント、紙	島根県立石見美術館
3	ラウル・デュフィ	ピアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル・デザイン「チャーリー・チャップリン」	1920年頃	プリント、紙	島根県立石見美術館
4	ラウル・デュフィ	ピアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル・デザイン「パステル色の花」		プリント、紙	島根県立石見美術館
5	ラウル・デュフィ	ピアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル・デザイン「蝶々と花」		グアッシュ、紙	島根県立石見美術館
6	ラウル・デュフィ	ピアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル・デザイン「バラと花々」		プリント、紙	島根県立石見美術館
7	ラウル・デュフィ	ピアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル・デザイン「スケートをする人々」		プリント、紙 (1954年のリプリント用)	島根県立石見美術館
8	ラウル・デュフィ	「ガゼット・デュ・ボン・トン」より「夏のドレス 1920」	1920年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
9	ラウル・デュフィ	ピアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル「ペリカン」	1912～13年	プリント、綿布	島根県立石見美術館
10	ラウル・デュフィ	ピアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル「ダンス」	1914年	プリント、麻布	島根県立石見美術館
11	ラウル・デュフィ	ピアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル「たちあおい」	1918年	プリント、絹	島根県立石見美術館
12	ラウル・デュフィ	ピアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル「ヨーロッパの果物」	1919年	織り、絹	島根県立石見美術館
13	ラウル・デュフィ	ピアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル「アラム」	1919年	プリント、麻布	島根県立石見美術館
14	ラウル・デュフィ	ピアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル「花・水浴の女・船・貝殻」	1924年頃	モスリン	島根県立石見美術館

新聞掲載

山陰中央新報 6月24日 展覧会紹介記事

展示室C 風景に遊ぶ

会 期：平成28年6月29日(水)～8月20日(土)

内 容：天井の高い空間で展示室を散歩するように歩き、風景画散策を楽しんでもらう意図で展示した。様々な技法による風景画の違いにも着目した。

出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	ラウル・デュフィ	水上の祭	1920～22年頃	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
2	須田 国太郎	大濱	昭和25年(1950)	紙、鉛筆	島根県立石見美術館
3	山中 徳次	木部海岸(大谷)	昭和11年(1936)	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
4	鹿子木 孟郎	舞子の浜	大正3年(1914)	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
5	吉田 博	風景	大正時代前期	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
6	石井 柏亭	芙蓉湖	昭和25年(1950)	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
7	山崎 修二	窓辺の静物	昭和25年(1950)	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
8	森村 泰昌	セルフポートレイト(女優) ドヌーブとしての私・3	平成8年(1996)	イルフォクローム、 アクリル加工	島根県立石見美術館
9	メルヴィン・ソコルスキー	木立のなかで	1963年	ゼラチン・シルバー・ プリント	島根県立石見美術館
10	メルヴィン・ソコルスキー	デルポーに捧ぐ	1963年	ゼラチン・シルバー・ プリント	島根県立石見美術館
11	ベルナルド・フォコン	小さな木 「偶像と生贄」より	1991年	フレッソン・プリント	島根県立石見美術館

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
12	ベルナルド・フォコン	ミュケナイの門 「偶像と生贄」より	1991年	フレッゾン・プリント	島根県立石見美術館
13	富岡 鉄斎	江山招隠図	明治40年(1907)	絹本著色	島根県立石見美術館
14	西 晴雲	湖南漁舟・緑陰仙居図	昭和3年(1928)	紙本著色	島根県立石見美術館
15	横山 大観	水温む	昭和29年(1954)	紙本墨画	島根県立石見美術館
16	田中 頼璋	白雲紅樹	昭和9年(1934)	絹本著色	島根県立石見美術館
17	満谷 国四郎	雑木林	大正11年(1922)	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
18	満谷 国四郎	風景	大正時代中期	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
19	中川 八郎	初秋の夕	大正8年(1919)	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
20	長原 孝太郎	風景	大正10年(1921)	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
21	宮 芳平	風景	大正時代	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館

展示室C つるつる・ざらざら

会 期：平成28年9月22日(木)～10月31日(月)

内 容：つるりとした表面をもつ作品、ざらざらとした筆の跡の残る絵画など、美術作品の表面の質感に注目し、根付や絵画など幅広いジャンルの作品を紹介した。

出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	黒田 清輝	ポプラの黄葉	明治24年(1891)	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
2	椿 貞雄	冬瓜南瓜図	昭和21～22年(1946～47)	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
3	香月 泰男	ヴァンドーム広場	昭和48年(1973)	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
4	ゲルトルト・ヴァインベルガー	「モード・ウィーン1914/15」(12点組)	1914～15年	木版、一部水彩加筆、紙	島根県立石見美術館
5	ロッテ・カルム	「モード・ウィーン1914/15」(12点組)	1914～15年	木版、一部水彩加筆、紙	島根県立石見美術館
6	イレーネ・シャシュル	「モード・ウィーン1914/15」(12点組)	1914～15年	木版、一部水彩加筆、紙	島根県立石見美術館
7	草間 彌生	「銀色の希死」より シルバージューズ	1976年	靴、詰め物をした縫製布、彩色	島根県立石見美術館
8	草間 彌生	ドレス	1976年	ドレス、詰め物をした縫製布、ハンガー、彩色	島根県立石見美術館
9	澄川 喜一	マジック・ボックス	1975年	櫟、杉、黒御影石	個人蔵
10	澄川 喜一	そりのあるかたち	1985年	櫟	個人蔵
11	菊池 隆志	初夏遊園	昭和3年(1928)	絹本著色、紙	島根県立石見美術館
12	東郷 青児	婦人像	昭和5～10年(1930～35)頃	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
13	ダゴベルト・ベッヒエ	蓋付きの物入れ	1912年	陶製、釉薬	島根県立石見美術館
14	ダゴベルト・ベッヒエ	蓋付きの箱	1920～21年	鍛金、銀	島根県立石見美術館
15	龍水	石見根付 牛	江戸時代	木	島根県立石見美術館
16	富永	根付 蜘蛛	江戸時代後期	猪の牙	島根県立石見美術館
17	富春	根付 亀	江戸時代後期	木	島根県立石見美術館

展示室C 想像力(イマジネーション) 木でつくる

会 期：平成28年11月2日(水)～12月26日(月)

内 容：木で造られた芸術のなかでも、特に素材が重要な役割を果たし、それぞれに独自の造形性をもたらす木版画、木彫の魅力を紹介した。

出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	石井 柏亭	木場	大正3年(1914)	木版、紙	島根県立石見美術館
2	米原 雲海	仙丹	明治43年(1910)	木	島根県立石見美術館
3	内藤 伸	豊公	大正7年(1918)	木	島根県立石見美術館
4	内藤 伸	重陽菊酒	昭和5年(1930)	木、彩色	島根県立石見美術館
5	岸田 劉生	岸田劉生個展ポスター	大正8年(1919)	木版、紙	島根県立石見美術館
6	永瀬 義郎	祈り	昭和31年(1956)	木版、紙(紺紙金刷)	島根県立石見美術館
7	永瀬 義郎	画家	昭和38年(1963)	木版、紙	島根県立石見美術館
8	籾内 佐斗司	ろーりんぐまん	昭和59年(1984)	木(檜)	島根県立石見美術館
9	籾内 佐斗司	どこかものたりない不可思議な人物たち	昭和57年(1982)	木(檜)	島根県立石見美術館
10	澄川 喜一	種	昭和57年(1982)	樺、樟	個人蔵(寄託)
11	澄川 喜一	MASK	昭和60年(1985)	樟	個人蔵(寄託)
12	ラウル・デュフィ	狩猟	1910年頃	木版、紙	島根県立石見美術館
13	ラウル・デュフィ	ダンス	1910年頃	木版、紙	島根県立石見美術館
14	澄川 喜一	瀧	平成17年(2005)	杉、樺	個人蔵(寄託)
15	澄川 喜一	木霊A	平成19年(2007)	檜、樟	個人蔵(寄託)
16	澄川 喜一	木霊	平成19年(2007)	檜、樺	個人蔵(寄託)
17	澄川 喜一	そりのあるかたちB	平成24年(2012)	樺	個人蔵(寄託)
18	澄川 喜一	そりのあるかたちA	平成23年(2011)	樺	個人蔵(寄託)
19	澄川 喜一	そりのあるかたち8	平成5年(1993)	樺	個人蔵(寄託)

展示室C おしゃれを描くーファッションプレートにみる女性の装い

会 期：平成29年1月2日(月・祝)～2月27日(月)

内 容：ファッションプレートとは、ファッションの流行を伝える版画のこと。本展は「おしゃれ」を伝えた多彩な表現を5人のイラストレーターごとにまとめて紹介した。

出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	ジョルジュ・バルビエ	《輪投げ遊び バキャンのデイ・ドレス》『ガゼット・デュ・ボン・トン』より	1913年	ポシヨワール、オフセット、紙	島根県立石見美術館
2		《あんまりだわ バキャンの田舎で過ごすためのドレス》『ガゼット・デュ・ボン・トン』より	1913年	ポシヨワール、オフセット、紙	島根県立石見美術館
3		《イヌサフラン バキャンの旅行用のマントー》『ガゼット・デュ・ボン・トン』より	1914年	ポシヨワール、オフセット、紙	島根県立石見美術館
4		《なんて小さな魚… 夏の服》『ガゼット・デュ・ボン・トン』より	1914年	ポシヨワール、オフセット、紙	島根県立石見美術館
5		《期待しているのね ウォルトのイブニング・ドレス》『ガゼット・デュ・ボン・トン』より	1922年	ポシヨワール、オフセット、紙	島根県立石見美術館
6		《ベネチアンレッド ウォルトのイブニング・ドレス》『ガゼット・デュ・ボン・トン』より	1923年	ポシヨワール、オフセット、紙	島根県立石見美術館
7		《牡丹 ウォルトのイブニング・ドレス》『ガゼット・デュ・ボン・トン』より	1924年	ポシヨワール、オフセット、紙	島根県立石見美術館
8		《「マノン、ガランテの娘」における女優ジャンヌ・マルナックペルージャの短靴、ジョルジュ・バルビエの衣装》『ガゼット・デュ・ボン・トン』より	1924～25年	ポシヨワール、オフセット、紙	島根県立石見美術館
9		《突風》『モード・エ・マニエル・ドージュルデュイ』より	1914年	ポシヨワール、オフセット、紙	島根県立石見美術館
10		《移り気な鳥》『モード・エ・マニエル・ドージュルデュイ』より	1914年	ポシヨワール、オフセット、紙	島根県立石見美術館

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
11	ジョルジュ・バルビエ	《小島》『モード・エ・マニエル・ドージュルデュイ』より	1914年	ボショワール、オフセット、紙	島根県立石見美術館
12		《正午の水辺》『モード・エ・マニエル・ドージュルデュイ』より	1914年	ボショワール、オフセット、紙	島根県立石見美術館
13	アンドレ・マルティ	《バラを撫でる ドウイエによるディナードレス》『ガゼット・デュ・ボン・トン』より	1912年	ボショワール、オフセット、紙	島根県立石見美術館
14		《ダイアナ ドウイエのアフタヌーンドレス》『ガゼット・デュ・ボン・トン』より	1913年	ボショワール、オフセット、紙	島根県立石見美術館
15		《私の心を暴かないで! ドウイエの薄手のドレス》『ガゼット・デュ・ボン・トン』より	1913年	ボショワール、オフセット、紙	島根県立石見美術館
16		《シンデレラ ドウイエの夜会服》『ガゼット・デュ・ボン・トン』より	1920年	ボショワール、オフセット、紙	島根県立石見美術館
17		《飛んで! ドウイエの、ダンスのための午後のドレス》『ガゼット・デュ・ボン・トン』より	1921年	ボショワール、オフセット、紙	島根県立石見美術館
18		《ピネガー ポール・ボワレのドレス》『ガゼット・デュ・ボン・トン』より	1924年	ボショワール、オフセット、紙	島根県立石見美術館
19		《陰気な冬が終わり、春が訪れる コローの帽子》『ガゼット・デュ・ボン・トン』より	1924年	ボショワール、オフセット、紙	島根県立石見美術館
20		《バラの香り コローの帽子》『ガゼット・デュ・ボン・トン』より	1924年	ボショワール、オフセット、紙	島根県立石見美術館
21		《朝の公園》『モード・エ・マニエル・ドージュルデュイ』より	1919年	ボショワール、オフセット、紙	島根県立石見美術館
22		《舞台稽古》『モード・エ・マニエル・ドージュルデュイ』より	1919年	ボショワール、オフセット、紙	島根県立石見美術館
23		ピエール・プリソー	《たそがれ時 ウォルトの街着》『ガゼット・デュ・ボン・トン』より	1912年	ボショワール、オフセット、紙
24	《私の車! シェリュイーの街に着ていく女性用ドレス》『ガゼット・デュ・ボン・トン』より		1912年	ボショワール、オフセット、紙	島根県立石見美術館
25	《音楽の時間 シェリュイーのレセプション用ドレス》『ガゼット・デュ・ボン・トン』より		1913年	ボショワール、オフセット、紙	島根県立石見美術館
26	《さあ、勇気を出して飛び込んで! 水浴着》『ガゼット・デュ・ボン・トン』より		1913年	ボショワール、オフセット、紙	島根県立石見美術館
27	《学校はどうだった? ジャンヌ・ランヴァンの風変わりなテラード・スーツ》『ガゼット・デュ・ボン・トン』より		1914年	ボショワール、オフセット、紙	島根県立石見美術館
28	《ピパ!サン・シール! ジャンヌ・ランヴァンの夏服》『ガゼット・デュ・ボン・トン』より		1914年	ボショワール、オフセット、紙	島根県立石見美術館
29	《お辞儀 ジャンヌ・ランヴァンのアフタヌーン・ドレスと子ども服》『ガゼット・デュ・ボン・トン』より		1920年	ボショワール、オフセット、紙	島根県立石見美術館
30	《待ってるわ! ジャンヌ・ランヴァンのオーガンジーの子ども用マント》『ガゼット・デュ・ボン・トン』より		1920年	ボショワール、オフセット、紙	島根県立石見美術館
31	《訪問 ジャンヌ・ランヴァンのアフタヌーン・ドレスと子ども服》『ガゼット・デュ・ボン・トン』より		1920年	ボショワール、オフセット、紙	島根県立石見美術館
32	《おやつに帰りましょうよ ジャンヌ・ランヴァンのテラード・スーツと子ども服》『ガゼット・デュ・ボン・トン』より		1920年	ボショワール、オフセット、紙	島根県立石見美術館
33	《ひどい天気だ。私のせいじゃないが… ジャンヌ・ランヴァンのアフタヌーン・ドレスと少女服、ラーセンのボルドー色のジャケット》『ガゼット・デュ・ボン・トン』より		1922年	ボショワール、オフセット、紙	島根県立石見美術館
34	《乗馬道 ジャンヌ・ランヴァンのアフタヌーン・ドレスと少女服、ラーセンの乗馬用ベスト》『ガゼット・デュ・ボン・トン』より	1922年	ボショワール、オフセット、紙	島根県立石見美術館	
35	ジョルジュ・ルバーク	《ブランコ》『モード・エ・マニエル・ドージュルデュイ』より	1912年	ボショワール、オフセット、紙	島根県立石見美術館
36		《仮装》『モード・エ・マニエル・ドージュルデュイ』より	1912年	ボショワール、オフセット、紙	島根県立石見美術館
37		《無気力 ポール・ボワレのドレス》『ガゼット・デュ・ボン・トン』より	1912年	ボショワール、オフセット、紙	島根県立石見美術館
38		《どっちにしよう? ボワレの夜会服》『ガゼット・デュ・ボン・トン』より	1913年	ボショワール、オフセット、紙	島根県立石見美術館
39		《女とあやつり人形 マオリネット》『ガゼット・デュ・ボン・トン』より	1913年	ボショワール、オフセット、紙	島根県立石見美術館
40		《新しいネックレス ポール・ボワレのイブニングドレス》『ガゼット・デュ・ボン・トン』より	1914年	ボショワール、オフセット、紙	島根県立石見美術館
41		《あまりに暑い ボワレの夏用帽子》『ガゼット・デュ・ボン・トン』より	1914年	ボショワール、オフセット、紙	島根県立石見美術館

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
42	ジョルジュ・ルバープ	《晴れた日のために 帽子、日傘、手袋》『ガゼット・デュ・ボン・トン』より	1914年	ポシヨワール、オフセット、紙	島根県立石見美術館
43		《美しい女性 ポール・ボワレの夏用のドレス》『ガゼット・デュ・ボン・トン』より	1920年	ポシヨワール、オフセット、紙	島根県立石見美術館
44		《幻想 ジャンヌ・ランヴァンのドレス》『ガゼット・デュ・ボン・トン』より	1924～25年	ポシヨワール、オフセット、紙	島根県立石見美術館
45	ゲルダ・ヴェイナー	《たくしあげたローブ》『ジュルナル・デ・ダーム・エ・デ・モード』より	1914年	ポシヨワール、オフセット、紙	島根県立石見美術館
46		《手刺繍のひだ飾り付きギャバジンのドレス》『ジュルナル・デ・ダーム・エ・デ・モード』より	1914年	ポシヨワール、オフセット、紙	島根県立石見美術館
47		《16歳から18歳の若い女性のためのダンス用ドレス》『ジュルナル・デ・ダーム・エ・デ・モード』より	1914年	ポシヨワール、オフセット、紙	島根県立石見美術館
48		《厚地のトワルのスカート》『ジュルナル・デ・ダーム・エ・デ・モード』より	1914年	ポシヨワール、オフセット、紙	島根県立石見美術館
49		《起き抜けに》『ジュルナル・デ・ダーム・エ・デ・モード』より	1914年	ポシヨワール、オフセット、紙	島根県立石見美術館
50		《午後に着るタフタのドレス》『ジュルナル・デ・ダーム・エ・デ・モード』より	1914年	ポシヨワール、オフセット、紙	島根県立石見美術館

関連事業

グラントワシアター×石見美術館コレクション展「おしゃれを描く」

映画「リリーのすべて」

本展で紹介するゲルダ・ヴェイナーの夫であり世界ではじめて性別適合手術をうけたアイナー(リリー)をモデルにした映画を上映した。映画上映に併せ各回終了後、当館学芸員によるトークショーも実施。

日 時：平成29年2月11日(土) 10:00～/14:00～

会 場：グラントワ 小ホール

上映来場者：116名

新聞掲載

山陰中央新報1月13日 展覧会紹介記事

第15回 益田書道展

会 期：平成28年11月11日(金)～11月13日(日)
会 場：展示室D
主 催：益田市書道会

第35回 益田市美術展

会 期：平成28年11月17日(木)～11月20日(日)
会 場：展示室D
主 催：益田市美術展実行委員会

第49回島根県総合美術展(県展)移動展

会 期：平成28年11月24日(木)～11月27日(日)
会 場：展示室D
主 催：島根県、島根県文化団体連合会、美術関係諸団体

島根県高校美術展

会 期：平成28年12月9日(金)～12月12日(月)
会 場：展示室D
主 催：島根県高等学校文化連盟

全島根小中学校図画作品展 益田展

会 期：平成29年2月25日(土)～2月27日(月)
会 場：展示室D
主 催：島根県造形教育研究会、島根県立石見美術館

教育普及活動



「よみがえる戦国の宴」ポスター

【アートで楽しむ益田の歴史プロジェクト事業】

文化庁「地域の核となる美術館・歴史博物館支援事業」として、地域の団体と実行委員会を組織し、以下の事業に取り組んだ。

アートで楽しむ益田の歴史プロジェクト実行委員会

島根県立石見美術館、(公財)しまね文化振興財団(いわみ芸術劇場)、中世の食再現プロジェクト、みるみるの会

「よみがえる戦国の宴」

日 時：平成28年10月22日17時30分開宴

会 場：萬福寺

参加者：40名

出 演：安田 登(下掛宝生流ワキ方)、槻宅 聡(森田流笛方)

料 理：中世の食再現プロジェクト

内 容：中世期に益田地域を統治した豪族、益田氏ゆかりの寺院を会場とし、「益田家文書」にある饗宴の献立を再現した料理と、同文書を題材に作詞作曲された組曲を味わう催し。古文書には観世大夫による能が上演された記録があることにちなみ、料理とともに能楽のパフォーマンスも鑑賞した。「戦国の宴」にちなみ「人間五十年」を謡い、所作を行うなど観客参加型のプログラムもあった。



「絵画と能楽の競演」チラシ

絵画と能楽の競演「人麻呂を舞い、謡う」

日 時：平成28年10月22日14時開演

会 場：展示室A

参加者：56名

出 演：安田 登(下掛宝生流ワキ方)、槻宅 聡(森田流笛方)

内 容：コレクション展「歌と詩の美術」で展示中の所蔵作品《人麻呂図屏風》の前に舞台を設け、人麻呂にちなんだ演目などの能楽パフォーマンスを上演。「石見相聞歌」を全員で謡うなど、観客参加型のプログラムもあった。

企画展「芳年」関連プログラム

浮世絵×ダンス×石見神楽「ウキウキ浮世絵、ヨシヨシ芳年」

日 時：1月22日(日)14:00～16:00

会 場：グラントワ小ホール

参加者：199名

出 演：藤田 善宏(ダンサー・振付家)、あき たけだ(ダンサー)、池田 仁徳(ダンサー)、酒井 大輝(ダンサー)、坂本 頼光(活動写真弁士)、益田市石見神楽神和会青年部

内 容：企画展「芳年 激動の時代を生きた天才浮世絵師」関連イベントとして、芳年の浮世絵を題材にした、コンテンポラリーダンスと石見神楽のコラボレーションを行った。演目は、芳年の絵の題材と同じ主題の石見神楽「天神」(津田神社社中)、観客も巻き込みながら芳年の浮世絵をダンサーのポーズで再現する「浮世絵ダンス」、そしてダンサーと石見神楽神和会青年部とが共同で新作した「岩戸」の3本立て。藤田善宏氏と益田市石見神楽神和会青年部とのコラボレーションは、平成27年度の「仏像×ダンス」ワークショップに続く二回目。今回は準備により時間をかけた、新しい舞台芸術の創作に至ることができた。



「ウキウキ浮世絵、ヨシヨシ芳年」ポスター



「よみがえる戦国の宴」



「人麻呂を舞い、謡う」



「ウキウキ浮世絵、ヨシヨシ芳年」
浮世絵ダンス・孫悟空



「ウキウキ浮世絵、ヨシヨシ芳年」
コラボレーション「岩戸」



益田市立豊川小学校へのアウトリーチ

ダンス体験のアウトリーチ

日 時：平成29年1月20日
会 場：益田市立豊川小学校
参加者：3・4年生 7名

日 時：平成29年1月23日
会 場：益田市立鎌手小学校
参加者：5・6年生 28名

内 容：ダンサー・振付家である藤田善宏氏による、益田市内小学校でのダンスのアウトリーチプログラムを実施した。

新聞掲載

山陰中央新報10月24日 よみがえる戦国の宴 取材記事
中国新聞1月20日 浮世絵×ダンス×石見神楽 準備取材記事
山陰中央新報1月23日 浮世絵×ダンス×石見神楽 取材記事
中国新聞1月23日 浮世絵×ダンス×石見神楽 取材記事
中国新聞2月5日 浮世絵×ダンス×石見神楽 取材記事



チラシ

【ファッション・クリエイター・トレーニング・ワークショップ】

ファッションの分野で想像性の高い活動を行う次世代の育成を目的に、平成28年度よりスタートした滞在型ワークショップ。講師に、近年日本各地の伝統的な素材を見直し、美しいかたちを与える活動を続けている前田征紀氏を迎え、島根県西部に伝わる石州和紙を題材に「地域資源の活用」および「地方とファッション」について考える機会とした。石州和紙会館、および風の工房を訪問し、石州和紙や手漉き和紙についてレクチャーを受けた後、「石州和紙を用いた新たな製品とそれに付随するコンセプトを発表方法まで含め制作、提案する」という課題に取り組んだ。

日 時：平成28年8月19日(金)～21日(日)
 19日は朝7時から、20・21日は朝10時から、いずれも17時頃まで
 会 場：島根県立石見美術館 講義室、多目的ギャラリー など
 講 師：前田 征紀(コズミックワンダー主宰、現代美術作家)
 協 力：石州和紙会館(浜田市)、風の工房(江津市)
 参 加 者：8名(香川県、静岡県、兵庫県などから)

【講座・講演など】

授業「美しい構成と装飾 ～マリメッコに挑戦～」

益田市高津中学校からの依頼で、一年生を対象に、「平面構成」の課題について企画展「マリメッコ展」を題材として鑑賞と制作の連続授業を実施した。

1)「マリメッコ」や「デザイン」について理解を深め、「デザイナー」の仕事や役割について学ぶ

日 時：平成28年6月1日(水)～6月3日(金)*各日一クラスずつ 9:00～9:50
 会 場：益田市立図書館 視聴覚室

2) 展覧会を鑑賞し、モチーフの活かし方、構成、色の工夫などについて理解を深め、作品の良さについて考える

日 時：平成28年6月1日(水)～6月3日(金)*各日一クラスずつ 10:10～12:10休憩含む
 会 場：島根県立石見美術館 展示室D

3) 展覧会で鑑賞し、考えたことを手がかりに、マリメッコのデザイナーになったつもりで、自分のテキスタイルデザインを制作する

日 時：平成28年6月1日(水)～6月3日(金)*各日一クラスずつ 9:00～9:50
 会 場：益田市立高津中学校 1-1,1-2,1-3各教室

いずれも講師：廣田 理紗

対 象：益田市立高津中学校 1年生全生徒

講座「森鷗外ゆかりの美術家たち」

日 時：平成28年5月31日(火) 13:00～15:00
 講 師：川西 由里
 会 場：いわみーる
 参 加 者：シマネスクくにびき学園西部校2年生(11名)

講座「掛軸に親しむ」

日 時：平成28年10月30日(日) 13:30～15:00
 講 師：川西 由里
 会 場：大田市生涯学習センター・仁摩図書館
 参 加 者：温泉津・仁摩地区の大田市民(20名)

講座「石見の仏像」

日 時：平成28年11月27日(火) 13:30～15:00
 講 師：椋木 賢治(島根県立美術館学芸課長)
 会 場：大田市生涯学習センター・仁摩図書館
 参 加 者：温泉津・仁摩地区の大田市民(20名)



ファッション・クリエイター・トレーニング・ワークショップ
 ©長島友里枝



ファッション・クリエイター・トレーニング・ワークショップ
 ©長島友里枝

大田市学校教育研究会 造形教育部会
講座「アートカードを用いた「対話による鑑賞」の授業について」

日時：平成28年8月3日(水)

講師：廣田 理紗

会場：大田市民センター 集会室

参加者：大田市学校教育研究会 造形教育部会会員

【非常勤講師としての授業】

平成27年度より島根県立石見高等看護学院での芸術(美術)の授業を一コマ担当している。当館学芸員によるリレー形式の授業。共通テーマは「地域の美術とその鑑賞」。

第1回 講座「石見の仏像」

日 時：平成28年9月23日(金)14:50～16:20

講 師：椋木 賢治(島根県立美術館学芸課長)

会 場：島根県立石見高等看護学院

第2回 講座：「森鷗外と美術」

日 時：平成28年9月29日(木)14:50～16:20

講 師：川西 由里

会 場：島根県立石見高等看護学院

第3回 見学：企画展「ミッフィー展」鑑賞

日 時：平成28年10月28日(金)15:00～16:30

講 師：南目 美輝

会 場：島根県立石見美術館 展示室D

第4回 講義：「名画をいろどる話芸と音楽」

日 時：平成28年12月1日(木)14:50～16:20

講 師：川西 由里

会 場：島根県立石見高等看護学院

第5回 講義：「森英恵と石見美術館のファッションコレクション」

日 時：平成28年12月7日(水)14:50～16:20

講 師：南目 美輝

会 場：島根県立石見高等看護学院

第6回 実習：「対話による鑑賞、アートカードゲーム」

日 時：平成28年12月8日(木)13:10～15:35

講 師：廣田 理紗

会 場：島根県立石見美術館 講義室

第7回 講義：「米原雲海」

日 時：平成28年12月15日(金)14:50～16:20

講 師：左近充 直美

会 場：島根県立石見高等看護学院

当館では開館以前から、市民がボランティアとして積極的に事業に参加してきた。現在のボランティア全体のボランティア会の組織は、映画、イベント、ワークショップ、放送、劇場フロント、ギャラリートーク、発送、クリーンアップ、生け花、情報発信の10のグループからなっている。そのうち美術館では「ワークショップグループ」と「ギャラリートーク」のグループが活動している。

【ギャラリートークボランティア】

コレクション展の会場で、会期中の土曜日、日曜日、祝日の午前(10:00～12:00)と午後(13:00～15:00)に実施している。当番制ではなく、各自が活動できる日に来館して行っている。ボランティアは展示室で待機して来場者に声をかけ、希望者に対してトークを行う。各展覧会のトーク実施前には、担当学芸員によるギャラリートーク講習を行っている。

活動記録

8月9日、11月27日 ギャラリートークボランティア講習
ギャラリートークボランティアを対象とした所蔵作品についての講習会

8月3日～9月19日 コレクション展「おしゃべりな絵」
8月3日～9月26日 コレクション展「ドレスの楽しみ」
9月21日～11月7日 コレクション展「歌と詩の美術」
11月9日～12月26日 コレクション展「雲谷派」

【ワークショップボランティア】

美術館で開催するワークショップをはじめとする教育普及事業では、ボランティアスタッフがアシスタントとして事業に関わっている。

活動記録

5月22日、6月12日

企画展「マリメッコ展」関連プログラム、ワークショップ「シルクスクリーンでオリジナルバッグを作ろう!」にて、ワークショップの補助を行った。

7月3～9日、14日

特別展「お水え いわみのかみとみず」に、展示された紙衣に漉き込まれた海藻や水草、草花の選別と乾燥の補助を行った。

8月7日

企画展「原田直次郎」関連プログラム、ワークショップ「人物画を描いてみよう」にて、ワークショップの補助を行った。

1. いわみ美術回廊

平成14年4月1日 いわみ美術回廊がスタート

参加館：津和野町立安野光雅美術館、三隅町立石正美術館、浜田市世界子ども美術館、葛飾北斎美術館、杜塾美術館、益田市立雪舟の郷記念館、今井美術館（以上7館）

活動内容：①情報コーナーの各館設置②ポスター製作③チラシ製作④加盟館各館の諸催し物の情報をPR誌等へ掲載⑤サービスカードの発行と加盟館全館観覧終了者に記念品（7館グッズ詰め合わせ）贈呈⑥情報交換会の開催

平成17年10月 島根県立石見美術館が加盟し、8館体制となる。

平成27年4月 葛飾北斎美術館が閉館、7館体制となる。

2. 萩・益田・津和野美術回廊

平成17年度スタート

参加館：山口県立萩美術館・浦上記念館、益田市立雪舟の郷記念館、津和野町立安野光雅美術館、森鷗外記念館、島根県立石見美術館（以上5館）

活動内容：半券等の提示による相互割引制度

3. 「雪舟さん」および「雪舟小僧さん」

年間パスポート「雪舟さん」 2,000円

○加入施設(4施設)

医光寺雪舟庭園、萬福寺雪舟庭園、益田市立雪舟の郷記念館、益田市立歴史民俗資料館

○発行の日から1年間、上記4施設に何回でも入館・入園可能

購入者に同行する4名までは、団体料金扱いで入館・入園可能

○下記施設には割引料金で入館

・島根県立石見美術館(コレクション展・企画展)、浜田市立石正美術館、浜田市世界子ども美術館(館主催の展示のみ)

益田散策チケット「雪舟小僧さん」 1,300円

○加入施設(5施設)

島根県立石見美術館(コレクション展のみ)、医光寺雪舟庭園、萬福寺雪舟庭園、益田市立雪舟の郷記念館、益田市立歴史民俗資料館

○発売(使用開始)の日から3日間、お一人様

1施設1回に限り有効。

4. 割引制度

下記に掲げる乗車券、観覧券等を提示した場合、割引制度が利用可能。

① 石見交通株式会社、中国JRバスが運行する東京からの高速バス往復乗車券

② 石見交通株式会社、阪神電気鉄道が運行する大阪からの高速バス往復乗車券

③ 石見交通株式会社、広島電鉄が運行する広島からの高速バス往復乗車券

④ 大田市以东島根県東部の各JR駅からJR益田駅までの往復乗車券

⑤ 萩・石見空港発着の航空券

⑥ 島根県立石見美術館を除くいわみ美術回廊加盟館の観覧券(半券)

⑦ 山口県立美術館、山口県立萩美術館・浦上記念館の観覧券(半券)

⑧ 島根県いわみ芸術劇場で開催される催し物(当日のみ有効)の有料入場券(半券)

⑨ 提携館が発行する年間パスポート(期限内)

・足立美術館・医光寺・今井美術館・大原美術館・尾道市立美術館・サントリー美術館・津和野町立安野光雅美術館・島根県立古代出雲歴史博物館・島根県立美術館・浜田市世界子ども美術館・浜田市立石正美術館・広島県立美術館・広島市現代美術館・ひろしま美術館・益田市立雪舟の郷記念館・益田市立歴史民俗資料館・萬福寺・杜塾美術館・山口県立萩美術館・浦上記念館・山口県立美術館

⑩ 提携カード

・しまねカード(島根県広島事務所)・しまね子育て応援パスポート(島根県少子化対策推進室)・ちゅーピーくらぶ(株式会社中国新聞社)・ドゥブレ(財団法人広島勤労者職業福祉センター)・とっとり子育て応援パスポート(鳥取県子育て支援総室)・やわらぎカード(株式会社オーエムシーカード)・ゆめカード(株式会社ゆめカード)・JAカード(三菱UFJニコス株式会社)・JAF(社団法人日本自動車連盟)・SDカード(自動車安全運転センター)

所蔵作品一覽

日本画

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
池田 蕉園	小松引	大正時代前期	絹本着色 掛幅装	139.4×51.2
池田 輝方	絵師多賀朝湖流さる	1919年	絹本着色 六曲屏風一双	右193.7×394.4 左193.9×396.0
伊藤 小坡	舟中納涼之図	昭和時代前期	絹本着色 掛幅装	143.8×50.8
今尾 景年	花鳥図	明治時代～大正時代	絹本着色 六曲屏風一双	各156.0×349.5
今尾 景年	柳塘群馬・桃林牧牛図	1900年	絹本着色 六曲屏風一双	各154.9×355.4
雲谷 等益	四季山水図	江戸時代初期(元和年間頃)	紙本墨画淡彩 八曲屏風一双	各85.1×354.0
雲谷 等益	山水図	江戸時代初期(寛永年間頃)	紙本墨画淡彩 六曲屏風一双	各156.5×359.4
雲谷 等顔	山水人物花鳥図	桃山時代～江戸時代初期	紙本墨画淡彩 六曲押絵貼屏風一双	各紙121.8×53.3
雲谷 等的	山水図	江戸時代前期	紙本墨画 掛幅装	30.9×57.9
雲谷 等的	観音山水図	江戸時代前期	絹本墨画淡彩 掛幅装三幅対	各103.3×34.5
雲谷 派	耕作図	桃山時代～江戸時代初期	紙本墨画淡彩 六曲屏風一隻	152.2×346.2
榎本 千花俊	揚揚戲	1933年	絹本着色 額装	221.2×173.6
榎本 千花俊	池畔春興	1932年	絹本着色 額装	261.0×207.3
榎本 千花俊	口紅を描く	1935年	絹本着色 掛幅装	139×57
榎本 千花俊	春雪	昭和時代前期	絹本着色 掛幅装	131×42
岡野 洞山	竹林七賢・商山四皓図	1848年	紙本墨画淡彩 六曲屏風一双	各159.4×363.0
海北 友松	祖師図(達磨・巖頭)	桃山時代	紙本墨画 掛幅装双幅	各106.5×50.6
柿内 青葉	池	1933年	絹本着色 掛幅装	128×42
狩野 伊川院 栄信	富士三保清見寺図	江戸時代後期	絹本墨画 掛幅装	34.2×64.7
狩野 松栄	益田元祥像	1582～1592年頃	絹本着色 掛幅装	108.4×51.7
鎌木 清方	花見幕	昭和時代初期	絹本着色 掛幅装	141.2×50.6
川村 曼舟	牧牛図	大正時代	絹本着色 六曲屏風一隻	152.0×356.0
菊池 華秋	雪晴	1938年	絹本着色 額装	189.8×202.2
菊池 隆志	室内	1934年	紙本着色 額装	146.4×164.4
菊池 隆志	初夏遊園	1928年	絹本着色 額装	206.0×112.8
北野 以悦	春	1931年	絹本着色 額装	191.0×142.0
北野 恒富	むすめ	1925年	紙本着色 額装	190.5×89.0
北野 恒富	狂女	大正時代～昭和時代初期	絹本着色 掛幅装	130.0×50.0
啓孫	騎驢人物図	室町時代後期	紙本墨画 掛幅装	91.0×31.0
近衛 信尹	渡唐天神図	桃山時代	紙本墨画 掛幅装	95.0×39.2
小早川 清	旗亭涼宵	1933年	絹本着色 額装	197.0×113.0
小早川 清	宵	1936年	絹本着色 額装	216.8×111.7
小堀 鞆音	舞楽図	明治時代末期～昭和時代初期	紙本金地着色 六曲屏風一双	各162.3×358.2
斎藤 等室	山水図	江戸時代前期	紙本墨画 掛幅装	31.0×50.6
島崎 柳塙	汐風	明治時代後期	絹本着色 掛幅装	109.0×48.6
周恵	達磨図	室町時代後期	紙本墨画 掛幅装	51.7×28.0
曾我 蕭白	楼閣山水図	江戸時代中期	紙本墨画 掛幅装	134.8×52.2
曾我 宗丈	面壁達磨図	室町時代後期	紙本墨画 掛幅装	51.0×33.0
曾我 二直菴	鷲鷹図	江戸時代前期	紙本墨画 掛幅装双幅	各118.0×51.8
曾田 友栢	達磨図	桃山時代～江戸時代初期	紙本墨画 掛幅装	27.1×23.6
尊俊	竜虎図	室町時代後期	紙本墨画 掛幅装双幅	各86.9×43.0
竹内 栖鳳	藤花薺花群犬図	1889年	紙本着色 六曲屏風一双	各155.0×360.0
田中 頼璋	白雲紅樹	1934年	絹本着色 額装	226.0×174.5
田中 頼璋	林和靖愛鶴図	1935年	絹本着色、軸	129.4×41.6
谷 文晁	滝図	1828年	絹本着色 掛幅装双幅	各96.7×35.4
寺崎 広業	竹裡館観月	明治時代後期～大正時代初期	絹本着色 掛幅装	139.6×70.8
等碩	牧童図	室町時代後期	紙本墨画淡彩 掛幅装	26.3×33.7
富岡 鉄斎	江山招隠図	1907年	絹本着色 掛幅装	111.0×42.6
中林 竹洞	湖山清遠図	1834～1837年	絹本墨画 掛幅装	144.2×53.5
中林 竹洞	秋舟鴛鴦図	1831年	絹本着色 掛幅装	128.7×42.4
中林 竹溪	秋草群雀図	江戸時代後期	絹本着色 掛幅装	112.8×52.6
西 晴雲	湖南漁舟・緑陰仙居図	1928年	紙本着色 六曲屏風一双	各154.4×381.0
西 晴雲	四季花木図	1920～1925年頃	紙本着色 掛幅装四幅対	各167.8×47.3
橋本 明治	莊園	1934年	絹本着色 額装	233.6×142.2
橋本 明治	蓮を聴く	1936年	絹本着色 額装	156.8×221.8
長谷川派	武蔵野図	桃山時代～江戸時代初期	紙本金地着色 六曲屏風一双	各165.8×367.2
平福 百穂	七面鳥・鴨	1914年	紙本着色 掛幅装双幅	各124.8×59.1
広田 多津	ふたり	1938年	紙本着色 額装	204.6×135.3
不二木 阿古	爽朝	1941年	絹本着色 掛幅装	129×41

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
松本 楓湖	和装西洋婦人像	明治時代前期	絹本着色 額装	102.0×45.2
松本 楓湖	後醍醐帝観桜樹図	明治時代末期～大正時代	絹本着色 掛幅装	125×71
松本 楓湖	八岐大蛇図	1909年	絹本着色 掛幅装	150×70
円山 応挙	柿本人麿像	1765年頃	紙本墨画 掛幅装	93.8×28.0
武藤 嘉門	ショーウィンドウ	1937年	紙本着色 額装	242.7×546.0
山田 喜作	真夏の港	1932年	絹本着色 額装	212.3×197.8
山田 喜作	湘南初夏	1931年	絹本着色 額装	245×174.5
山田 道安	芦雁図	室町時代末期～桃山時代初期	紙本墨画 掛幅装	各86.6×40.4
山本 栞谷	年中行事図	江戸時代末期	紙本着色 六曲押絵貼屏風一双	各139.0×304.2
山本 栞谷	瀧見観音図	江戸時代末期	紙本墨画淡彩 掛幅装	106.0×29.6
山本 栞谷	月下横臥図	1860年	絹本淡彩 掛幅装	159.0×50.7
山本 梅逸	山水図	1833年	紙本墨画 掛幅装	127.6×57.0
横山 大観	水滸む	1954年	紙本墨画 額装	70.0×92.2
不詳	舞踊図	江戸時代初期	紙本金地着色 二曲屏風一隻	149.6×170.0
不詳	人麿像	江戸時代前期～中期	紙本金地着色 六曲屏風一隻	145.0×355.3
不詳	遊女柳橋扇面流図	江戸時代前期	紙本着色 六曲屏風一隻	108.6×343.0

油彩画

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
石井 柏亭	芙蓉湖	1950年	油彩、カンヴァス	72.5×91.0
岩本 拓郎	無題	1978年	アクリル、シナベニヤ、角材	145.0×382.0
岩本 拓郎	無題	1979年	アクリル、シナベニヤ、角材	182.0×358.0
大下 藤次郎	野の道	1894～97年頃	油彩、カンヴァス	23.5×17.5
岡田 三郎助	黒き帯	1915年	油彩、カンヴァス	62.0×45.3
香月 泰男	ヴァンドーム広場	1973年	油彩、カンヴァス	91.0×48.0
香月 泰男	鯉と犬	1950年	油彩、カンヴァス	60.1×40.7
鹿子木 孟郎	加茂ノ森	1923年	油彩、カンヴァス	100.0×100.0
鹿子木 孟郎	舞子の浜	1914年	油彩、カンヴァス	76.0×40.0
川村 清雄	緑蔭牧牛図	大正時代～昭和時代初期	油彩、絹本	23.0×74.0
岸田 劉生	静物	1920年	油彩、カンヴァス	39.6×52.0
黒田 清輝	ポプラの黄葉	1891年	油彩、カンヴァス	65.4×80.8
黒田 清輝	裸体	1889年	油彩、カンヴァス	80.0×43.8
児島 善三郎	椅子による	1925～28年頃	油彩、カンヴァス	130.3×97.0
小堀 四郎	プルターニユの男	1930年	油彩、紙	41.0×32.8
椿 貞雄	冬瓜南瓜図	1947年	油彩、カンヴァス	37.7×90.9
寺戸 恒晴	持石海岸	1977年	油彩、紙	26.8×37.8
東郷 青児	婦人像	1930～35年頃	油彩、カンヴァス	65.0×53.0
堂本 尚郎	宇宙 I	1978年	アクリル、カンヴァス	200.0×600.0
中尾 彰	川村(冬景)	1923年	油彩、カンヴァス、額装	72.9×91.0
中尾 彰	山麓	1955年	油彩、カンヴァス、額装	73.0×116.5
中川 八郎	初秋の夕	1919年	油彩、カンヴァス	94.5×121.6
長原 孝太郎	風景	1921年	油彩、板	32.7×24.0
中村 不折	裸体	1903～05年頃	油彩、カンヴァス	99.8×79.7
中村 不折	裸婦	1900～20年頃	油彩、カンヴァス	80.0×60.7
原田 直次郎	男児肖像	1887～98年頃	油彩、カンヴァス	30.3×21.9
藤島 武二	西洋婦人像	1908～09年頃	油彩、カンヴァス	58.3×39.1
藤田 嗣治	アントワープ港の眺め	1923年	油彩、カンヴァス	170.0×224.0
藤田 嗣治	婦人像	1939年	油彩、カンヴァス	57.6×71.2
満谷 国四郎	風景	1913～25年頃	油彩、カンヴァス	53.0×45.5
満谷 国四郎	雑木林	1922年	油彩、カンヴァス	45.5×53.3
宮 芳平	風景	1912～25年頃	油彩、カンヴァス	32.0×41.0
宮 芳平	自画像	1920年	油彩、カンヴァス	53.3×45.7
安井 曾太郎	水浴図	1912～25年頃	油彩、カンヴァス	91.0×72.0
山崎 修二	二人の少女	1931年	油彩、カンヴァス	130×96.5
山崎 修二	少女像	1931年	油彩、カンヴァス	100.0×81.0
山崎 修二	初冬	1936年	油彩、カンヴァス	130.0×161.0
山崎 修二	夏	1936年	油彩、カンヴァス	73.0×91.0
山崎 修二	残雪のある庭	1938年	油彩、カンヴァス	111.0×144.0
山崎 修二	髪	1939年	油彩、カンヴァス	131.0×97.0
山崎 修二	風景(仮題)	1941年	油彩、カンヴァス	73.0×91.0
山崎 修二	窓辺の静物	1950年	油彩、カンヴァス	91.0×116.5
山崎 修二	山懐の早春	1953年	油彩、カンヴァス	91.0×73.0
山崎 修二	緑の静物	1955年	油彩、カンヴァス	130.0×80.0

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
山崎 修二	港通りの家	1998年	油彩、カンヴァス	53.0×66.0
山中 徳次	木部海岸(大谷)	1936年頃	油彩、板	24.5×33.0
山本 鼎	筍	1938年	油彩、カンヴァス	41.2×53.3
吉田 博	風景	1911～20年頃	油彩、カンヴァス	60.6×50.0
和田 英作	風景	1914年	油彩、カンヴァス	52.2×71.6
和田 英作	海神	1918年	油彩、カンヴァス	53.0×41.0
ガブリエル・フォン・マックス	聖女テレゼ・メルル	1868年	油彩、カンヴァス	67.8×55.8
ガブリエル・フォン・マックス	煙を出す壺を抱く女性	19世紀末～20世紀初期	油彩、カンヴァス	85.4×65.2
ラウル・デュフィ	水上の祭	1920～22年頃	油彩、カンヴァス	81.8×100.2
ラファエル・コラン	若い女性の肖像	1889年	油彩、カンヴァス	65.0×54.0

版画

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
饒嘔	鳳凰 I	1983年	紙、シルクスクリーン	31.0×30.0
畦地 梅太郎	火の山	1973年	木版、紙	29.5×22.1
畦地 梅太郎	ささやき	1978年	木版、紙	25.0×26.0
畦地 梅太郎	園谷の残雪	1967年	木版、紙	46.6×37.3
畦地 梅太郎	鳥と山男	1983年	木版、紙	36.8×46.8
有元 利夫	1983年展覧会ポスター	1983年	銅版、紙	48.7×35.2
石井 柏亭	木場	1914年	木版、紙	24.0×18.0
織田 一磨	石見有福温泉	1925年	木版、紙	39.0×27.0
岸田 劉生	岸田劉生個展ポスター	1919年	木版、紙	70.0×25.5
小林 敬生	蘇生の刻—早春	1988年	木口木版、紙	35.7×25.3
笹島 喜平	不動明王No90	不詳	木版、紙	47.0×34.8
殿敷 侃	釘(仮題)	不詳	銅版、紙	26.9×31.3
杉浦 非水	産業組合中央会 第二次産業組合拡充三ヶ年計画	1937年	印刷、紙	81.0×57.0
杉浦 非水	東亜ペイント製造株式会社 銅化塗料ノーワン	1920年代	印刷、紙	65.3×37.8
杉浦 非水	宮崎県 日向の早熟 蔬菜と果実	1928年	印刷、紙	106.1×74.9
永瀬 義郎	折り	1956年	木版、紙(紺紙金刷)	51.0×38.0
永瀬 義郎	画家	1963年	木版、紙	61.0×43.5
永瀬 義郎	祭壇の処女	1975年	リトグラフ、紙	80.3×65.0
平塚 運一	裸婦百態「芝生」	1995年	木版、紙	22.0×18.0
古沢 岩美	裸婦(仮題)	不詳	銅版、紙	22.8×18.0
宮 芳平	自画像	1934年	エッチング、紙	9.0×6.0
宮 芳平	黒百合	1934年	エッチング、紙	12.2×9.0
宮 芳平	門	1934年	エッチング、紙	9.1×2.0
宮 芳平	八ヶ嶽	1934年	エッチング、紙	8.7×18.2
宮 芳平	ブラジルへ行った人の家	1935年頃	エッチング、紙	9.0×12.0
宮 芳平	御神木	1934年	エッチング、紙	9.0×11.8
宮 芳平	水	1935年頃	エッチング、紙	9.0×11.8
宮 芳平	雨 その1	1935年頃	エッチング、紙	9.0×9.4
宮 芳平	雨 その2	1935年頃	エッチング、紙	9.0×10.8
宮 芳平	コスモス	1935年頃	エッチング、紙	9.0×12.0
宮 芳平	雲	1933年	エッチング、紙	10.0×12.0
宮 芳平	田舎(三日月)	1935年頃	エッチング、紙	6.0×9.0
宮 芳平	茄子	1935年頃	エッチング、紙	6.0×9.0
宮 芳平	おぼろの太陽	1935年頃	エッチング、紙	18.0×9.0
宮 芳平	松	1935年	エッチング、紙	9.0×6.0
宮 芳平	昭子像	1935年	エッチング、紙	9.0×6.0
宮 芳平	自画像(眼を病める)	1935年	エッチング、紙	11.8×9.0
宮 芳平	旧校舎(雪)	1935年	エッチング、紙	9.0×12.0
宮 芳平	室内	1935年	エッチング、紙	6.0×9.0
宮 芳平	月(望月)	1935年頃	エッチング、紙	9.0×12.0
宮 芳平	コーヒーわかし	1935年	エッチング、紙	12.0×9.0
宮 芳平	山(年賀状)	1935年頃	エッチング、紙	9.0×12.0
宮 芳平	ポプラと湖	1935年頃	エッチング、紙	6.0×9.0
宮 芳平	枯野	1935年頃	エッチング、紙	6.0×6.3
宮 芳平	水辺	1935年頃	エッチング、紙	9.0×12.0

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
宮 芳平	山湖	1935年頃	エッチング、紙	9.0×12.0
宮 芳平	郊外	1935年頃	エッチング、紙	9.0×12.0
宮 芳平	叢	1935年頃	エッチング、紙	9.0×12.0
宮 芳平	山(冬の裏山)	1935年頃	エッチング、紙	10.0×8.0
宮 芳平	もろこしとトマト	1935年	エッチング、紙	9.0×12.0
宮 芳平	山と月	1935年頃	エッチング、紙	12.0×9.0
宮 芳平	庭の花(すみれ)	1935年頃	エッチング、紙	9.0×6.0
宮 芳平	庭の花(桜草)	1935年頃	エッチング、紙	9.0×6.0
宮 芳平	庭の花(くりん草)	1935年頃	エッチング、紙	6.2×6.0
宮 芳平	茄子の木	1935年頃	エッチング、紙	9.0×6.0
宮 芳平	裏山	1935年頃	エッチング、紙	12.0×18.0
宮 芳平	湖と乙女	1935年頃	エッチング、紙	9.0×9.0
宮 芳平	湖と乙女(月)	1935年頃	エッチング、紙	9.0×9.0
宮 芳平	実のなる木	1935年	エッチング、紙	8.8×12.0
アンリ・ド・トゥルーズ=ロートレック	ディヴァン・ジャポネ	1892～93年	リトグラフ、紙	80.8×60.8
ウィーン工房(フレール、リックス他)	「女性の生活」(20点組)	1916年	木版・一部水彩加筆、紙	39.5×29.5
ジャン=エミール・ラブレール	マリー・ローランサンの肖像	1914年	木版、紙	25.0×22.0
ジャン=エミール・ラブレール	ビュット・ショーモン公園風景	1921年	エッチング、紙	20.0×23.0
ジョルジュ・ルパープ	『ポール・ボワレの作品』	1911年	ファッションプレート12枚 エキストラプレート3枚	
ソニア・ドロネー	『絵画・オブジェ・同時的テキスタイル・モード』	1925年	ファッションプレート20枚	57.0×38.5
ダゴベルト・ベッヒエ	着衣の少女	不詳	彩色、版画	30.0×22.5
テオフィル=アレクサンデル・スタンラン	オートバイ・コミオ	1899年	リトグラフ、紙	200.0×140.0
ピエール・ボナール	雑誌『ルヴュ・ブランシュ』のためのポスター	1894年	リトグラフ、紙	80.0×62.0
ポール・イリーブ	『ポール・ボワレのドレス』	1908年	ファッションプレート10枚	
ラウル・デュフィ	狩猟	1910年頃	木版、紙	21.0×64.0
ラウル・デュフィ	ダンス	1910年頃	木版、紙	31.2×31.3
ロッテ・カルム	「モード・ウィーン 1914 /15」(12点組のうち)	1914～15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
アニィ・シュレーダー	「モード・ウィーン 1914 /15」(12点組のうち)	1914～15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
アニィ・シュレーダー	「モード・ウィーン 1914 /15」(12点組のうち)	1914～15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
イレーネ・シャシュル	「モード・ウィーン 1914 /15」(12点組のうち)	1914～15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
イレーネ・シャシュル	「モード・ウィーン 1914 /15」(12点組のうち)	1914～15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
ガビ・メーシュル	「モード・ウィーン 1914 /15」(12点組のうち)	1914～15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
ゲルトルト・ヴァインベルガー	「モード・ウィーン 1914 /15」(12点組のうち)	1914～15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
ダゴベルト・ベッヒエ	「モード・ウィーン 1914 /15」(12点組のうち)	1914～15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
ヒルダ・イエッサー	「モード・ウィーン 1914 /15」(12点組のうち)	1914～15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
ヒルダ・イエッサー	「モード・ウィーン 1914 /15」(12点組のうち)	1914～15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
フリッツィ・レーヴ	「モード・ウィーン 1914 /15」(12点組のうち)	1914～15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
マックス・スニシェク	「モード・ウィーン 1914 /15」(12点組のうち)	1914～15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
	『ガゼット・デュ・ボン・トン』	1912～25年	冊子69冊、ファッションプレート721枚	
	『モード・エ・マニエル・ドールジュルドウイ』	1912～22年	冊子7冊、ファッションプレート84枚	
	『ジュルナル・ダム・エ・デ・モード』	1912～14年	冊子80冊、ファッションプレート188枚	

水彩画

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
五百城 文哉	富士図	1893~1906年頃	水彩、紙	62.0×94.0
大下 藤次郎	下駄屋の店先	1892年	水彩、紙	18.8×23.8
大下 藤次郎	貸家の裏口	1892年	水彩、紙	27.0×15.4
大下 藤次郎	風景習作1	1892年	水彩、紙	14.5×20.0
大下 藤次郎	人物習作1	1892年	水彩、紙	21.8×14.0
大下 藤次郎	呉服屋	1892年	水彩、紙	18.4×25.8
大下 藤次郎	風景習作2	1892年	水彩、紙	23.4×32.4
大下 藤次郎	門と人物1	1892年	水彩、紙	28.2×21.6
大下 藤次郎	西総田舎の景	1893年	水彩、紙	29.6×38.0
大下 藤次郎	風景習作3	1893年	水彩、紙	22.0×14.3
大下 藤次郎	風景習作4	1893年	水彩、紙	16.6×24.4
大下 藤次郎	風景習作5	1893年	水彩、紙	14.0×21.0
大下 藤次郎	門と人物2	1893年	水彩、紙	22.6×14.9
大下 藤次郎	門と人物3・小石川	1893年	水彩、紙	22.6×15.1
大下 藤次郎	橋のある風景	1893年	水彩、紙	13.7×20.9
大下 藤次郎	つり	1895年	水彩、紙	15.5×24.2
大下 藤次郎	京都近郊	1895年	水彩、紙	11.3×17.8
大下 藤次郎	川口	1895年	水彩、紙	12.3×17.4
大下 藤次郎	風景習作6・ 28年10月13日	1895年	水彩、紙	23.8×15.2
大下 藤次郎	風景習作7・ 28年10月17日	1895年	水彩、紙	15.2×22.2
大下 藤次郎	風景習作8・ 28年10月20日	1895年	水彩、紙	13.8×23.6
大下 藤次郎	穴森神社	1895年	水彩、紙	14.2×18.7
大下 藤次郎	武州七国峠	1895年	水彩、紙	13.9×24.1
大下 藤次郎	相州塩川瀑	1895年	水彩、紙	24.4×15.5
大下 藤次郎	八王子河原	1895年	水彩、紙	13.3×18.6
大下 藤次郎	荒川	1895年	水彩、紙	13.2×23.7
大下 藤次郎	富山	1895年	水彩、紙	14.9×24.2
大下 藤次郎	塔のある風景(三重の塔)	1896年	水彩、紙	32.5×21.4
大下 藤次郎	日暮里	1896年	水彩、紙	18.3×29.8
大下 藤次郎	修善寺	1896年	水彩、紙	20.4×32.8
大下 藤次郎	多摩川上流	1896年	水彩、紙	21.0×32.4
大下 藤次郎	小石川	1896年	水彩、紙	21.7×30.0
大下 藤次郎	館山	1896年	水彩、紙	21.2×32.6
大下 藤次郎	小丹波	1896年	水彩、紙	31.5×21.1
大下 藤次郎	五重塔	1896年	水彩、紙	31.7×20.8
大下 藤次郎	天真院	1896年	水彩、紙	25.4×17.8
大下 藤次郎	三門	1896年	水彩、紙	19.2×27.1
大下 藤次郎	賀茂	1896年	水彩、紙	32.3×20.3
大下 藤次郎	桜	1896年	水彩、紙	21.7×13.9
大下 藤次郎	境内	1896年	水彩、紙	15.3×21.6
大下 藤次郎	修善寺	1896年	水彩、紙	20.8×32.2
大下 藤次郎	白丸	1896~1897年頃	水彩、紙	20.6×32.2
大下 藤次郎	裸婦	1897年	水彩、紙	44.0×34.6
大下 藤次郎	裸婦	1897年	水彩、紙	43.9×29.3
大下 藤次郎	裸婦	1897年	水彩、紙	29.4×22.4
大下 藤次郎	富士を望む	1897年	水彩、紙	19.2×32.4
大下 藤次郎	日光	1897年	水彩、紙	25.6×39.2
大下 藤次郎	巢鴨の牛小屋	1897年	水彩、紙	20.6×32.6
大下 藤次郎	越ヶ谷	1897年	水彩、紙	19.8×32.0
大下 藤次郎	綾瀬	1897年	水彩、紙	18.2×31.4
大下 藤次郎	興津	1897年	水彩、紙	15.7×32.6
大下 藤次郎	相模(AKIYA SAGAMI)	1897年	水彩、紙	21.4×33.0
大下 藤次郎	ニューヘヴン	1897年	水彩、紙	30.6×20.4
大下 藤次郎	興津	1897年	水彩、紙	15.4×32.5
大下 藤次郎	巢鴨	1897年	水彩、紙	18.2×30.0
大下 藤次郎	風景習作9	1897年	水彩、紙	20.4×31.0
大下 藤次郎	栗田	1897年	水彩、紙	15.7×31.4
大下 藤次郎	武蔵	1897年	水彩、紙	31.2×21.7
大下 藤次郎	浜辺の船	1898年	水彩、紙	19.2×33.0
大下 藤次郎	坂本	1898年	水彩、紙	24.9×38.1

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ (cm)
大下 藤次郎	宮の下	1898年	水彩、紙	25.4×39.4
大下 藤次郎	シドニー南端	1898年	水彩、紙	22.2×34.5
大下 藤次郎	シドニー、 ニューサウス・ウェールズ	1898年	水彩、紙	23.3×34.4
大下 藤次郎	シドニー	1898年	水彩、紙	22.6×33.2
大下 藤次郎	メルボルン港	1898年	水彩、紙	23.0×33.5
大下 藤次郎	モートン岬、 クイーンズランド	1898年	水彩、紙	23.2×34.5
大下 藤次郎	サンドゲート、 クイーンズランド	1898年	水彩、紙	23.0×34.8
大下 藤次郎	ロイヤルパーク、 メルボルン	1898年	水彩、紙	20.7×31.4
大下 藤次郎	ブリスバーン河	1898年	水彩、紙	23.0×34.8
大下 藤次郎	ブリスバーン河	1898年	水彩、紙	22.5×34.5
大下 藤次郎	金剛甲板にて	1898年	水彩、紙	40.2×26.9
大下 藤次郎	シドニー湾	1898年	水彩、紙	22.4×34.4
大下 藤次郎	赤道直下にて	1898年	水彩、紙	21.9×34.4
大下 藤次郎	アトリエの画家	1898年	水彩、紙	33.4×22.3
大下 藤次郎	信州の夏	1899年	水彩、紙	50.0×71.5
大下 藤次郎	つつじ	1899年	水彩、紙	32.5×47.4
大下 藤次郎	峠の木	1899年	水彩、紙	30.8×20.6
大下 藤次郎	雲の観察・明治32年 9月13日・正午・南	1899年	水彩、紙	15.8×26.0
大下 藤次郎	雲の観察・9月下旬・ 西方午後5時	1899年	水彩、紙	17.3×25.7
大下 藤次郎	雲の観察(明治33年 11月21日朝 東)	1900年	水彩、紙	18.0×27.4
大下 藤次郎	雲の観察(明治33年 12月5日 西南方)	1900年	水彩、紙	18.2×27.2
大下 藤次郎	城跡	1903年	水彩、紙	27.7×38.8
大下 藤次郎	仁王門(山門)	1903~1911年頃	水彩、紙	22.1×33.6
大下 藤次郎	ポピー	1903~1911年頃	水彩、紙	31.2×45.8
大下 藤次郎	野の花	1903~1911年頃	水彩、紙	22.0×33.3
大下 藤次郎	せせらぎ	1903~1911年頃	水彩、紙	25.8×36.5
大下 藤次郎	暮景	1903~1911年頃	水彩、紙	18.0×34.3
大下 藤次郎	河原	1903~1911年頃	水彩、紙	22.2×32.8
大下 藤次郎	桜	1903~1911年頃	水彩、紙	19.0×29.5
大下 藤次郎	夕日	1903~1911年頃	水彩、紙	13.1×19.3
大下 藤次郎	湖上の雲	1903~1911年頃	水彩、紙	22.8×34.2
大下 藤次郎	入江	1903~1911年頃	水彩、紙	23.0×34.0
大下 藤次郎	山の眺め	1903~1911年頃	水彩、紙	33.6×23.1
大下 藤次郎	浜辺の松	1903~1911年頃	水彩、紙	36.4×25.2
大下 藤次郎	青梅	1904年	水彩、紙	33.4×22.4
大下 藤次郎	青梅	1904年	水彩、紙	33.9×22.2
大下 藤次郎	河原	1904年	水彩、紙	52.0×74.5
大下 藤次郎	寄居	1904年	水彩、紙	22.4×34.1
大下 藤次郎	秋の雲	1904年	水彩、紙	32.9×49.7
大下 藤次郎	林間	1904年	水彩、紙	22.3×33.8
大下 藤次郎	木立	1904年	水彩、紙	34.0×22.4
大下 藤次郎	村の寺	1904年	水彩、紙	29.8×19.9
大下 藤次郎	天ヶ瀬	1904年	水彩、紙	17.6×26.5
大下 藤次郎	早春	1904年	水彩、紙	22.9×33.7
大下 藤次郎	風景	1904年	水彩、紙	22.0×34.0
大下 藤次郎	秋谷の漁村	1905年	水彩、紙	48.8×69.7
大下 藤次郎	浪	1905年	水彩、紙	22.3×33.2
大下 藤次郎	磐梯山噴火口	1906年	水彩、紙	22.9×34.1
大下 藤次郎	風景	1906年	水彩、紙	10.3×20.8
大下 藤次郎	船のある風景	1906年	水彩、紙	10.4×20.8
大下 藤次郎	水辺風景5	1906年	水彩、紙	22.8×33.9
大下 藤次郎	多摩川	1906年頃	水彩、紙	22.6×32.7
大下 藤次郎	磐梯山噴火口	1907年	水彩、紙	34.2×51.9
大下 藤次郎	多摩川畔	1907年	水彩、紙	48.8×69.7
大下 藤次郎	波	1907年	水彩、紙	26.1×46.4
大下 藤次郎	甲州駒ヶ岳	1907年	水彩、紙	22.1×33.0
大下 藤次郎	猪苗代	1907年	水彩、紙	66.7×48.2
大下 藤次郎	穂高山の残雪	1907年	水彩、紙	22.2×33.2

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ (cm)
大下 藤次郎	檜原湖の秋	1907年	水彩、紙	61.2×97.2
大下 藤次郎	猪苗代	1907年頃	水彩、紙	23.5×33.9
大下 藤次郎	飯坂	1907年頃	水彩、紙	30.8×45.6
大下 藤次郎	湖水を望む	1907年頃	水彩、紙	22.9×34.8
大下 藤次郎	徳本小屋のほとり	1907年頃	水彩、紙	21.9×33.2
大下 藤次郎	興津	1907年頃	水彩、紙	22.5×33.2
大下 藤次郎	浮き雲	1907～1911年頃	水彩、紙	31.3×45.6
大下 藤次郎	生け花	1907～1911年頃	水彩、紙	33.7×22.8
大下 藤次郎	秋海棠	1907～1911年頃	水彩、紙	34.8×22.4
大下 藤次郎	森	1907～1911年頃	水彩、紙	25.7×36.5
大下 藤次郎	山あいの道	1907～1911年頃	水彩、紙	25.6×36.5
大下 藤次郎	高原	1907～1911年頃	水彩、紙	27.6×39.8
大下 藤次郎	秋の夕	1907～1911年頃	水彩、紙	30.8×45.6
大下 藤次郎	山上の眺め	1908年	水彩、紙	22.3×32.6
大下 藤次郎	残雪	1908年	水彩、紙	22.3×33.2
大下 藤次郎	水芭蕉	1908年	水彩、紙	33.2×22.5
大下 藤次郎	松	1908年	水彩、紙	31.2×46.2
大下 藤次郎	波の音	1908年	水彩、紙	22.0×33.1
大下 藤次郎	富士を望む	1909年	水彩、紙	30.5×45.4
大下 藤次郎	静物 林檎	1909年	水彩、紙	33.6×50.3
大下 藤次郎	庭の一隅(コスモス)	1909年	水彩、紙	26.4×37.0
大下 藤次郎	西山峠	1909年	水彩、紙	32.9×22.2
大下 藤次郎	浜辺の家	1910年	水彩、紙	25.7×36.6
大下 藤次郎	小豆島	1910年	水彩、紙	25.4×36.5
大下 藤次郎	初夏	1910年頃	水彩、紙	25.9×36.6
大下 藤次郎	宍道湖の黄昏	1911年	水彩、紙	25.6×36.8
大下 藤次郎	美寿賀城跡	1911年	水彩、紙	25.8×36.5
大下 藤次郎	秩父琴平山	不詳	水彩、紙	17.5×11.4
大下 藤次郎	宿場	不詳	水彩、紙	21.9×33.1
大下 藤次郎	船のある風景	不詳	水彩、紙	22.6×33.0
大下 藤次郎	波	不詳	水彩、紙	22.2×32.9
大下 藤次郎	富士山	不詳	水彩、紙	27.9×35.5
大下 藤次郎	帆船	不詳	水彩、紙	34.3×22.9
大下 藤次郎	入江	不詳	水彩、紙	11.0×17.9
大下 藤次郎	風景	不詳	水彩、紙	13.4×18.5
大下 藤次郎	舟のある風景	不詳	水彩、紙	13.8×20.2
大下 藤次郎	池	不詳	水彩、紙	15.0×23.2
大下 藤次郎	川	不詳	水彩、紙	22.8×34.4
大下 藤次郎	紫陽花	不詳	水彩、紙	32.2×22.2
大下 藤次郎	海	不詳	水彩、紙	23.0×33.7
大下 藤次郎	樹林	不詳	水彩、紙	20.7×31.1
大下 藤次郎	風景	不詳	水彩、紙	14.2×20.4
大下 藤次郎	木立	不詳	水彩、紙	22.0×33.0
大下 藤次郎	朝	不詳	水彩、紙	23.0×33.9
大下 藤次郎	緑陰	不詳	水彩、紙	25.4×36.9
大下 藤次郎	波	不詳	水彩、紙	16.2×24.4
大下 藤次郎	風景	不詳	水彩、紙	15.3×38.4
大下 藤次郎	風景習作10	不詳	水彩、紙	15.4×23.4
大下 藤次郎	風景習作11	不詳	水彩、紙	14.8×22.1
大下 藤次郎	菊花	不詳	水彩、紙	34.0×23.0
大下 藤次郎	水辺風景1	不詳	水彩、紙	22.4×32.8
大下 藤次郎	水辺風景2	不詳	水彩、紙	22.0×33.2
大下 藤次郎	水辺風景3	不詳	水彩、紙	22.3×33.0
大下 藤次郎	雪の山1	不詳	水彩、紙	25.4×36.6
大下 藤次郎	水辺風景4	不詳	水彩、紙	21.9×32.2
大下 藤次郎	庭園	不詳	水彩、紙	22.1×33.0
大下 藤次郎	水辺風景6	不詳	水彩、紙	33.2×22.1
大下 藤次郎	坂道の家並み	不詳	水彩、紙	37.0×25.4
大下 藤次郎	釣鐘	不詳	水彩、紙	26.2×17.7
大下 藤次郎	崖	不詳	水彩、紙	33.0×22.3
大下 藤次郎	水辺の小屋	不詳	水彩、紙	33.7×23.4
大下 藤次郎	雪の山2	不詳	水彩、紙	22.2×33.0
大下 藤次郎	水辺の山	不詳	水彩、紙	30.7×46.2
大下 藤次郎	雪の山3	不詳	水彩、紙	25.8×36.5

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
大下 藤次郎	水辺の木立	不詳	水彩、紙	30.6×46.4
大下 藤次郎	雪の山4	不詳	水彩、紙	31.4×46.2
大下 藤次郎	富士山	不詳	水彩、紙	25.4×36.6
大下 藤次郎	樹木	不詳	水彩、紙	32.7×22.6
大下 藤次郎	樹木習作	不詳	水彩、紙	33.5×22.1
大下 藤次郎	船着き場	不詳	水彩、紙	23.6×15.8
大下 藤次郎	寺の境内	不詳	水彩、紙	14.0×17.6
大下 藤次郎	秋の川辺	不詳	水彩、紙	15.2×23.4
大下 藤次郎	海洋	不詳	水彩、紙	29.8×50.4
大下 藤次郎	溪流	不詳	水彩、紙	22.4×32.9
大下 藤次郎	金色夜叉絵葉書下絵 5点	不詳	水彩、紙	22.3×33.2
大橋 正堯	農家	1896年	水彩、紙	9.1×14.4
加賀羅 聡	三浦浩著『津和野物語』挿絵	1986年	水彩、紙	21.8×17.4
草間 彌生	(18C)	1958年	グアッシュ・パステル、紙	67.5×53.7
草間 彌生	(18D)	1956年	グアッシュ・パステル、紙	58.4×43.3
草間 彌生	(18J)	1954年	グアッシュ・パステル、紙	61.0×45.7
草間 彌生	(18L)	1957年	グアッシュ・パステル、紙	67.5×53.6
草間 彌生	(18M)	1957年	グアッシュ・パステル、紙	67.8×53.8
草間 彌生	(18Q)	1956年	グアッシュ・パステル、紙	61.0×45.7
草間 彌生	FLOWER Q.S.A	1954年	グアッシュ・パステル、紙	32.5×33.4
草間 彌生	HORIZONTAL-B	1953年	グアッシュ・パステル、紙	28.0×28.0
草間 彌生	No.235.Q.2	1953年	グアッシュ・パステル、紙	32.5×30.7
草間 彌生	The Heat	1952年	グアッシュ・パステル、紙	29.8×24.8
草間 彌生	帽子	1975年	フォトコラージュ・水彩・パステル、紙	39.5×54.5
後藤 工志	風景	1912～1929年頃	水彩、紙	15.7×21.7
丸山 晚霞	百合	大正3年(1914)頃	水彩、紙	34.8×26.0
三宅 克己	農村風景	1896年	水彩、紙	28.5×48.5
三宅 克己	伊豆風景	1926～1945年	水彩、紙	49.0×65.8
マリア・リカルツ	無題(青いドレスに青い帽子、赤い星印の上に立つ女性)	1916年	水彩、紙	26.4×25.6
マリア・リカルツ	無題(扇を持つピンクのドレスを着た女性)	1916年	水彩、紙	26.4×25.6

素描

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
大下 藤次郎	馬	1892年	鉛筆、紙	17.6×14.0
大下 藤次郎	高田千歳町	1892年	鉛筆、紙	28.5×38.3
大下 藤次郎	十二社裏	1893年	鉛筆、紙	24.8×18.7
大下 藤次郎	越前堀	1893年	鉛筆、紙	19.4×25.4
大下 藤次郎	四ッ谷 谷町	1893年	鉛筆、紙	29.2×37.8
大下 藤次郎	小石川白山御殿側	1893年	鉛筆、紙	29.4×38.1
大下 藤次郎	護国寺内	1893年	鉛筆・水彩、紙	25.0×18.9
大下 藤次郎	椿	1894年	鉛筆、紙	19.5×16.9
大下 藤次郎	京都途上所見	1895年	鉛筆、紙	11.2×17.6
大下 藤次郎	国内風景スケッチ 98年10月20日	1895年	鉛筆・水彩、紙	11.3×17.6
大下 藤次郎	京の□居	1896年	鉛筆・水彩、紙	11.2×16.6
大下 藤次郎	民家の庭先	1897年	鉛筆・水彩、紙	11.3×17.6
大下 藤次郎	軍艦金剛にて①(3枚組)	1898年	鉛筆・水彩、紙	9.3×16.6、9.6×16.8、9.6×17.0
大下 藤次郎	軍艦金剛にて②(3枚組)	1898年	鉛筆・水彩、紙	9.2×17.3、9.3×15.2、9.4×17.1
大下 藤次郎	軍艦金剛にて③(3枚組)	1898年	鉛筆・水彩、紙	9.4×16.8、9.4×17.2、9.5×16.8
大下 藤次郎	金剛スケッチ(甲板)	1898年	鉛筆・水彩、紙	9.5×16.6
大下 藤次郎	金剛スケッチ(雨浴)	1898年	鉛筆・水彩、紙	9.5×16.9
大下 藤次郎	金剛スケッチ(芝居のお稽古安達ヶ原)	1898年	鉛筆・水彩、紙	9.5×17.0
大下 藤次郎	金剛スケッチ(芝居のお稽古太閤記)	1898年	鉛筆・水彩、紙	9.5×16.8
大下 藤次郎	金剛スケッチ(掃除)	1898年	鉛筆・水彩、紙	9.5×14.8
大下 藤次郎	金剛スケッチ(お茶番)	1898年	鉛筆・水彩、紙	9.5×16.8
大下 藤次郎	人物スケッチ(シドニー)	1898年	鉛筆・水彩、紙	17.3×9.5
大下 藤次郎	碓永川	1898年	鉛筆・水彩、紙	11.2×17.8

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ (cm)
大下 藤次郎	フィジー人物スケッチ	1898年	鉛筆、紙	14.8×9.5
大下 藤次郎	渋谷	不詳	鉛筆、紙	19.7×23.8
大下 藤次郎	南品川	不詳	鉛筆、紙	29.3×38.0
大下 藤次郎	麻布二之橋	不詳	鉛筆、紙	28.7×38.4
大下 藤次郎	牛込	不詳	鉛筆、紙	29.0×38.1
大下 藤次郎	富士山スケッチ	不詳	鉛筆、紙	24.0×35.8
大下 藤次郎	二十八番観音	不詳	鉛筆・水彩、紙	17.8×11.2
大下 藤次郎	風景スケッチ 鳥居	不詳	鉛筆・水彩、紙	19.8×15.6
大下 藤次郎	室内	不詳	鉛筆・水彩、紙	8.6×13.7
大下 藤次郎	kitami	不詳	鉛筆、紙	14.0×8.6
大下 藤次郎	風景スケッチ 鎌倉	不詳	鉛筆、紙	13.8×8.6
大下 藤次郎	風景スケッチ 二日市	不詳	鉛筆、紙	8.6×14.0
大下 藤次郎	人物スケッチ 26点	1892～1897年頃	鉛筆・水彩、紙	
岸田 劉生	内藤夫人の像	1919年	木炭・パステル、紙	37.8×30.5
須田 国太郎	大濱	1950年頃	鉛筆、紙	28.5×42.0
須田 国太郎	源平布引瀧の図	不詳	鉛筆、紙	25.5×34.5
須田 国太郎	南座 羽左の実盛	不詳	鉛筆、紙	27.0×36.0
須田 国太郎	将棋の図1	不詳	鉛筆、紙	27.0×36.0
須田 国太郎	将棋の図2	不詳	鉛筆、紙	24.5×35.5
宮 芳平	樹木	1896年	コンテ、紙	18.5×28.4
宮 芳平	村里	1933年	コンテ、紙	18.5×28.2
宮 芳平	はげのある風景	1928年	鉛筆、紙	25.2×19.0
宮 芳平	冬の木	1932年	鉛筆、紙	25.2×18.4

写真

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ (cm)
森村 泰昌	「美に至る病 女優になった私」(48点組)	1996年	イルフォクローム、アクリル加工	各120.0×95.0
アーヴィン・ブリュメンフェルド	「エイジ・オブ・エレガンス」(10点組)	1984年印刷	ダイ・トランスファー・プリント	各50.8×40.1
ウィリアム・クライン	オペラ劇場+顔のない人々、パリ	1963年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	40.0×50.0
ウィリアム・クライン	煙+ヴェール	1958年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	60.0×50.0
ウィリアム・クライン	楽屋のモデルたち、パリ	1965年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	50.0×40.0
エドワード・スタイケン	ナティカ・ナスト	不詳	ゼラチン・シルヴァー・プリント	25.4×20.3
エドワード・スタイケン	F. A. ワイマン夫人	1931年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	25.0×20.0
エドワード・スタイケン	無題	不詳	ゼラチン・シルヴァー・プリント	25.4×20.3
サラ・ムーン	『ヴォーグ』より	1973年	ダイ・トランスファー・プリント	19.7×30.0
ジョージ・ホイニンゲン=ヒューネ	ロレッタ・ヤング	不詳	ゼラチン・シルヴァー・プリント	25.3×20.3
ジョージ・ホイニンゲン=ヒューネ	イリナ・バラノヴァとニニ・テイラード	1940年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	26.1×32.8
ジョージ・ホイニンゲン=ヒューネ	ドラマティック・イブニング・ケープ	1938年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	22.0×28.4
セシル・ビートン	エドワード朝様式の室内にいるメアリー・テイラー、『ヴォーグ』より	1935年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	25.4×20.2
セシル・ビートン	題不詳(1947 Nov.28)	1947年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	25.4×20.6
セシル・ビートン	題不詳(1947 Nov.10)	1947年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	25.4×20.6
セシル・ビートン	題不詳	不詳	ゼラチン・シルヴァー・プリント	25.4×20.6
セシル・ビートン	題不詳	不詳	ゼラチン・シルヴァー・プリント	25.8×20.6
セシル・ビートン	題不詳	不詳	ゼラチン・シルヴァー・プリント	25.8×20.7
ダイアン・アーバス	サウス・カロライナ	1968年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	39.5×38.2
ダイアン・アーバス	舞踏場ダンス ジュニア州チャンピオン、 ニューヨーク州ヨンカース	1962年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	37.2×37.2
ダイアン・アーバス	楽屋の風刺劇喜劇女優 アトランティック シティ、ニュージャージー	1963年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	37.6×37.5
ダイアン・アーバス	無題14	1970～71年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	37.3×37.7
ダイアン・アーバス	無題18	1970～71年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	36.8×37.4
ダイアン・アーバス	バラのドレスを着た仮面舞踏会の婦人	1967年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	36.9×37.2
ダイアン・アーバス	五番街のパレードの男、ニューヨーク	1969年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	36.8×36.8
ダイアン・アーバス	恐怖の家、コニー・アイランド、ニューヨーク	1962年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	36.4×37.3
バロン・ド・メイヤー	ミスタンケット	1920年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	24.1×18.4
バロン・ド・メイヤー	コンデ・ナスト夫人	1925年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	24.1×18.7
ピーター・リンドバーグ	ジゼル、ドーヴィルにて、フランス『ヴォーグ』より	1990年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	30.6×20.5
ピーター・リンドバーグ	ジゼル、ドーヴィルにて、フランス『ヴォーグ』より	1990年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	20.4×30.6
ピーター・リンドバーグ	ジゼル、ドーヴィルにて、フランス『ヴォーグ』より	1990年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	30.5×20.4
ベルナルド・フォコン	到着 〈夏休み〉より	1978年	フレッソン・プリント	60.0×60.0
ベルナルド・フォコン	悪魔のミントシロップ 〈夏休み〉より	1980年	フレッソン・プリント	60.0×60.0
ベルナルド・フォコン	島の祭り 〈時の不確かな進化〉より	1983年	フレッソン・プリント	60.0×60.0

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
ベルナルド・フォコン	アントワヌ 〈偶像と生贄〉より	1991年	フレッゾン・プリント	60.0×60.0
ベルナルド・フォコン	小さな木 〈偶像と生贄〉より	1991年	フレッゾン・プリント	60.0×60.0
ベルナルド・フォコン	ミュケナイの門 〈偶像と生贄〉より	1991年	フレッゾン・プリント	60.0×60.0
ベルナルド・フォコン	ディミトリ 〈偶像と生贄〉より	1991年	フレッゾン・プリント	60.0×60.0
ホルスト P. ホルスト	白い袖、バリ	1936年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	27.9×35.6
マーティン・ムンカッチ	ニューヨーク万国博覧会 『ハーパース・バザー』1938年9月号	1938年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	
マーティン・ムンカッチ	ルシール・プロコウ 『ハーパース・バザー』1933年12月号	1933年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	35.6×27.9
マーティン・ムンカッチ	『ハーパース・バザー』1936年6月号	1936年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	27.9×35.6
メルヴィン・ソコルスキー	デルボーに捧ぐ	1963年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	50.8×40.6
メルヴィン・ソコルスキー	木立のなかで	1963年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	50.8×40.6
リチャード・アヴェドン	ドヴィマと象	1955年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	58.5×47.3
ルトランジェ	題不詳	1900年頃	ゼラチン・シルヴァー・プリント	27.0×17.9
ルトランジェ	題不詳	1900年頃	ゼラチン・シルヴァー・プリント	16.2×12.5
ルトランジェ	題不詳	1900年頃	ゼラチン・シルヴァー・プリント	18.4×12.6
ルトランジェ	題不詳	1900年頃	ゼラチン・シルヴァー・プリント	27.1×18.0
ルトランジェ	題不詳	1900年頃	ゼラチン・シルヴァー・プリント	19.2×12.9

工芸

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
阿部 裕幸	根付 明暗	2005年	猪牙	長8.9 幅2.0
巖水	石見根付 扇面草図	江戸時代	象牙	長9.9
穴戸 濤雲	根付 柿本人麿	2005年	猪牙	長6.0 幅2.1
高木 喜峰	根付 迷い道	2005年	猪牙	長6.0 幅1.8
田中 俊暁	石見根付 おろち	2007年	猪牙	長1.0 幅4.5
富永	石見根付 蜘蛛	江戸時代後期	猪牙	8.5×2.4×1.2
富春	石見根付 蓮葉に蓑亀	1792年	鯨の歯	4.1×2.5
富春	石見根付 亀	江戸時代後期	木刻	長6.1
富春	石見根付 鮑に蟹	1795年	象牙	高1.5 幅4.8 奥行3.0
永原 雲永	色絵桐紋秋草図蓋茶碗	江戸時代末期	陶器	高7.9 口径11.0 高台径4.2
永原 英造	色絵金銀彩唐草文鉢	19世紀後半	陶器	高10.0 口径19.5 底径10.3
中村 松間齋	猛禽図高蒔絵印籠	江戸時代末期	高蒔絵	高7.2 幅6.7 奥行2.8
前田 中	根付 番	2005年	猪牙	長5.1 幅1.8
龍水	石見根付 牛	江戸時代	木	長5.6
和地 一風	根付 月下の祈り	2005年	猪牙・ベッコ甲・海松	長9.9 幅1.8
不詳	石見根付 蜘蛛	江戸時代後期	猪牙	長8.3
ダゴベルト・ベッヒエ	蓋付きの物入れ	1912年デザイン	陶製、釉薬	高15.0
ダゴベルト・ベッヒエ	ペンダント	1919年頃	象牙	長4.6
ダゴベルト・ベッヒエ	ブローチ	1916年	銀、象牙	3.4×3.4
ダゴベルト・ベッヒエ	蓋付きの箱	1920~21年	鍛金・銀	高5.0 径4.2

彫刻

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
草間 彌生	ドレス	1976年	ドレス、詰め物をした縫製布、ハンガー、彩色	102.0×52.0×20.0
草間 彌生	「銀色の希死」より シルバーシューズ	1976年	靴、詰め物をした縫製布、彩色	23.0×8.6×19.0
草間 彌生	ジェネシス 創世記	1993~94年	詰め物をした縫製布、木、彩色	299.7×480.1×30.0
草間 彌生	南瓜	1998年	F.R.P(強化プラスチック)、 塩ビ系塗装	200.0×250.0×250.0
藪内佐斗司	どこかものたりない 不思議な人物たち	1982年	檜	向かって右 160.0×114.0×112.0 向かって左 132.0×173.0×243.0
藪内佐斗司	ろーりんぐまん	1984年	檜	153.0×258.0×60.0
米原 雲海	仙丹	1910年	木	高34.0

服飾

作家名	作品名	制作年	材質
森 英恵	イブニング・コート、ショートドレス	1964年	純金帯地(西陣織)のコート。ドレスは、帯地と絹サテン。
森 英恵	ジャケット、ディナー・ドレス	1965年春夏	西陣織りの帯地を用いたジャケット。シルクサテンのドレス。ドレスの背には大きなりボン飾り。
森 英恵	ジャンプスーツ、カフタン	1966年	菊を同柄でプリントした綾絹と絹シフォンのジャンプ・スーツとカフタン。絹サテンのベルト。
森 英恵	イブニング・コート、ドレス	1968年	帯地風に仕立てた西陣織のイブニング・コート。赤と白の絹サテンのロングドレス。赤い絹サテンのベルト付。
森 英恵	ジャケット、ショートイブニング・ドレス	1968年秋冬	漢字柄を織り込んだ金色の西陣織りジャケット。金色の糸で手編みしたドレス。
森 英恵	デイ・ドレス	1970年代前半	シルク・シフォンとシルク・サテンに幾何学的な図案をプリント。ワンピース・ドレス。
森 英恵	カフタン、ドレス	1976年	蝶をプリントした絹シフォンと綾絹。同柄の絹シフォンのストール。
森 英恵	イブニング・ドレス	1976年	蝶をプリントした絹シフォンと綾絹。ネックにビーズ刺繍。
森 英恵	イブニング・ドレス「花の白いドレス」	1981年	白い絹クレープのワンピース・ドレス、絹サテンとビーズのアププリケ。
森 英恵	イブニング・ドレス	1981年	黒い絹クレープのワンピース・ドレス、絹サテンとビーズのアププリケ。
森 英恵	ジャケット、タイトスカート	1989年秋冬	黒色ウール地に黒色シルクサテンと黒色ウール地の網代編みをあしらったジャケット。黒色ウールのタイトスカート。
森 英恵	イブニング・ドレス「赤い蝶のドレス」	1990年	赤い絹クレープのワンピース・ドレス。
森 英恵	イブニング・ドレス	2002年春夏	青を基調に、ピンクや白を差し色として、花や鳥の刺繍を全面に施したロングドレス。クルーネック、長袖のボディ。コンシャスでシンプルなフォルム。裾にスリット。左肩にシルク・チュールでコサージュ飾り。
森 英恵	イブニング・ドレス「蒔絵を思わせる赤いサテンのイブニング・ドレス」	1994年秋冬	刺繍とプリントで秋草をあしらった赤い絹サテンのロングドレス。
森 英恵	ジャンプスーツ	2004年秋冬	背面に役者絵を染めた、深い青色のシルクサテンでできたジャンプスーツ。腰に濃紺のブレードでベルト飾り。
森 英恵	ジャケット、タイトスカート、ストール	2004年秋冬	秋の草花を染めた縮緬でできたテイラード・ジャケット、袖にスリット飾り。ストール付き。同素材のタイトスカート。
森 英恵	カフタン、イブニング・ドレス	2004年秋冬	羽ばたく鶴がプリントされた金色シルクサテンのカフタン。同素材でできたベア・トップのロングドレス。
森 英恵	ウェディングドレス	2004年春夏	チュールリボンのフリル飾りをスカート、胸元に配した白色シルクサテンのウェディング・ドレス。胸元に桜色のコサージュ飾り付き。
森 英恵	イブニング・ドレス「蝶を染めたベルベットのドレス」	1996年	ピンク色の絹のワンピース・ドレス。
森 英恵	イブニング・ドレス「北斎の版画のように、山の風景を染めた絹のドレス」	1996年	墨絵風の柄をプリントした絹シフォン、絹サテンのワンピース・ドレス。
森 英恵	コート、イブニング・ドレス	1997年秋冬	豹柄のフェイクファーをパッチワークした黒色ウールのロングコート。同柄をパッチワークしたベルトがついたウールニットのドレス。
森 英恵	イブニング・ドレス「ベージュにりんごの花のドレス」	1998年春夏	ベージュ地にりんごの花をプリントした絹シフォンのロングドレス。マーメイドライン、ノースリーブ。スパングルによる刺繍。
森 英恵	イブニング・ドレス「コーラル色の花を縫いとったレースのドレス」	1998年秋冬	チュール地に珊瑚色の花の刺繍を施した、ワンショルダーのロングドレス。
森 英恵	イブニング・ドレス	1999年春夏	明るいグレーのシルクシフォンに、白、黒、チャコールグレーの変わり水玉を刺繍したロングドレス。
森 英恵	イブニング・ドレス「プリーツをあしらったウールのスーツ」	2001年春夏	白いウールのジャケット、背中にプリーツ飾り。飾りピン付き。白いウールのアコーディオンプリーツのスカート。
森 英恵	「浮世絵ジャケットとリボンで編んだスカート」	2001年秋冬	銀糸を織り込んだ地に浮世絵柄を刺繍したジャケット、裾にフリル。緑、ピンク、茶のリボンを格子に編んだフレアスカート。
森 英恵	「黒い羽を縫いとったロイヤルブルーのスーツ」	2002年秋冬	花柄の地模様のある青色の綾絹でできたジャケットと膝丈のスカート。襟元、袖さき、背に黒い羽の縫い取り刺繍。
森 英恵	カクテル・ドレス「レースのドレスに軽いボレロ」	2004年春夏	黒い絹レースでできたノースリーブのショートドレス。胸元に小花の刺繍、腰にギャザー飾り。チュール地に格子状の黒いテープで螺旋状に刺繍したボレロ。
森 英恵	カクテル・ドレス「銀色のアンサンブル」	2004年春夏	裾と胸元に銀色のバラをあしらった黒い絹チュール地のショートドレス。同柄のバラモチーフを全面に刺繍した黒い絹チュールのボレロ。
森 英恵	イブニング・ドレス「墨絵にオレンジ色の花を添えたシフォンのドレス」	2004年春夏	墨絵とオレンジ色のバラをプリントした絹シフォンのロングドレス。腰にモザイク状のベルト飾り。
森 英恵	イブニング・ドレス「蝶とタイガーと波をそめた白い絹のドレス」	2004年春夏	蝶と虎と波をプリントした絹シフォンのロングドレス。裾と袖口に同布で刺繍、蝶と虎にはスパンコール刺繍、背にボタン飾り。
アリックス・グレ	イブニング・ドレス	1958年	黒い絹ジャージーのワンピース・ドレス。細かくたたまれたプリーツ。
アンドレ・クレージュ	ブーツ	1960年代後半	白い革、VELCROのファスナー付き。

作家名	作品名	制作年	材質
アンドレ・クレージュ	ジャンプスーツ	1970年	青と白のウール。マンダリン・カラー。茶革のトリミング、折り返しのあるカフス。
アンドレ・クレージュ	イブニング・ドレス	1970年頃	白いウール地のワンピース・ドレス。裏地は白い絹。
アンドレ・クレージュ	デイ・アンサンブル	1965～1967年	ライムと緑色のチェック地の白いウール地のツーピース・ドレス。裏地はクリーム色の絹。
アンドレ・クレージュ	スーツ、ブーツ、小物(カメラ)	1960年代後半～1970年	フェイクのエナメル(ビニール製)。丈の短いジャケット、ボティス中央とカフスに白いボタン、白いエナメルのロゴ・マーク、ヒップボーンのミニスカート。銀色の革製のブーツ。アクセサリーとして日本製カメラ(ミノルタ製)。
イヴ・サンローラン	カクテル・ドレス、ケープ	1967～1968年	カクテル・ドレスとケープのアンサンブル。ボティスは黄色の絹オーガンザ、ピンク、黄色のパイエット飾り等で刺繍。スカート、ケープには黄色のオストリッチ・フェザー。
イヴ・サンローラン	ディナー・ドレス「夜の音楽」	1956年	ダーク・グレーのシルク・グログラン地。Vネックライン、七分丈のラグラン・スリーヴ、トラペーズラインのスカート、4重に重ねたベチコートには、ホース・ヘアー・バンド。
イヴ・サンローラン	イブニング・スーツ	1967年頃	黒のサテンによりトリミングされた黒いウールのイブニング・スーツ。
ヴィヴィアン・ウエストウッド	ショール付イブニング・ドレス「サロン」	1992年	透けた黒のストレッチ素材。共布のショール付き。
ヴィヴィアン・ウエストウッド	イブニング・ドレス「18世紀スタイル」	1992年	金色の革。ボーンの入ったボティス。皮のスカート。スカーフは白の絹ゴーズ、太陽のモチーフを金色でプリント。プラット・フォーム・シューズは、金色の皮、ヒールには赤のエナメル。
ヴィヴィアン・ウエストウッド	ジャケット、パンツ、シャツ「リバティコレクション」	1994年	グレー、白、赤のタータンのウール。ロング丈のジャケット、ベスト、折り返しのついたパンツ。チェックの綿のシャツ。
ヴィヴィアン・ウエストウッド	ドレス、靴	1990年	黒色絹ベルベットのストレッチ素材のコレット、パッドの入ったバスル付きガーター風のボトム、17cmヒールのプラット・フォーム・シューズ。
エルザ・スカパレリ	イブニング・ドレス	1938年	ショッキングピンク地にプリントを施した絹シフォンのワンピース・ドレス。ショッキングピンクのアンダードレス。
エルザ・スカパレリ	水着	1930年代後半	綿とレーヨンの混紡。幾何学模様。ホルターネックブラ。
エルザ・スカパレリ	イブニング・ドレス	1939年	クリーム色のサテン・シルク。衿はフェイク(衿の形をしたアップリケ・ワーク)。肩にプラスチック・ジップ。
エルメス	水着	1940～1950年代	幾何学的な魚の模様のスパンデックス。ボーン入り。
ガブリエル・シャネル	イブニング・ドレス	1927年頃	黒の絹シフォンのワンピース・ドレス。バイアスカット。黒の絹のスリッパ。
ガブリエル・シャネル	イブニング・ドレス	1920年代後半	黒い絹クレープ・デ・シンにシャンティイレース地を重ねたワンピース・ドレス。サテン地のリボン。
クリスチャン・ディオール	ボールガウン	1954年	アイボリーの絹ファイユのストラップレス・ドレス。植物のモチーフをビーズ刺繍。
クリスチャン・ディオール	ボールガウン、ストール、靴	1954年	淡い青地に濃い水玉模様のプリント、絹シフォンのストラップレス・ドレス。襟元にボー飾り。背面にバスル風形状の飾り。共布のストールと靴。
クリスチャン・ディオール	デイ・ドレス	1949年	黒のウール。厚みのある開襟カラー。ジャケットに飾りポケット。巻きスカート。
クリスチャン・ディオール	ディナー・ドレス「カラカス」	1953年	バラのプリント地の絹シフォンのツーピース・ドレス。裏地はピンクの絹オーガンザ。内側にはボーンの入ったチュール地とシフォンのコレット。巻きスカート、シース型のアンダースカート付。
クリスチャン・ディオール	コート	1955年頃	グレーの絹ファイユ地。大きな襟と七分丈のラグラン・スリーヴ。後ろは大きくVの字に開きボウ飾り有り。両脇にポケット。背中中央にボックスプリーツ。裏地はグレーの絹。
クリスチャン・ディオール	カクテル・ドレス	1956年	茶の絹タフタ。ウエストにベルト。
クリスチャン・ディオール /イヴ・サンローラン	ディナー・ドレス	1958年	銀の絹サテン、裏地は絹ゴーズ。七分丈のラグラン・スリーヴ。幅広の帯風のベルト。ボティスの内側にはチュール地のボーン入りコレットとガーター。スカートにはチュール地の3段のベチコート。
クリスチャン・ディオール /マルク・ボアン	ディナー・ドレス	1961年	ピーコック・ブルーの絹。裏地は青の絹オーガンザ。七分丈スリーヴ。左右が不均等なボレロ風ジャケット。
クリストバル・バレンシアガ	カクテル・ドレス	1950～1951年	濃い青の絹タフタのカクテル・ドレスとジャケット。ドレスはホルター・ネック、前面にボタン、バルーンスカート。ジャケットは肩幅の狭いシルエット。ベルト付き。ビーズ付き濃紺の靴。
クリストバル・バレンシアガ	カクテル・ドレス	1961年	クリーム色のシフォン。トラペーズラインのドレス。
クリストバル・バレンシアガ	ケープ	1946年	黒の絹ファイユ地にホース・ヘアー、銀のスパンクル、人造宝石の刺繍。
クリストバル・バレンシアガ	ドレス	1949年	黒のウールに緑の絹タフタのワンピース・ドレス。
クリストバル・バレンシアガ	コート・ドレス	1958年	淡いグレーのモワレのコート・ドレス。マンダリンカラー。袖には金色に着色した木製釦。アンダースカート付。
クリストバル・バレンシアガ	カクテル・ドレス	1957年	黒のシャンティイレースの「ベビー・ドール・ドレス」。黒の絹のスリッパ・ドレス。
クリストバル・バレンシアガ	カクテル・ドレス	1957年	黒いバラのモチーフのある白いレース地のワンピース・ドレス「ベビー・ドール・ドレス」。絹シフォンのアンダードレス付。
クレア・マッカーディル	水着	1945年頃	黒色と白色のストライプのジャージー。
ザンドラ・ローズ	フード付きカフタン	1969年	黒、黄、緑で円状の模様がスクリーンプリントされたフード付きカフタン。
ジェームス・ガラノス	パンツ・スーツ	1970年	アイボリーのケミカル・レース。ジャケット、ベスト、ファスター付きフレア・ボトムのパンツ。

作家名	作品名	制作年	材質
シャルル=フレデリック・ウォルト	ボールガウン	1897年	アイボリーの絹サテン、ジゴ袖のツーピース・ドレス。金糸で刺繍の施されたベージュのラメ、ボディとスカートに稲妻と雲のデザイン。雲のデザインの薄い青色のトレーン。
ジャン=フィリップ・ウォルト	ウェディング・ドレス	1916年	さまざまな種類のブリュッセル・レースを組み合わせたドレス。
ジャンヌ・ランバン	イブニング・ドレス	1928年	黒の絹チュールのワンピース・ドレス。ボディとスカート上部に金銀のスパンゲルなどによる刺繍。
ジャンヌ・ランバン	ドレス	1936年	黒の絹クレープのワンピース・ドレス。袖に白いフェルト地のアププリケ・ワーク。バイアスカット。
ジルベルト・エイドリアン	デイ・ドレス	1940年代	赤茶と緑の玉虫色のウール。肩パッド付きのジャケット。スリットのあるタイト・スカート。
スザンヌ・タルボット	イブニング・コート	1925年頃	黒い絹の菌型コート。椰子の葉と花々を刺繍したテキスタイル。黒の毛皮のトリミング。裏地は黒のベルベット。
ステーンブラザーズ	レセプション・ドレス	1900～1905年頃	黒いネット・レース、アイボリーの絹サテン、絹シフォン、絹タフタを重ねている。S字ライン。
ダゴベルト・ベッヒエ	カフタン	1919年頃	絹に色を濃淡にぼかした縞模様プリント「レインボー」。
ダゴベルト・ベッヒエ	ネック・バンド	1919年頃	ビーズ。
ダゴベルト・ベッヒエ	テーブルセンター	1919～1920年	絹。チュールにアププリケ。
チャールズ・ジェームス	ディナー・ドレス「スパイラルドレス」	1951年	ルビー・レッドの絹ファイユ。スカートにくるみ釦、ファスナー。
ニナ・リッチ	イブニング・ドレス	1948年	紺と白の絹。開襟カラー。両肩下にポケットのある短いマント風ジャケット。前面にくるみ釦。クリノリン型のスカート。チュール・ネットの下着付き。
ハーバート・レヴィン	靴「カブキ・シューズ」	1964年	青色ベルベット。木製ソールは金色にペイント。
バーバラ・フラニッキ／ビバ	パンツ・スーツ	1970年	「サンダーソン」社製テキスタイルのテラード・ジャケット、ヒップ・ボーンフレアーパンツ。
バーバラ・フラニッキ／ビバ	パンツ・スーツ	1970年頃	ト音記号をプリントしたウールと綿のニットでできた、テラードジャケット、ヒップボーンフレアーパンツ。
パコ・ラバンヌ	イブニング・ドレス	1966年	銀色のアルミニウム板を真鍮の金具でつなぎ合わせたミニ・ドレス。
ピエール・バルマン	イブニング・ドレス	1955年頃	黒の絹ベルベットと絹ファイユ地。後ろ身頃にファスナー、その上にくるみ釦飾り付き。チュール地とホースヘアを6段に重ねたオリジナルのベチコート付き。
ビバ	スーツ	1970年	「サンダーソン」社製テキスタイルのテラード・ジャケット、ヒップボーンフレアー・パンツ。
ベス・レヴィン	サンダル「ネイキッド・シューズ」	1960年代	革製サンダル。プラスチック製のシダのモチーフのデコレーション。
ポール・ポワレ	イブニング・ドレス	1913年	黄色の絹ゴーズとプリーツのあるグリーン地のシフォン地。銀ブレードの縁飾り、バンド部分にペイズリー模様を銀糸やスパンゲルで刺繍。裏地はライム・グリーン地の絹シフォン。
ポール・ポワレ	ドレス	1920年代後半	シュミーズ風赤紫色の絹クレープ・デ・シンのワンピース・ドレスに、藤色と紫色のプリーツのあるオーバードレス。前身頃とウエストに、オリエンタル風モチーフを刺繍。
ポール・ポワレ	「ガーデン・パーティ・ドレス」	1911年	アイボリー色のオーガンジー。ボディとスカート裾に花弁の形をアププリケ、中央のバラはステンシルによるペイント。裏地の裾に黒色の絹ベルベット。
ポール・ポワレ	ドライブ用コート	1910年頃	アイボリー色のシャンタン絹地。Aライン、ラグランスリーブ、丸襟、骨のボタン。
ポール・ポワレ	デイ・ドレス	1925年	絹グログラン地に海辺のシーンをプリント。Vネックの襟元、ロウ・ウエスト。
ポール・ポワレ	デイ・ドレス「ブリトンヌ」	1921年	紺色のウール、青緑色のベルベット地、中国風の刺繍が施された長い袖、ボディの中央にフックファスナー、ウエスト前部にゴム。
ポール・ポワレ	カフタン・コート「イスファハン」	1908年	緑色の絹サテン、裏地には茶色の絹サテン、中東風の模様をゴールド・ギルド糸刺繍。袖の縁取りに使われた紐にはタッセル飾り付き。
マックス・スニシェク	ドレス、テキスタイル「バイエル」	1928年頃	絹にプリント。ウエストに二つのポケット。黒の絹の縁。
マックス・スニシェク	ドレス、テキスタイル「エロス」	1926年頃	絹にプリント。襟元にヒダ飾りのついたスクエアのネックライン。伸縮性のある袖口。2つのポケット。
マックス・スニシェク	ドレス、テキスタイル「ゼレニカ」	1929年	絹にプリント。濃い青の絹で縁取られたウエストまで届くV字の襟。袖も青の絹で縁取り。
マドレーヌ・ヴィオネ	デイ・ドレス	1920年頃	黒の絹クレープのワンピース・ドレス。ボートネック、ラグラン・スリーブ、プリーツスカート。
マドレーヌ・ヴィオネ	デイ・ドレス	1934年頃	赤緋色のクレープ。ワンピース・ドレス。バイアス・カット。
マドレーヌ・ヴィオネ	イブニング・ドレス、スリッパ、ストール	1938年	黒いチュール地に金色のぶどうのモチーフのワンピース・ドレス。サーキュラー・スカート。ホルター・ネック。黒い絹サテンのアンダー・ドレス付。黒いチュールのストール。
マドレーヌ・ヴィオネ	イブニング・ドレス	1938年	ドレスとアンダードレスの2ピース。ピンクのシルク・シフォン地のオーバー・ドレス、シフォンと絹地のアンダー・ドレス。
マリア・モナチ・ガレンガ	ティーガウン	1910年代	赤茶色の絹ベルベット地、直線断ちのドレス、ロング・スリーブス、肩にヴェネツィアンビーズ。ドレスに鳥と植物模様、袖に幾何学模様が金でステンシルワーク。
マリア・リカルツ	バッグ	1919年	ビーズ・ワーク。
マリアノ・フォルチュニ	コート	1912年以降	深緑と錆赤のベルベットにピンクと金色でプリント。金でルネサンス風文様がプリントされた錆赤のベルベットでトリミング。錆赤のロングタイ。絹のライニング。
マリアノ・フォルチュニ	チュニック「タバード」	1910年代	透けた黒の絹ゴーズ。金色のステンシル・ワーク。脇、裾にトンボ玉付き。

作家名	作品名	制作年	材質
マリアノ・フォルチュニ	プリーツ・ドレス「デルフォス」	1910年代	白の絹サテンのワンピース・ドレス。不規則な細かいプリーツ。アーム・ホール、脇にトンボ玉付き。ベージュと赤銅色の飾りヒモ付き。
マリアノ・フォルチュニ	プリーツ・ドレス「デルフォス」	1910年代	赤の絹サテンのワンピース・ドレス。不規則な細かいプリーツ。アーム・ホール、脇にトンボ玉付き。
メンバーシェ	イブニング・ドレス	1940年	黒の絹クレープ。背中に深いVカット。ラグラン・スリーヴ。
リバティ商会	コート		青色の絹ベルベット。ライニングは絹のシルバー・ラメ。フロントにくるみボタン、襟に絹製の紐、裾に長いタッセル飾り。
リバティ商会	ティーガウン	1908年	ブルーグレーのクレープ。茶がかったグレーの絹シフォンでトリミング。襟に中国風刺繍。
リバティ商会	バッグ	1910年代	異国風のモチーフのニードルワーク、緑色の絹地のライニング。
ルディ・ガーンライヒ	ミニ・ドレス、ビキニス、ブーツ	1967年	ピンクのウール・ニット。ビニールのインサージョン。ブーツにも同様のビニールのインサージョン。
ルディ・ガーンライヒ	ミニ・ドレス、ビキニス、ブーツ	1967年	ライム・グリーンとブルーのウール・ニット。ビニールのインサージョン。ブーツにも同様のビニールのインサージョン。
ルディ・ガーンライヒ	パンツ・スーツ	1960年代後半	ライム・グリーンとブルーのジグザグパターンのウール。ボタン付きベルト。
ルディ・ガーンライヒ	水着「モノキニ」	1964年	ヘリングボーンパターンのウール、綿、ラバーの混紡。
レドファン	コート	1920年代	金糸を織り込んだ黒い絹。シダ植物と花の模様が交差するパターン。襟元と袖に毛皮。袖はカフタン風。裏地はベージュの絹ベルベット。
作者不詳	ペーパー・ドレス「スーパードレス」	1966年頃	「キャンベル・スーパ・カン」のプリントを施したセルロースと綿の不織布。
作者不詳	ビーチ・ウェア	1910～1920年代	白色の絹ボンジー。袖無しのボディス、パンツ。
作者不詳	アフタヌーン・ドレス	1900年頃	ホワイト・コットン・オーガンジー、全体に水玉の織りがある薄手の綿と花柄刺繍、大きくふくらんだ袖、トレーンを引くスカート。
作者不詳	女性用乗馬服	1888年頃	ダーク・グリーンとブルーのウール。ジャケット、パンツ、サイド・サドル・スカート。
作者不詳	女性用乗馬服	1890年頃	グレーのツイード。ジャケット、パンツ、サイド・サドル・スカート。
作者不詳	女性用サイクリング・ウェア	1910年代	茶色のウール。ジャケット、パンツ。
作者不詳	女性用乗馬服	1920年代	茶色のウール。ジャケット、パンツ。
作者不詳	女性用乗馬服	1930年代後半	青色のウール。ジャケット、ジョッパーズのパンツ。
作者不詳	女性用サイクリング・ウェア	1900年頃	紺色のウール。ジャケット、ブルマー、カラー。ルースなブラウス風のボディス、セーラー・カラー、カフス付の長い袖、隠れた釦ファスナー。
作者不詳	水浴着	1905～1910年頃	濃紺のウール。上着、ブルマー、スカート。
作者不詳	水着	1920年頃	青色と赤色のストライプのウールニット。右肩に釦ファスナー。
作者不詳	プレイスーツ	1920年代初頭	綿にプリント。ジャケット、パンツ。
作者不詳	水着	1920年代	青、黒、白のストライプのウールのニット。
作者不詳	テニス・ウェア	1926年頃	白色綿。Vネック、ノースリーブ、肩2本ダーツ。
作者不詳	スキー・スーツ	1940年代	ウールとナイロンの混紡のジャンプスーツ。
作者不詳	ネックレス	1920年頃	ピンク、緑、銀色のストライプと小花模様のビーズ・ワーク。両端にタッセルの飾り。
作者不詳	イブニング用シューズ	1920年頃	花のモチーフを銀糸をつかいブロード織り。
作者不詳	海水浴用シューズ	1920年頃	セージ・グリーンと黒のゴム製。銀色にペイントされた羽根模様。
作者不詳	プレスレット	1930年頃	銀。
作者不詳	アフタヌーン・ドレス	1900年頃	ホワイト・コットン・オーガンジー、全体に水玉の織りがある薄手の綿と花柄刺繍、大きくふくらんだ袖、トレーンを引くスカート。
作者不詳	女兒用ワンピース・ドレス	1880年頃	青色綿のサマー・ドレス。全体に白糸のミシン刺しゅうと手刺しゅう。レースの飾り。両脇に大きな飾りポケット。背中に貝ボタンの装飾。
作者不詳	女兒用ワンピース・ドレス	1880年頃	小花模様を織り込んだベージュ色の絹のワンピース・ドレス。前身頃に細かな装飾。襟とスカートにスカラップ(ホタテ貝の貝殻)型の縁飾り。後方に大きなボウ飾り。

テキスタイル

作家名	作品名	制作年	技法、素材	サイズ(cm)
ラウル・デュフィ	ピアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル 46点	1912～1928年		
マリア・モナチ・ガレンガ	テキスタイル	1913年頃	ステンシル、絹ベルベット	290.0×307.0
マリア・モナチ・ガレンガ	テキスタイル	1920年頃	ステンシル、絹ベルベット	356.0×356.0
	ロシア・アヴァンギャルド期のテキスタイル 14点	1922～1930年代		
ダゴベルト・ベッヒェ	「ウンダーバウム」	1911～16年	プリント、絹	90.0×70.0
フェリス・リックス＝ウエノ	「クレムリン」	1929年	プリント、絹	74.0×94.0

テキスタイル・デザイン

作家名	作品名	制作年	技法、素材
ラウル・デュフィ	ピアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル・デザイン 68点	1912～1928年	水彩、紙
	ロシア・アヴァンギャルド期のテキスタイル・デザイン 74点	1922～1930年代	水彩、紙

ファッション雑誌、書籍

書名	出版年	サイズ(cm)	備考
『20世紀現代産業装飾芸術百科事典』	1925年	各28.3×23.2	全12冊
『フェミナ』	1904～34年	各35.0×28.2	88冊、欠号あり
『レ・モード』	1901～13年	各35.5×27.0	1～156号合本
『アール・グー・ボーテ』	1922～33年	各31.4×24.0	40冊、欠号あり
『婦人グラフ』	1924～28年	各32.8×24.4	25冊、欠号あり

購入

	分類	作家名	作品名	制作年	技法・材質・形状	サイズ(cm)
1	服飾	作者不詳	女兒用ワンピース・ドレス	明治23年 (1890)頃	クリーム色の絹のワンピース・ドレス。高い位置にウエストライン。大きくふくらんだ袖。全体にレースの差し込みと刺しゅうの装飾。付属品としてドレスと共布の薄手の絹と、グログラン(横畝のある平織地)の絹の帽子。	
2	服飾	作者不詳	女兒用サマー・ドレス	明治13～23年 (1880～1890)頃	赤色と白色の細かいチェック地の綿サマー・ドレス。ピンタックのある白色綿ブラウスと合わせて着用。襟、袖、スカート裾に白糸で手刺しゅう。	

所蔵作品貸出実績

展覧会名、会場、会期	作家名、作品名
山の日制定記念「遙かなる山一発見された風景美」 山口県立美術館 平成28年5月26日～7月3日 松本市美術館 平成28年7月16日～9月4日	大下 藤次郎《磐梯山噴火口》 大下 藤次郎《磐梯噴火口》 大下 藤次郎《檜原湖の秋》 大下 藤次郎《徳本小屋のほとり》 大下 藤次郎《飯坂》 大下 藤次郎《西山峠》 大下 藤次郎《雪の山2》 大下 藤次郎《富士図》 大下 藤次郎《雪晴》 菊池 華秋《雪晴》
鳥根県立石見美術館コレクション「モードとインテリアの20世紀展 ポワレからシャネル・サンローランまで」 パナソニック汐留ミュージアム 平成28年9月17日～11月23日	アンдре・クレージュ《デイ・アンサンブル》 アンдре・クレージュ《ブーツ》 アンдре・クレージュ《ドレス、ブーツ、カメラ》 イヴ・サンローラン《イブニング・スーツ》 エルザ・スカパレリ《イブニング・ドレス》 エルザ・スカパレリ《水着》 エルメス《水着》 ガブリエル・シャネル《イブニング・ドレス》 クリスチャン・ディオール《デイ・ドレス》 クリスチャン・ディオール《ディナー・ドレス「カラカス」》 クリスチャン・ディオール《ボール・ガウン》 クリストバル・バレンシアガ《ケープ》 クリストバル・バレンシアガ《ドレス》 クリストバル・バレンシアガ《カクテル・ドレス》 クリストバル・バレンシアガ《カクテル・ドレス》 ザンドラ・ローズ《カフタン風ワンピース・ドレス》 ジャンヌ・ランバン《ドレス》 スザンヌ・タルボット《イブニング・コート》 チャールズ・ジェームス《ディナー・ドレス「スパイラルドレス」》 パコ・ラバンヌ《イブニング・ドレス》 ポール・ポワレ《ガーデン・パーティー・ドレス》 ポール・ポワレ《カフタン・コート「イスファハン」》 ポール・ポワレ《イブニング・ドレス》 ポール・ポワレ《デイ・ドレス》 マドレーヌ・ヴィオネ《デイ・ドレス》 マドレーヌ・ヴィオネ《デイ・ドレス》 マドレーヌ・ヴィオネ《イブニング・ドレス、ストール》 マリアノ・フォルチュニ《コート》 マリアノ・フォルチュニ《ブリーツ・ドレス「デルフォス」》 メーン・ルソー・ブーシェ《イブニング・ドレス》 森 英恵《ホステスガウン「菊のバジャマ・ドレス」》 ルディ・ガーンライヒ《ミニ・ドレス、ピキニス、ブーツ》 ベス・レヴィン《サンダル「ネイキッド・シューズ」》 作者不詳《水浴着》 作者不詳《ビーチ・アンサンブル》 作者不詳《テニス・ウェア》 作者不詳《スキー・スーツ》 作者不詳《ペーパー・ドレス「スーパー・ドレス」》 作家不詳《イブニング・パンツ》 作者不詳《海水浴用シューズ》 ダゴベルト・ペッヒェ《ブローチ》 ダゴベルト・ペッヒェ《ペンダント》 ダゴベルト・ペッヒェ《ネックレス》 作者不詳《ネックレス》 リバティ商会《バッグ》 マリア・リカルツ《バッグ》 アドルフ・ドメイヤー《コンデ・ナスト夫人》 ウィリアム・クライン《煙+ヴェール》 ウィリアム・クライン《楽屋のモデルたち、パリ》 ウィリアム・クライン《オペラ劇場+顔のない人々、パリ》 エドワード・スタイケン《ナティカ・ナスト》 エドワード・スタイケン《F.A.ワイマン夫人》 ジョージ・ホイニンゲン=ヒューネ《ヴィオネ》 ジョージ・ホイニンゲン=ヒューネ《ドラマティック・イブニング・ケープ》

展覧会名、会場、会期	作家名、作品名
	セシル・ビートン《題不詳》 マーティン・ムンカッチ《ルシール・ブロコウ『ハパース・バザー』1933年12月号》 リチャード・アヴェドン《ドヴィマと象》 ルトランジェ《題不詳》 ルトランジェ《題不詳》 ルトランジェ《題不詳》 ラウル・デュフィ《田園(ピアンキーニ=フェリエ社のためのテキストイル・デザイン)》 ソニア・ドロネ《『絵画・オブジェ・同時的テキストイル・モード』1923年 Pl.1. 室内》 作家不詳《抽象形態》 ポール・イリーブ《『ポール・イリーブが語るポール・ボワレのドレス』》 ジョルジュ・ルパップ《『ジョルジュ・ルパップが見たポール・ボワレの作品』》 『ガゼット・デュ・ボン・トン』1923年 No.2 『ガゼット・デュ・ボン・トン』よりファッションプレート18点 『ジュルナル・デ・ダーム・エ・デ・モード』1913年 No.52 『ジュルナル・デ・ダーム・エ・デ・モード』よりファッションプレート10点 『モード・エ・マニエール・ドージュルデュイ』1913年、1914年 『モード・エ・マニエール・ドージュルデュイ』よりファッションプレート8点 『レ・モード』1905年7月号、1909年1月号、1901年2月号、1912年2月号 『フェミナ』1904年5月号、1917年9月号、1921年クリスマス号、1932年2月号、1935年6月号、1947年10月号 『アール・グー・ボーテ』1927年5月号、1929年2月号、1933年3月号 『アール・デコ博覧会公式報告書 第4巻』1925年 「フランス部門」《スタジオ(縞黒檀)》 『ヴォーグ』アメリカ版1948年2月1日号、1958年9月1日号、1950年1月号、1953年3月1日号、1965年3月15日号、1966年11月1日号、1968年11月1日号 『森英恵流行通信』1967年2月1日号 『タイム』1967年12月1日号

入館者数一覧・パスポート会員数一覧

1. 入場者数

	グラントワ入場者数	美術館			美術館合計	ホール			ホール合計
		企画展	コレクション展	その他		大ホール	小ホール	その他	
4月	23,433	3,047	3,021	60	6,128	1,954	1,481	1,774	5,209
5月	44,192	7,678	5,731	22	13,431	8,786	1,140	2,800	12,726
6月	34,673	6,501	5,021	22	11,544	2,579	2,093	4,691	9,363
7月	37,707	5,636	5,084	29	10,749	5,510	2,862	3,356	11,728
8月	53,753	3,659	3,372	44	7,075	13,179	3,183	8,455	24,817
9月	36,809	5,098	4,707	70	9,875	5,866	2,568	2,450	10,884
10月	44,767	11,847	10,134	0	21,981	6,082	2,139	7,528	15,749
11月	36,455	0	1,193	2,290	3,483	6,549	3,460	3,890	13,899
12月	31,045	624	2,225	1,179	4,028	4,585	3,411	4,047	12,043
1月	27,860	4,646	4,154	65	8,865	6,681	4,024	1,839	12,544
2月	25,691	2,271	2,516	1,154	5,941	5,195	1,714	3,387	10,296
3月	24,663	0	681	0	681	2,781	1,920	2,130	6,831
合計	421,048	51,007	47,839	4,935	103,781	69,747	29,995	46,347	146,089

2. 観覧者数

	企画展							
	前売券	当日券				ミュージアム パスポート	招待券	小計
		個人	割引券	団体・割引	無料券			
4月	236	653	187	141	428	766	636	3,047
5月	986	2,593	727	976	1,080	674	642	7,678
6月	953	1,843	743	592	750	1,015	605	6,501
7月	525	1,307	489	539	1,101	844	831	5,636
8月	90	600	67	183	796	1,078	845	3,659
9月	431	952	180	420	1,213	969	933	5,098
10月	691	1,655	391	574	6,011	1,281	1,244	11,847
11月	0	0	0	0	0	0	0	0
12月	17	152	10	32	25	240	148	624
1月	99	656	133	209	1,284	1,110	1,155	4,646
2月	102	320	68	137	350	645	649	2,271
3月	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	4,130	10,731	2,995	3,803	13,038	8,622	7,688	51,007

	コレクション展							
	前売券	当日券				ミュージアム パスポート	招待券	小計
		別納券	個人	団体・割引	無料券			
4月	236	1	416	281	434	1,005	648	3,021
5月	986	3	1,264	1,082	1,080	674	642	5,731
6月	953	1	816	879	750	1,015	607	5,021
7月	525	2	770	740	1,111	1,080	856	5,084
8月	90	0	398	164	796	1,078	846	3,372
9月	431	3	489	347	1,275	1,205	957	4,707
10月	691	0	541	366	6,011	1,281	1,244	10,134
11月	0	2	183	20	181	713	94	1,193
12月	17	0	255	36	905	770	242	2,225
1月	99	0	320	186	1,284	1,110	1,155	4,154
2月	102	14	247	95	431	968	659	2,516
3月	0	0	102	13	17	534	15	681
合計	4,130	26	5,801	4,209	14,275	11,433	7,965	47,839

3. 企画展観覧者数

名称	会期	日数	観覧者数
マリメッコ展 デザイン、ファブリック、ライフスタイル	平成28年4月23日～7月11日	70	20,783
原田直次郎展 西洋画は益々奨励すべし	平成28年7月23日～9月5日	39	5,636
誕生60周年記念 ミッフィー展	平成28年9月17日～10月31日	39	15,912
芳年 激動の時代を生きた鬼才浮世絵師	平成28年12月23日～2月13日	43	7,541
合計			49,872

4. パスポート会員数一覧

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1,420	1,423	1,413	1,383	1,342	1,334	1,325	1,300	1,289	1,294	1,289	1,279

収支概要

■収支概要

センター運営費	20,462
指定管理委託料	327,145
展覧会事業費	56,077
企画展示費	50,437
常設展示費	5,640
教育普及費	3,734
教育普及(誘客促進)費	969
調査研究費	870
情報提供事業費	841
美術品保存修復事業費	3,420
美術品収集事業	827
センター利用促進事業費	1,000
合 計	415,345

※2月補正額

企画展	19,069
常設展	2,026
パスポート	3,269
目的外使用料	5,335
合 計	29,699

※図録販売収入など雑入は含まず

島根県芸術文化センター条例をここに公布する。

島根県芸術文化センター条例

(趣旨)

第1条 この条例は、島根県芸術文化センターの設置及び管理について必要な事項を定めるものとする。

(設置)

第2条 多様で質の高い美術、音楽、演劇その他の芸術文化の鑑賞及び創造の機会を提供し、もって芸術文化の振興及び県民生活の向上を図るため、島根県芸術文化センター（以下「センター」という。）を益田市に設置する。

2 センターは、次に掲げる施設をもって構成する。

- (1) 島根県立石見美術館（以下「美術館」という。）
- (2) 島根県立いわみ芸術劇場（以下「芸術劇場」という。）

(業務)

第3条 センターは、次に掲げる業務を行う。

- (1) 美術品及び美術に関する資料（以下「美術品等」という。）の収集、保管及び展示に関すること。
- (2) 美術に関する教育及び普及並びに調査研究に関すること。
- (3) センターの施設及び設備（以下「施設等」という。）で別表第1に掲げるもの（以下「有料施設等」という。）を一般の利用に供すること。
- (4) 音楽、演劇その他の鑑賞を目的とした事業に関すること。
- (5) 芸術文化に関する情報の収集及び提供に関すること。
- (6) 前各号に掲げるもののほか、センターの目的を達成するために必要な業務に関すること。

(職員)

第4条 センターに、センター長その他の職員を置く。

(指定管理者による管理)

第5条 センターの管理は、法人その他の団体であって、知事及び教育委員会（以下「知事等」という。）が指定するもの（以下「指定管理者」という。）にこれを行わせるものとする。

(指定管理者が行う業務)

第6条 指定管理者は、次に掲げる業務を行うものとする。

- (1) 有料施設等の利用の許可に関する業務
- (2) 美術館の観覧料の徴収に関する業務
- (3) 施設等の維持管理に関する業務
- (4) センターを利用した第3条第4号及び第5号の業務
- (5) 前各号に掲げるもののほか、センターの運営に関する事務のうち、知事等が必要と認める業務

(指定管理者の指定の申請等)

第7条 知事等は、指定管理者を指定しようとするときは、特別の事情があると認める場合を除き、公募するものとする。

2 第5条の規定による指定を受けようとするものは、申請書に事業計画書その他規則及び教育委員会規則（以下「規則等」という。）で定める書類を添付して、知事等が定める期日までに知事等に提出しなければならない。

(指定管理者の指定)

第8条 知事等は、次の各号に掲げる基準をいずれも満たすもののうち、センターの管理を行わせるのに最も適した団体を候補者として選定し、議会の議決を経て指定管理者を指定するものとする。

- (1) 事業計画書の内容が、住民の平等な利用が図られるものであること及びサービスの向上が図られるものであること。
- (2) 事業計画書の内容が、複合施設としてのセンターの効用を最大限に発揮させるものであること。
- (3) 事業計画書の内容が、施設等の適切な維持管理を図ることができるものであること及び管理に係る経費の縮減が図られるものであること。
- (4) 当該団体が、事業計画書に沿った管理を安定して行う財政的基礎及び人的能力を有するものであること。

(事業報告書の作成及び提出)

第9条 指定管理者は、規則等で定める日までに、センターの管理の業務に関し、規則等で定める内容を記載した事業報告書を作成し、知事等に提出しなければならない。

(業務報告の聴取等)

第10条 知事又は教育委員会は、センターの管理の適正を期するため、指定管理者に対し、その管理の業務又は経理の状況に関し定期に又は必要に応じて臨時に報告を求め、実地に調査し、又は必要な指示をすることができる。

(指定の取消し等)

第11条 指定管理者が前条の指示に従わないとき、その他指定管理者の責めに帰すべき事由により当該指定管理者による管理を継続することができないと認めるときは、知事等はその指定を取り消し、若しくは期間を定めて管理の業務の全部の停止を命じ、又は知事若しくは教育委員会は期間を定めて管理の業務の一部の停止を命ずることができる。

- 2 前項の規定により指定管理者の指定が取り消され新たな指定管理者がセンターの管理を行うまでの期間又は指定管理者が管理の業務の全部若しくは一部の停止を命ぜられた期間におけるセンターの管理は、必要に応じて知事又は教育委員会が行うものとする。この場合において、次条から第18条まで、第23条及び第24条の規定中指定管理者の権限とされているものについては、知事又は教育委員会の権限とする。
- 3 第1項の規定により指定を取り消し、又は期間を定めて管理の業務の全部若しくは一部の停止を命じた場合において指定管理者に損害が生じて、知事等は其の賠償の責めを負わない。

(開館時間等)

第12条 センターの開館時間は、午前9時から午後10時までとする。

- 2 センターの利用時間は、次の各号に掲げる施設の区分に応じ、当該各号に定めるところによる。

- (1) 美術館 午前9時から午後5時30分まで
- (2) 芸術劇場 午前9時から午後10時まで

- 3 前2項の規定にかかわらず、指定管理者は、必要があると認めるときは、知事又は教育委員会の承認を受けて、開館時間又は利用時間を変更することができる。

(休館日)

第13条 センターの休館日は、次のとおりとする。ただし、指定管理者は、必要があると認めるときは、知事又は教育委員会の承認を受けて、これを変更することができる。

- (1) 毎月第2火曜日及び第4火曜日（美術館にあっては、毎週火曜日）
- (2) 12月30日から翌年の1月3日まで

- 2 前項第1号の規定にかかわらず、同号に規定する日が国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日当たるときは、その翌日以降の最初の休日でない日を休館日とする。

(平17条例39・一部改正)

(利用の許可等)

第14条 有料施設等を利用しようとする者は、指定管理者の許可を受けなければならない。許可に係る事項を変更しようとするときも、同様とする。

- 2 指定管理者は、有料施設等の利用の目的、方法等が次の各号のいずれかに該当するときは、前項の許可をしないものとする。
 - (1) 公の秩序又は善良の風俗に反するおそれがあると認められるとき。
 - (2) 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2号に規定する暴力団の財産上の利益になるおそれがあると認められるとき。
 - (3) 長期間にわたる継続利用により他の利用を妨げるおそれがあると認められるとき。
 - (4) センターの施設又は設備を損壊するおそれがあると認められるとき。
 - (5) 前各号に掲げるもののほか、センターの管理に支障があると認められるとき又は規則で定める事由に該当すると認められるとき。

- 3 指定管理者は、センターの管理上必要があると認めるときは、第1項の許可に条件を付することができる。

(許可の取消し等)

第15条 指定管理者は、前条第1項の許可を受けた者（以下「利用者」という。）が、次の各号のいずれかに該当するときは、又は天災地変その他センターの管理上特に必要があるときは、許可を取り消し、同条第3項の規定により許可に付した条件を変更し、又は利用の中止を命ずることができる。

- (1) この条例又はこの条例に基づく規則等の規定に違反したとき。
- (2) 前条第3項の規定により許可に付した条件に違反したとき。
- (3) 偽りその他不正の手段により許可を受けたとき。

(利用料金)

第16条 利用者は、有料施設等の利用に係る料金（以下「利用料金」という。）を指定管理者に支払わなければならない。

- 2 利用料金は、指定管理者が認めた場合を除き、第14条第1項の許可をするときに徴収する。
- 3 利用料金は、指定管理者にその収入として収受させる。
- 4 利用料金は、別表第1に掲げる基準額に0.8を乗じて得た額から当該基準額に1.2を乗じて得た額までの範囲内の額で、指定管理者が知事の承認を受けて定める額とする。

(利用料金の減免)

第17条 指定管理者は、公益上特に必要があると認めるときは、利用料金を減免することができる。

(利用料金の不還付)

第18条 既に納入された利用料金は、還付しない。ただし、次の各号のいずれかに該当するときは、指定管理者は、利用料金の全部又は一部を還付することができる。

- (1) 利用者が、その責めに帰することができない理由により有料施設等を利用することができなくなったとき。
- (2) 指定管理者が、センターの管理上特に必要があるため第15条の規定により利用の許可を取り消したとき。
- (3) 利用者が、利用開始の前日までに指定管理者が定める日までに利用の中止を申し出たとき。

(利用権の譲渡等の禁止)

第19条 利用者は、有料施設等の利用の権利を他人に譲渡し、又は転貸してはならない。

(観覧料)

第20条 美術館に展示する美術品等を観覧しようとする者（次に掲げる者を除く。）は、別表第2又は別表第3に定める観覧料を納付しなければならない。

- (1) 未就学児
- (2) 常設展（常設展示室における展示をいう。以下同じ。）を観覧しようとする小学校の児童並びに中学校及び高等学校の生徒並びにこれらに準ずる者

(観覧料の減免)

第21条 教育委員会は、公益上特に必要があると認めるときは、観覧料を減免することができる。

(観覧料の不還付)

第22条 既に納付された観覧料は、還付しない。ただし、教育委員会が特に必要と認めるときは、この限りでない。

(指定管理者の指示)

第23条 指定管理者は、センターの管理上必要があると認めるときは、センターを利用する者に対し、当該利用する者が遵守すべき事項に関し必要な指示をすることができる。

(入館の制限)

第24条 指定管理者は、次の各号のいずれかに該当する者に対しては、センターへの入館を拒否し、又はセンターからの退去を命ずることができる。

- (1) センターの施設若しくは設備又は美術館に展示する美術品若しくは美術に関する資料を損壊するおそれがある者
- (2) 他人に危害を加え、又は迷惑になる行為をする者
- (3) 前2号に掲げる者のほか、センターの管理上支障があると認められる者

(損害賠償)

第25条 指定管理者又はセンターを利用する者は、故意又は過失により、センターの施設若しくは設備又は美術館に展示する美術品若しくは美術に関する資料を損壊し、又は滅失したときは、これによって生じた損害を賠償しなければならない。

(秘密保持義務)

第26条 指定管理者若しくは指定管理者であったもの又は第6条の業務に従事している者若しくは従事していた者は、その業務に関して知り得た管理上の秘密をみだりに他人に知らせ、又は不当な目的に利用してはならない。

(原状回復義務)

第27条 指定管理者は、その指定の期間が満了したとき、又は第11条第1項の規定により指定を取り消され、若しくは期間を定めて管理の業務の全部若しくは一部の停止を命ぜられたときは、その管理をしなくなった施設等を速やかに原状に回復しなければならない。ただし、知事又は教育委員会の承認を受けたときは、この限りでない。

2 利用者は、有料施設等の利用が終わったとき、又は第15条の規定により許可を取り消され、若しくは利用の中止を命ぜられたときは、その利用した有料施設等を原状に復し、又は搬入した物件を撤去しなければならない。

(センター協議会)

第28条 センターにセンター協議会（以下「協議会」という。）を置く。

- 2 協議会は、センターの運営に関しセンター長の諮問に応ずるとともに、センター長に対して意見を述べる機関とする。
- 3 協議会の委員（以下「委員」という。）の定数は、15人以内とする。
- 4 委員の任期は、2年とする。ただし、欠員が生じた場合の補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委任)

第29条 この条例の施行に関し必要な事項は、規則等で定める。

(罰則)

第30条 知事は、詐欺その他不正の行為により、観覧料の徴収を免れた者については、その徴収を免れた金額の5倍に相当する金額（当該5倍に相当する金額が5万円を超えないときは、5万円とする。）以下の過料を科することができる。

附 則

(施行期日)

1 この条例は、平成17年4月1日から施行する。ただし、次項及び附則第3項の規定は、公布の日から施行する。

(準備行為)

2 第8条に規定する指定及びこれに関し必要なその他の行為は、この条例の施行前においても第7条の規定の例により行うことができる。

3 センターの供用開始の日以後の利用に係る有料施設等の利用の許可に関し必要な準備行為は、この条例の施行の日（以下「施行日」という。）前においても行うことができる。

(供用開始)

4 センターは、知事が別に定める日から供用を開始する。

(知事が別に定める日＝平成17年10月8日)

(経過措置)

5 施行日から前項に規定する供用を開始する日までの間は、第12条、第13条及び第28条の規定は、適用しない。

附 則（平成17年条例第39号）

この条例は、平成18年4月1日から施行する。

ただし、第2条の規定は、公布の日から施行する。

附 則（平成26年条例第1号）抄

(施行期日)

1 この条例は、平成26年4月1日から施行する。

別表第1（第3条関係）
（平26条例1・一部改正）

1 施設の基準額

(1) 大ホール等

区分			基準額					
			午前9時から 正午まで	午後1時から 午後5時まで	午後6時から 午後10時まで	午前9時から 午後5時まで	午後1時から 午後10時まで	午前9時から 午後10時まで
大ホール	1階席 及び 2階席	平日	円 31,510	円 42,020	円 52,520	円 63,040	円 84,050	円 105,060
		土、日曜日 及び休日	37,810	50,430	63,030	75,640	100,860	126,080
	1階席	平日	21,010	28,010	35,020	42,020	56,030	70,040
		土、日曜日 及び休日	25,210	33,610	42,020	50,430	67,230	84,050
	小ホール	平日	8,400	11,200	14,000	16,800	22,410	28,010
		土、日曜日 及び休日	10,080	13,430	16,800	20,160	26,880	33,610
スタジオ1			4,750	6,330	7,920	9,500	12,670	15,850
スタジオ2			970	1,300	1,630	1,950	2,610	3,270
大ホール大楽屋1			2,120	2,830	3,550	4,260	5,680	7,110
大ホール大楽屋2			2,120	2,830	3,550	4,260	5,680	7,110
大ホール中楽屋1			850	1,140	1,420	1,700	2,280	2,850
大ホール中楽屋2			850	1,140	1,420	1,700	2,280	2,850
大ホール中楽屋3			850	1,140	1,420	1,700	2,280	2,850
大ホール中楽屋4			850	1,140	1,420	1,700	2,280	2,850
大ホール小楽屋1			590	800	990	1,200	1,600	2,000
大ホール小楽屋2			590	800	990	1,200	1,600	2,000
小ホール中楽屋1			780	1,030	1,300	1,560	2,080	2,610
小ホール中楽屋2			780	1,030	1,300	1,560	2,080	2,610
小ホール小楽屋1			590	800	990	1,200	1,600	2,000
小ホール小楽屋2			590	800	990	1,200	1,600	2,000
多目的ギャラリー			3,930	5,250	6,570	7,880	10,510	13,140

備考

- 入場料その他これに類する料金（以下「入場料」という。）を徴収して大ホール又は小ホールを利用する場合の基準額は、この表に定める基準額に、次に掲げる入場料の額（入場料の額に2以上の区分があるときは、そのうちの最高額）の区分に応じた額を加算した額とする。
ア 3,000円以下のもの 10割相当額（徴収する入場料の額が1,000円以下で、かつ、営利を目的としない場合にあつては、5割相当額）
イ 3,000円を超え、5,000円以下のもの 15割相当額
ウ 5,000円を超えるもの 20割相当額
- 入場料を徴収しないが営利を目的として、大ホール又は小ホールを利用する場合の基準額は、この表に定める基準額に10割相当額を加算した額とし、入場料を徴収し、又は入場料を徴収しないが営利を目的としてスタジオ1、スタジオ2又は多目的ギャラリーを利用する場合の基準額は、この表に定める基準額に5割相当額を加算した額とする。
- 楽屋を他の用途に利用する場合の基準額は、この表に定める基準額に5割相当額を加算した額とする。
- この表に定める利用時間を超えて利用する場合の基準額は、この表に定める基準額（前3号の規定により加算した場合は、その加算した額を含む。）に、1時間までごとに、当該基準額の1時間当たりの額を加算した額とする。
- 大ホール、小ホール、スタジオ1、スタジオ2又は多目的ギャラリーを準備のために利用する場合の基準額は、この表に定める基準額（備考第1号若しくは第2号又は前号の規定により加算した場合は、その加算した額を含む。）の5割相当額とする。
- 冷暖房期間（11月1日から翌年の3月31日まで及び6月1日から9月30日までの間をいう。）において冷暖房料を徴収する場合の基準額は、この表に定める基準額（前各号の規定により加算した場合は、その加算した額を含む。）の3割相当額とする。
- 休日とは、国民の祝日に関する法律に規定する休日をいう（（2）の表において同じ。）。
- 備考第1号から第6号までにおいて算出した額に10円未満の端数があるときは、その端数金額を切り捨てる。

(2) その他

区分	単位	基準額
屋外施設	1平方メートルにつき1日までごと	7円

備考

- 「屋外施設」とは、前庭広場、中庭広場及び駐車場をいう。
- 屋外施設は、知事が定める用途に限り、利用することができる。
- 屋外施設を日曜日、土曜日又は休日に利用する場合の基準額は、この表に定める基準額に2割相当額を加算した額とする。
- 「1日」とは、午前9時から午後10時までをいう。

2 設備の基準額

種別	単位	基準額
舞台大道具及び小道具	1回1点につき	知事が定める額
舞台関係設備	1回1点につき	知事が定める額
音響関係設備	1回1点につき	知事が定める額
楽器	1回1点につき	知事が定める額
映写機	1回1点につき	知事が定める額
その他設備器具	1回1点につき	知事が定める額

備考 「1回」とは、午前9時から正午まで、午後1時から午後5時まで又は午後6時から午後10時までのそれぞれの時間帯における利用をいう。

別表第2 (第20条関係)

区分		観覧料の額 (1人1回につき)	
		個人の場合	団体 (20人以上の場合をいう。) の場合その他教育委員会規則で定める割引制度に該当する場合
常設展	大学の学生又はこれに準ずる者	200円	160円
	その他の者	300円	240円
企画展		その都度教育委員会が定める額	

備考

- 「企画展」とは、常設展以外の展示で特別の企画に基づくものをいう。
- 常設展と企画展とを同日中に観覧しようとする者の常設展の観覧料の額は、この表に定める額の5割相当額とする。

別表第3 (第20条関係)

区分	年間観覧料 (同一人が1年間に常設展又は企画展を観覧する場合の観覧料) の額
小学校の児童、中学校若しくは高等学校の生徒又はこれらに準ずる者	1,500円以内で教育委員会が定める額
大学の学生又はこれに準ずる者	3,000円以内で教育委員会が定める額
その他の者	5,000円以内で教育委員会が定める額

島根県立石見美術館管理規則をここに公布する。
島根県立石見美術館管理規則

(趣旨)

第1条 この規則は、島根県芸術文化センター条例（平成16年島根県条例第51号。以下「条例」という。）第29条に基づき、島根県立石見美術館（以下「美術館」という。）の管理に関し必要な事項を定めるものとする。

(指定管理者の申請に関する書類)

第2条 条例第7条第2項の申請書は、指定管理者指定申請書（様式第1号）によらなければならない。

2 条例第7条第2項の教育委員会規則で定める書類は、次のとおりとする。

- (1) 定款、寄附行為、規約その他これらに準ずる書類
- (2) 法人にあっては、当該法人の登記事項証明書
- (3) 前項の申請書を提出する日の属する事業年度の事業計画書及び収支予算書並びに過去2年間の事業報告書、収支計算書、貸借対照表及び財産目録又はこれらに準ずる書類
- (4) 役員の名簿及び略歴を記載した書類
- (5) 団体の概要を記載した書類
- (6) 前各号に掲げるもののほか、教育委員会（以下「委員会」という。）が必要と認める書類（平17教委規則14・一部改正）

(事業報告書の内容等)

第3条 条例第9条の規則等で定める日は、毎会計年度終了後60日とする。ただし、条例第11条第1項の規定により指定管理者の指定を取消された場合は、その取消の日から60日とし、その報告の対象となる期間は当該取消の前日までとする。

2 条例第9条の規則等で定める内容は、次のとおりとする。

- (1) 美術館の管理の体制
- (2) 美術館の管理業務の実施状況及び使用の実績
- (3) 美術館の管理に要した経費の収支状況
- (4) 前各号に掲げるもののほか、美術館の管理に関し委員会が必要と認める事項

(観覧料の納付)

第4条 観覧料は、前納とする。ただし、委員会が特に認めた場合は、後納とすることができる。

(年間観覧券)

第5条 年間観覧料を支払った者に対しては、年間観覧券を交付するものとし、その有効期間は、年間観覧券を交付した日から起算して1年間とする。

2 年間観覧券の使用は、同一人に限るものとする。

(観覧料の減免)

第6条 次の各号に掲げる者（条例別表第2個人の場合の欄に該当する場合に限る。）が、美術館の展示する美術品及び美術に関する資料を観覧しようとするときは、条例第21条の規定により、条例別表第2個人の場合の欄に定める額（以下この項において「観覧料の額」という。）から当該各号に定める額を減免することができる。

- (1) 小学校の児童、中学校若しくは高等学校の生徒又はこれらに準ずる者で、学校が編成した教育課程に基づく活動により教職員に引率されて観覧する者 観覧料の全額
- (2) 前号に掲げる者を引率する教職員 観覧料の額の全額
- (3) 身体障害者福祉法（昭和24年法律第283号）第15条第4項の身体障害者手帳、療養手帳（知的障害者の福祉の充実を図るため、児童相談所又は知的障害者更生相談所において知的障害者と判定された者に対して交付される手帳で、その者の障害の程度その他の事項の記載があるものをいう。）又は精神保健及び精神障害者福祉に関する法律（昭和25年法律第123号）第45条第2項の精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている者（以下次項において「障害者」という。） 観覧料の額の全額
- (4) 障害者の付添人（原則として障害者の人数と同じ人数までに限る。） 観覧料の額の全額
- (5) 前各号に掲げるもののほか、委員会が特別の理由があると認める者 委員会が別に定める額

2 前項の規定により観覧料の減免を受けようとする者は、あらかじめ、観覧料減免申請書（様式第2号）を提出し、委員会の承認を受けなければならない。ただし、前項第3号及び第4号に規定する者については、この限りでない。

(観覧料の割引制度)

第7条 条例別表第2に規定する教育委員会規則で定める割引制度は、次に掲げる事項とする。

- (1) 他の観光施設等の管理者等と共同で発行する共通割引券を利用して観覧する場合
- (2) 別に定める者が運営する交通機関を利用する者が、別に定める乗車券等を提示して観覧する場合
- (3) 前2号に掲げるもののほか、美術館の利用を促進するものとして特に必要と認める場合

(センター協議会)

第8条 センター協議会に関し必要な事項は、別に定める。

(委任)

第9条 この規則に定めるもののほか、美術館の管理に関し必要な事項は、委員会が別に定める。

附 則

この規則は、平成17年4月1日から施行する。

附 則（平成17年教委規則第14号）

この規則は、公布の日から施行する。

指定管理者指定申請書

年 月 日

様

所在地

申請者 名称

代表者氏名 印

島根県芸術文化センターの指定管理者について指定を受けたいので、島根県芸術文化センター条例第7条第2項の規定に基づき下記のとおり申請します。

記

団体名			
代表者職・氏名			
主たる事務所の所在地			
設立年月日	年 月 日	構成員の 人数	人
資本金			円
提携団体（他団体と連携して管理を行う場合に記入すること。）			

様式第2号（第6条関係）

島根県立石見美術館観覧料減免申請書

年 月 日

様

住所〒

（団体にあっては、主たる事務所の所在地）

申請者 氏名

（団体にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号

（自宅及び勤務先）

下記のとおり観覧料の減免を受けたいので申請します。

記

観覧期日	年 月 日（ ）曜日		
展覧会名			
減免を申請する理由	<input type="checkbox"/> 小学校の児童、中学校若しくは高等学校の生徒又はこれらに準ずる者が、学校が編成した教育課程に基づく活動により教職員に引率されて観覧する場合 <input type="checkbox"/> 上記の者を教職員が引率する場合 <input type="checkbox"/> その他の場合 （ ）		
区分	正規の観覧料	※ 減免率	※ 減免後の観覧料
小学校の児童、中学校若しくは高等学校の生徒又はこれらに準ずる者	円× 人＝ 円	%	円
上記を引率する教職員	円× 人＝ 円	%	円
その他の者	円× 人＝ 円	%	円
合計		円	円

（注） ※印欄は、記載しないでください。

施設概要

■島根県芸術文化センター（島根県立石見美術館、島根県立いわみ芸術劇場）

[所在地] 島根県益田市有明町5番15号

[設計期間] 2001年4月～2002年7月

[工事期間] 2002年11月～2005年3月

[設計] 内藤廣建築設計事務所

[構造設計] 空間工学研究所

[設備設計] 明野設備研究所

[コンサルタント]

- 設計協力：江角彰宣・みずほ設計
- 舞台機構：シアターワークショップ
- 舞台照明：シアターワークショップ
- 舞台音響：唐澤誠建築音響設計事務所
- サイン：矢萩喜從郎
- 共同監理：島根県益田土木建築事務所

[敷地面積] 36,564.16㎡

[建築面積] 14,068.15㎡

[延床面積] 19,252.45㎡

1階：13,313.01㎡、2階：2,893.78㎡

地下1階：3,045.66㎡

[建蔽率] 38.4%（許容：60%）

[容積率] 52.6%（許容：200%）

[用途] 美術館・劇場

[規模] 地上2階 地下1階

[最高高さ] 32.24m

[構造] RC造、一部PC、S造

[設備]

●空調設備、空調方式

ホール・美術館：単一ダクト方式

事務・ホール楽屋：ファンコイルユニット、単一ダクト方式

レストラン・ホール調整室：空冷パッケージ、全熱交換器方式

●熱源

冷熱源：吸収式冷温水機、ブライン冷凍機（氷蓄熱・追掛）、

空冷ヒートポンプチラー方式

氷製氷時は深夜電力利用（蓄熱製氷方式・ダイナミック型）

温熱源：吸収式冷温水機、空冷ヒートポンプチラー方式、

ボイラー方式

●衛生設備

給水：受水槽、加圧給水ポンプ方式

給湯：楽屋・レストラン厨房＝中央式（ガス給湯器）、

その他：局所式（電気温水器）

排水：建物内＝汚・雑排水合流方式

建物外＝合併浄化槽方式（放流水BOD 20mg/L以下）

●電気設備

受電方式：高圧3相3線6.6KV 1回線

設備容量：6250kVA

契約電力：1500kVA

予備電源：高圧ガスタービン発電機 750kVA

●防災設備

消火設備：全館スプリンクラー設備

（ホール舞台部：開放型、その他：閉鎖型）

美術館展示室・収蔵庫＝ハロゲン化物消火設備

（ハロンバンク登録）

補助散水栓

排煙：自然排煙、機械式排煙

その他：自動火災報知設備、非常放送設備、誘導灯設備、

非常用照明

昇降機：乗用エレベーター、荷物用エレベーター

特殊設備：水景設備（中庭）＝オーバーフロー循環方式・

砂濾過方式

[施工]

- 建築：大成建設・大畑建設・日興建設特別共同企業体
- 空調：新菱冷熱・電設サービス・技研設備特別共同企業体
- 衛生：新日本空調・吉村設備・角田工業特別共同企業体
- 強電：中電工・北陽・山代特別共同企業体
- 弱電：栗原工業
- 舞台機構：森平舞台機構
- 舞台照明：丸茂電機
- 舞台音響：ヤマハサウンドテック
- 非常用発電：東芝
- エレベーター：東芝エレベーター
- 浄化槽：アルファプランニングワーク
- 外構：大畑建設・日興建設特別共同企業体
- 植栽：田部、大畑建設
- アスファルト舗装：大成建設・大畑建設・日興建設特別共同企業体
- 屋根・外壁石州瓦：
 - 施工＝益田窯業
 - 製造＝益田窯業、木村窯業、シバオ
 - 瓦ファスニングシステム（外壁石州瓦取付）＝シマムラ
- 外壁タイル：
 - 施工＝協和タイル
 - 製造＝株式会社 スカラ
- 特殊照明：ヤマギワ

〔諸室面積一覧〕

石見美術館

●展示前室	255.2㎡
●展示室A	388.8㎡
●展示室B	202.5㎡
●展示室C	307.8㎡
●展示室D	1091.5㎡
●美術館ロビー	498.2㎡
●搬入荷解スペース(展示倉庫含む)	282.5㎡
●美術館搬入口	178.6㎡
●収蔵庫1	290.3㎡
●収蔵庫2	189.0㎡
●収蔵庫前室	61.1㎡
●一時保管庫	101.2㎡
●修復室	35.6㎡
●隔離室	22.8㎡
●写真室	99.8㎡
●学芸員室	61.8㎡
●研究資料室	47.7㎡

共用・管理部門

●応接室	43.0㎡
●センター長室	22.9㎡
●副センター長室	22.9㎡
●ホール館長室	22.9㎡
●事務室	170.2㎡
●講義室	102.1㎡
●ボランティア室	43.4㎡
●アテンダント控室	20.2㎡
●救護室	7.4㎡
●授乳室	10.3㎡
●AV機械室	23.6㎡
●中央監視室	47.3㎡
●清掃員室	16.8㎡

●回廊	1358.3㎡
●中庭広場	2079.3㎡
●美術館中庭	170.5㎡
●事務中庭	220.5㎡

●多目的ギャラリー	182.4㎡
●ミュージアムショップ	89.0㎡
●レストラン	182.6㎡

いわみ芸術劇場

大ホール

●ホワイエ 1F/2F	1436.5㎡
●客席 1F/2F	1153.3㎡
●舞台	1965.3㎡
●親子室	15.1㎡
●要約筆記室	14.7㎡
●調光操作室	29.8㎡
●音響調整室	24.4㎡
●奈落	138.7㎡
●オーケストラピット	89.9㎡
●客席ワゴン収納庫	197.7㎡

●小楽屋1	19.6㎡
●小楽屋2	19.6㎡
●中楽屋1	31.0㎡
●中楽屋2	30.9㎡
●中楽屋3	32.0㎡
●中楽屋4	32.0㎡
●大楽屋1	73.4㎡
●大楽屋2	74.0㎡
●楽屋サロン	106.7㎡
●主催者控室	10.3㎡
●楽屋中庭	86.6㎡

小ホール

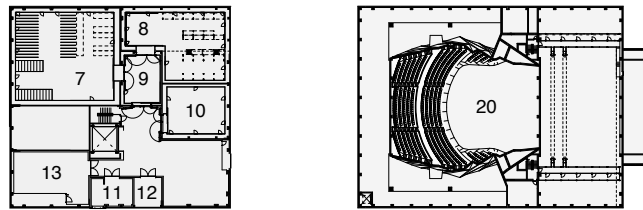
●ホワイエ 1F/2F	478.4㎡
●客席	394.6㎡
●舞台	416.6㎡
●調光操作室	27.3㎡
●音響調整室	26.8㎡
●投映室	12.9㎡

●小楽屋1	16.4㎡
●小楽屋2	16.4㎡
●中楽屋1	27.7㎡
●中楽屋2	27.5㎡
●ラウンジ	74.0㎡
●主催者控室	10.9㎡
●楽屋中庭	174.2㎡

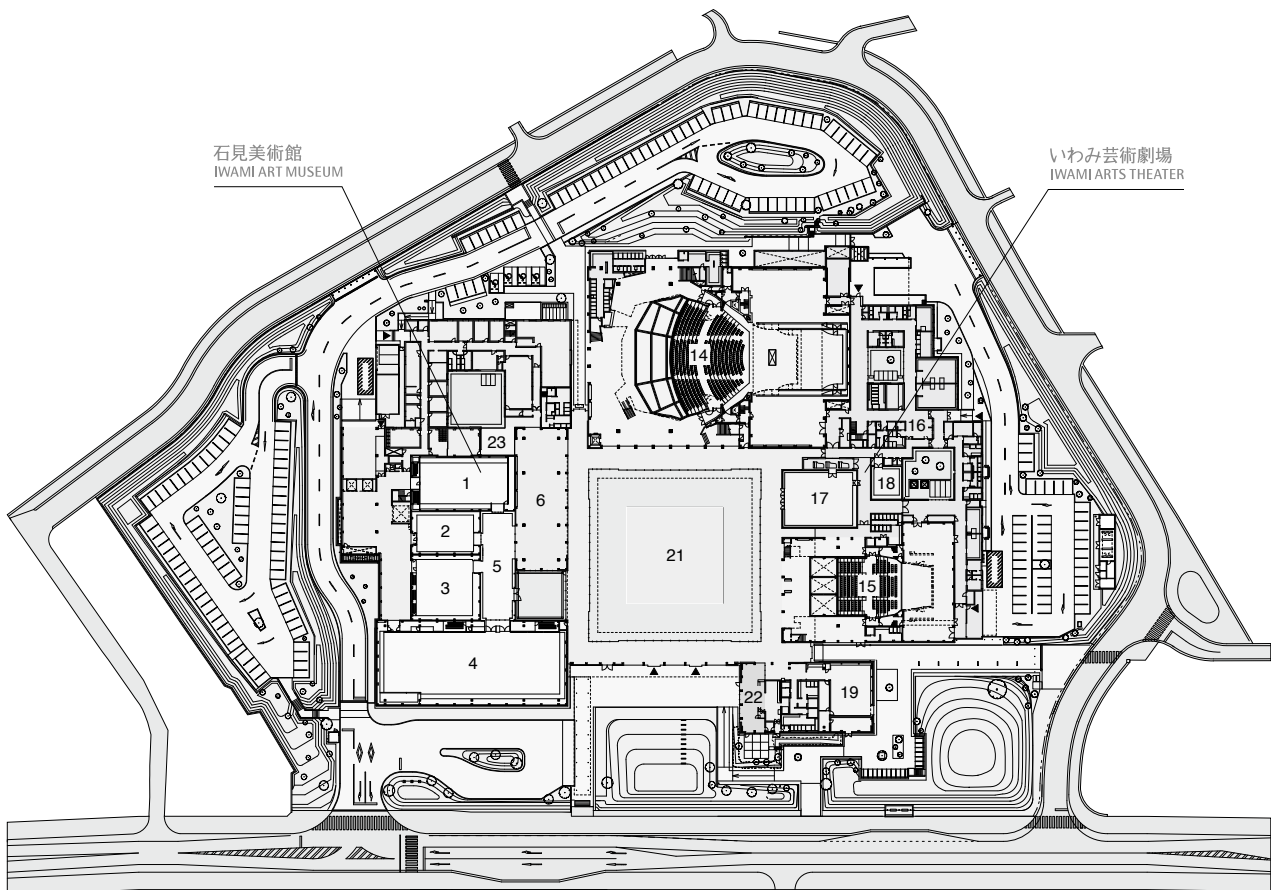
●楽屋ロビー	43.0㎡
●楽屋事務室	15.8㎡

●スタジオ1	256.4㎡
●スタジオ2	70.9㎡
●ピアノ庫	42.4㎡
●スタジオロッカー室	14.1㎡

2F



1F



石見美術館

- | | |
|----------|----------|
| 1:展示室 A | 8:収蔵庫 2 |
| 2:展示室 B | 9:収蔵庫前室 |
| 3:展示室 C | 10:一時保管庫 |
| 4:展示室 D | 11:修復室 |
| 5:展示前室 | 12:隔離室 |
| 6:美術館ロビー | 13:写真室 |
| 7:収蔵庫 1 | |

いわみ芸術劇場

- | | |
|----------------|---------------|
| 14:大ホール | 21:中庭広場 |
| 15:小ホール | 22:レストラン |
| 16:楽屋 | 23:ミュージアムショップ |
| 17:スタジオ 1 | |
| 18:スタジオ 2 | |
| 19:多目的ギャラリー | |
| 20:大ホール 2 F 客席 | |

運営組織体制

施設名称

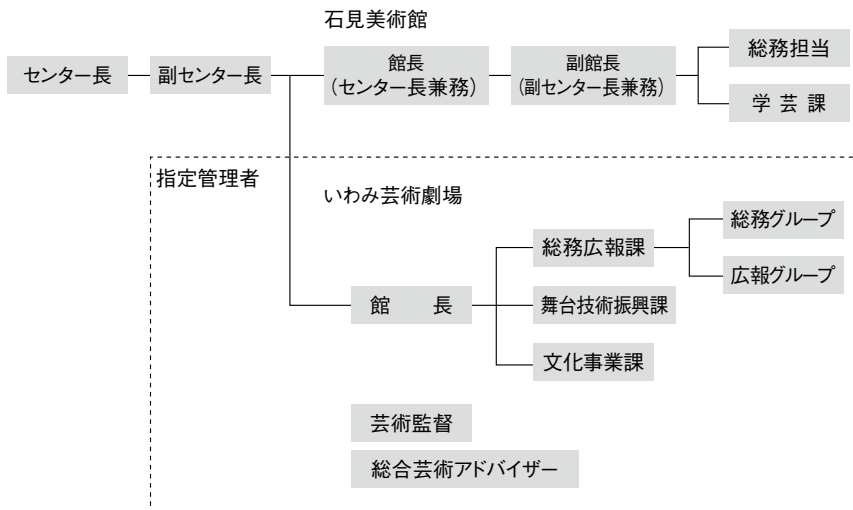
島根県芸術文化センター(島根県立石見美術館、島根県立いわみ芸術劇場)

組織体制

島根県芸術文化センター協議会

協議会委員(13名)

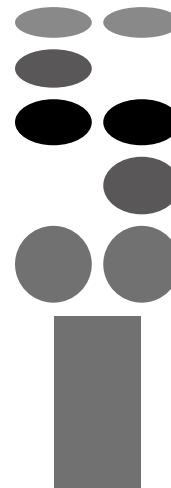
島根県芸術文化センター



シンボルマーク

このシンボルマークは、島根県を示すアルファベットの「S」と石見を示すアルファベットの「I」で構成され、また日本海の遠望を連想させる奥行きも加味してデザインされたものである。アルファベットの「I」のオレンジ色のイメージは石州瓦の色を連想させるだけでなく、他の色との組み合わせで色彩豊かにすることで、美術館とホール文化施設を晴れやかに謳い上げることをイメージさせる。

矢萩喜従郎



利用案内

開館(利用)時間

石見美術館：10:00-18:30(展示室への入場は18:00まで)
 いわみ芸術劇場：9:00-22:00

休館日

石見美術館：毎週火曜日、年末年始
 いわみ芸術劇場：毎月第2火曜日及び第4火曜日、年末年始
 (火曜日が祝日の場合は、その翌日以降の最初の休日でない日が休館日)
 ※催しにあわせて休館日を変更する場合があります。

石見美術館観覧料

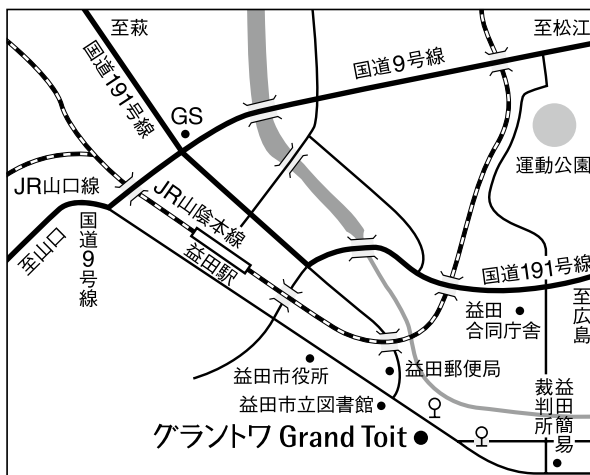
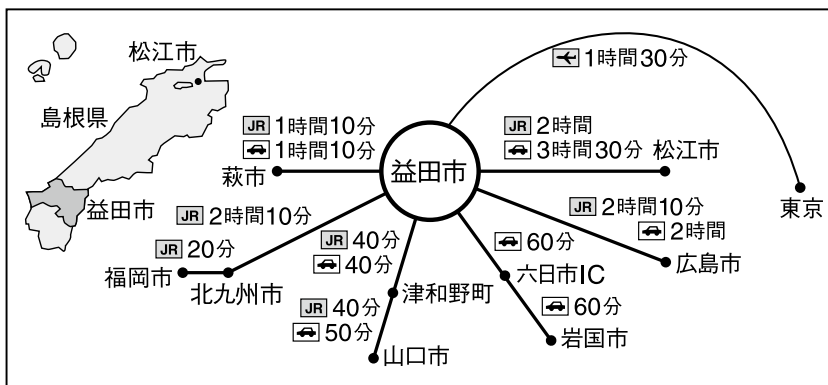
コレクション展：一般300(240)円/大学生200(160)円/高校生以下は無料
 企画展：一般 1000(800)円/大学生600(450)円/小中高生300(250)円
 ()内は20名以上の団体料金
 ・コレクション展と企画展とを同時に観覧する場合は、コレクション展の観覧料が半額になります。
 ・中高生(引率者含む)の学校教育活動による観覧は無料。(事前にセンターにご連絡下さい)
 ・身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保険手帳をお持ちの方及びその介助者は観覧無料。

いわみ芸術劇場利用料

センターへ直接お問い合わせ下さい。

交通案内

- ・石見交通バス「グラントワ前」下車 徒歩1分
- ・JR益田駅から 徒歩15分
- ・萩・石見空港からJR益田駅まで連絡バス 約15分
- ・浜田自動車道浜田ICから自動車 約50分
- ・JR新山口駅からJR益田駅まで特急 約90分
- ・◎駐車場あります(200台・無料)
- ・※ただし土日祝などイベント開催時は駐車場の混雑が予想されます。



平成30年3月30日発行

発行 **島根県立石見美術館**

〒698-0022 島根県益田市有明町5-15

島根県芸術文化センター「グラントワ」内

TEL0856-31-1860(代表) FAX0856-31-1884(代表)

E-mail : zaidan@grandtoit.jp <http://www.grandtoit.jp>



島根県芸術文化センター
SHIMANE ARTS CENTER
石見美術館
IWAMI ART MUSEUM